

## ● 口腔外科 Oral & Maxillofacial Surgery

### 1. 所属構成員等

教 授 熊澤 康雄（～11月），小林隆太郎  
准 教 授 足立 雅利，石垣 佳希，荘司 洋文  
講 師 藤城 建樹，柳下 秀郎，山下 憲昭，吉田 和正  
助 教 山田 幸，岡本 秀平，岡村 尚，北詰 栄里  
非常勤歯科医師 伊藤 有希，阪本 まり，武田 宗矩，平松 悠紀，町田 智正  
谷内 美紀，嶋田真由美，丹野 咲貴，南郷 孝徳，松野 翠  
麻生 真希，飯田 昌志，結城百合子  
臨床准教授 林 健博，荻野 靖人，増渕 達夫  
臨床講師 岩重 洋介，勝山 直彦，柿崎 真一，河津 徳敏，岩田 親子  
新井 康仁，小笠原健文，鈴木 茂，長谷川 功

### 2. 研究テーマ

- 1) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者の QOL を支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer and supportment for QOL of the oral cancer patients.
- 2) 有病者に対するリスクマネージメント Risk management for medically compromised patient.
- 3) 金属アレルギー患者の診断ならびに治療法に関する研究 Studies on the diagnosis and treatment of patients with metal allergy.
- 4) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

- 1) 第7回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会，東京都千代田区，2015年11月3日，大会長：石垣佳希.

### 6. 国際交流状況

記載事項なし

### 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本歯科大学平成27年度研究プロジェクト研究（新規），2015年4月1日～2016年3月31日，クラスプの変色を伴う物性変化および金属アレルギーとの関連に関する研究，鈴木麻美（代表），石垣佳希（分担），3,886,200円.
- 2) 日本歯科医学会平成27年度研究プロジェクト研究（新規），2015年7月1日～2016年3月31日

日, 口腔疾患に対する禁煙の効果, 多施設共同研究: 口腔 9 学会脱タバコ社会実現委員会, 長尾 徹(代表), 石垣佳希(分担), 2,500,000 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 小林隆太郎 (分担執筆): PART2 口腔ケアに関する医療保険のまとめ, 132-137, 鴨井久一 (監著), 口腔ケア歯科衛生士の役割を問う, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2015, ISBN: 978-7812-0452-9.
2. 1) 石垣佳希 (分担執筆): 第 4 章 全身疾患と口腔内科, 1. 歯科と関連する全身疾患, 6. 代謝・内分泌疾患, 6-3. 甲状腺機能亢進症, 267-268, 口腔内科学, 山根源之, 草間幹夫, 久保田英朗 (編集主幹), 永末書店, 京都, 2016, ISBN: 978-4-8160-1304-1.  
2) 石垣佳希 (分担執筆): 第 4 章 全身疾患と口腔内科, 1. 歯科と関連する全身疾患, 6. 代謝・内分泌疾患, 6-4. 甲状腺機能低下症, 268-269, 口腔内科学, 山根源之, 草間幹夫, 久保田英朗 (編集主幹), 永末書店, 京都, 2016, ISBN: 978-4-8160-1304-1.  
3) 石垣佳希 (分担執筆): 第 4 章 全身疾患と口腔内科, 1. 歯科と関連する全身疾患, 6. 代謝・内分泌疾患, 6-5. 副腎皮質機能異常, 270-272, 口腔内科学, 山根源之, 草間幹夫, 久保田英朗 (編集主幹), 永末書店, 京都, 2016, ISBN: 978-4-8160-1304-1.
3. 荘司洋文 (分担執筆): 第 9 章 損傷 総論, 168-173, 野間弘康, 瀬戸皖一 監修 内山健志, 近藤壽郎, 久保田英朗 (編集), 標準口腔外科学 第 4 版, 医学書院, 東京, 2015, ISBN: 978-4-260-02042-8.

### B. 原 著

1. 内藤 明, 中村美保, 山口全一, 石垣佳希: 本院アレルギー外来における歯科材料パッチテスト結果についての考察, ○日本歯科技工学会雑誌, 2015 ; 36 (1) : 36-43.  
Naito A, Nakamura M, Yamaguchi Z, Ishigaki Y. A study of the results of patch tests on dental materials in the dental allergy clinic of The Nippon Dental University Hospital, ○JNADT, 2015 ; 36 (1) : 36-43.
2. 喜瀬信一郎, 宮澤利明, 石垣佳希, 松田うな, 吉田和正, 白川正順: 当院における有病者に対するインプラント施術の臨床的検討, ○日本先進インプラント医療学会誌, 2015 ; 6 (1) : 5-8.  
Kise S, Miyazawa T, Ishigaki Y, Matuda U, Yoshida K, Shirakawa M. Clinical observation of the implant cases of medically compromised patient in our clinic, ○Jpn J. Adv Imp Med. Admin, 2015 ; 6 (1) : 19-24.
3. 鈴木みすず, 宇塚 聡, 渡邊尚子, 宮下 渉, 藤城建樹, 荘司洋文, 小森 成: 骨格性下顎前突症の顎矯正手術前後の舌骨の位置と気道形態の変化についての検討, ○日本顎変形症学会雑誌, 2015 ; 25 (3) : 201-206.  
Suzuki M, Uzuka S, Watanabe N, Miyashita W, Fujishiro T, Shoji H, Komori A (7<sup>th</sup>) (7 authors). Evaluation of hyoid bone position and pharyngeal airway morphology before and after orthognathic surgery for mandibular prognathism, ○Jpn.J.Jaw Deform, 2015 ; 25 (3) : 201-206.

## C. 総説・解説

記載事項なし

## D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. Adachi M, Miyata Y, Ito Y. Mid-facial deformity secondary to a traumatic haemorrhage in a maxillary cyst, ©J Surg Rep, 2 : 1-4, 2016.
2. 滝口昌親, 吉田和正, 白川正順:インプラント植立のための上顎洞底挙上術に PRGF – Endoret を使用した 1 例, ○日本先進インプラント医療学会誌, 2015 ; 6 (1) : 19-24.
3. 荘司洋文:よくわかる周術期口腔機能管理—口腔外科の立場より—, MDA, No.476 : 8-9, 2016.

## E. 翻訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 吉田和正, 石垣佳希, 岡本秀平, 阪本まり, 川村浩樹, 山瀬 勝, 秋山仁志, 松村和洋, 曾布川裕介, 東郷尚美, 岩井 謙, 内藤 明, 中村美保:日本歯科大学附属病院口腔アレルギー外来の現況について (第 2 報), 日本口腔科学会雑誌, 64 (2) : 179, 2015.
2. 木幡 雅, 石垣佳希, 神山通孝, 吉田和正, 北詰栄里, 阪本まり, 川村浩樹:金属修復物の組成に関する蛍光 X 線分析装置を用いた迅速分析, 第 7 回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 32, 2015.
3. 曾布川裕介, 山瀬 勝, 秋山仁志, 東郷尚美, 岩井 謙, 中原由絵, 石垣佳希:日本歯科大学附属病院における CAD / CAM ハイブリッドレジックラウンの臨床応用状況, 第 7 回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 33, 2015.
4. 川村浩樹, 中村美保, 内藤 明, 内田和雅, 五島順子, 松村和洋, 石垣佳希:各種金属系およびレジック系歯科材料にアレルギーのある患者の 1 症例, 第 7 回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 34, 2015.
5. 石垣佳希, 川村浩樹, 吉田和正, 山瀬 勝, 秋山仁志, 五島順子, 内藤 明, 中村美保:当院口腔アレルギー外来の診査・診断の概要について, 第 18 回日本歯科人間ドック学会・学術大会プログラム集, 32, 2015.
6. 城代英俊, 宮澤利明, 石垣佳希, 小笠原健文, 白川正順:インプラント手術における静脈内鎮静法の有用性, 日本顎顔面インプラント学会誌, 14 (3) : 224, 2015.
7. 喜瀬信一郎, 宮澤利明, 吉田和正, 石垣佳希, 藤井泰行, 近津大地, 白川正順:多数歯欠損症例におけるインプラント治療の臨床的検討 (第 1 報), 日本先進インプラント学会誌, 6 (2) : 26, 2015.
8. 藤井泰行, 宮澤利明, 喜瀬信一郎, 吉田和正, 近津大地, 白川正順:静脈内鎮静下インプラント症例の臨床的検討, 日本先進インプラント学会誌, 6 (2) : 33, 2015.
9. 滝口昌親, 吉田和正, 白川正順:骨結合を喪失した HA インプラントの 1 例, 日本先進インプラント学会誌, 6 (2) : 14, 2015.
10. 熊澤康雄, 河合泰輔, 山口 晃, 代居 敬:顎変形症患者のアンテリアループの形態に関する検討—術前 CT による評価—, 第 69 回 NPO 法人日本口科学会学術集会プログラム・

抄録集, 346, 2015.

11. 熊澤康雄, 浅海利恵子, 水谷太尊, 中川 綾, 山口 晃: 顎変形症患者におけるオトガイ部形態の CT 画像による検討, 日本顎変形症学会雑誌, 25 (2): 148, 2015.
12. 藤城建樹, 荘司洋文, 岡本秀平, 柳下秀郎, 小林隆太郎: 1 型糖尿病を有する下顎前突症患者に対し下顎枝矢状分割術を施行した 1 例, 日本顎変形症学会雑誌, 25 (2): 169, 2015.
13. 小林さくら子, 鈴木章弘, 大塚絵里佳, 伊藤美結, 安藤文人, 小森 成, 荘司洋文, 藤城建樹: 外科的矯正治療を選択した Angle I 級上下顎前突の 1 症例, 日本顎変形症学会雑誌, 25 (2): 175, 2015.
14. 坂梨公亮, 宇塚 聡, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みずき, 光岡一行, 吉田陽子, 永島圭悟, 宮下 渉, 藤城建樹, 小森 成: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における下顎の劣成長と重篤度および気道形態の関連, 日本顎変形症学会雑誌, 25 (2): 193, 2015.
15. 吉田和正, 結城百合子, 岩田 洋, 岡部貞夫, 柳下寿郎, 荘司洋文: 含歯性嚢胞と併存し著明な嚢胞形成を呈した口蓋部粘表皮癌の 1 例, 日本口腔外科学会雑誌, 61: 84, 2015.
16. 北詰栄里, 荘司洋文, 藤城建樹, 岡村 尚, 山田 幸, 柳井智恵: 下顎区域切除後の下歯槽神経再建における神経再生誘導チューブの使用経験, 日本口腔外科学会雑誌, 61: 88, 2015.
17. 岡村 尚, 荘司洋文, 北詰栄里, 足立雅利, 岡部貞夫, 柳下寿郎, 小笠原健文: 導入化学療法として DCS 療法が著効した口底癌の 1 例, 日本口腔外科学会雑誌, 61: 197, 2015.
18. 武田宗矩, 足立雅利, 荘司洋文, 柳下寿郎: 広頸筋下に脱出したオトガイ下部類表皮嚢胞の 1 例, 日本口腔外科学会雑誌, 61: 204, 2015.
19. 阪本まり, 荘司洋文, 柳下秀郎, 嶋田真由美, 岩田 洋: 顎関節脱臼をきたした急性化膿性顎関節炎の 1 例, 日本口腔外科学会雑誌, 61: 221, 2015.
20. 南郷孝徳, 山下憲昭, 飯田昌志, 岡村 尚, 荘司洋文, 柳下寿郎: 長期にわたり開窓療法が行われていた顎骨中心性粘表皮癌の 1 例, 日本口腔外科学科雑誌, 61: 245, 2015.
21. 荘司洋文, 浅野一成, 辺見卓男, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 舌白板症症例における臨床病理学的検討, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 238, 2016.
22. Shoji H, Yanai C, Okamura H, Kitazume E, Taniuchi M, Okabe S, Yagishita H. Predictors of delayed cervical lymph node metastasis in Stage I and II tongue cancer, 頭頸部癌, 41: 182, 2015.
23. Yanai C, Sakamoto M, Yamada M, Shoji H, Yagisita T, Okabe S. Pediatric mucoepidermoid carcinoma of the buccal mucosa, 22<sup>nd</sup> ICOMS 2015, Melbourne, Australia, 2015.
24. 荘司洋文, 岡村尚, 北詰栄里, 武田宗矩, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 当科における舌「表在癌」に関する臨床病理学的検討, 頭頸部癌, 40: 201, 2014.
25. 武田宗矩, 荘司洋文, 岡村 尚, 北詰栄里, 岩田 洋, 岡部貞夫: 舌における「口腔表在癌」の術前 US 画像の検討, 頭頸部癌, 40: 257, 2014.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 小林隆太郎: 顎骨再建症例へのインプラント治療保険導入後の評価, 第 19 回日本顎顔面インプラント学会総会, シンポジウム, 横須賀市, 2015 年 11 月 29 日.
2. 荘司洋文: よくわかる下顎枝矢状分割法, 第 60 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, ビデオレクチャー, 名古屋市, 2015 年 10 月 16 日.

3. 浅野一成, 岡部貞夫, 荘司洋文, 辺見卓男, 柳下寿郎: 舌白板症を経過観察としますか, あるいは積極的に切除しますか?—当院の舌白板症切除症例における臨床病理学的な検討—, 第34回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, ワークショップ5 表在癌を考える, 横浜市, 2016年1月21日.
4. 吉田和正: 舌痛への対処 口腔外科・心療歯科診療センターにおける舌痛患者の対応, 第35回歯科薬物療法学会学術大会, ワークショップ, 鶴見大学会館 横浜市, 2015年6月20日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 熊澤康雄: 学術講演会, 神奈川県日本歯科大学校友会定時総会・学術講演会, 神奈川県足柄下郡, 2015年8月29日.
2. 熊澤康雄: 電磁波で変わる口腔処置—高周波メス, レーザーメスの使用—, 平成27年度日本歯科大学近畿地区歯学研修会近畿地区会員大会並びに総会, 京都市, 2015年10月3日.
3. 小林隆太郎: 色でわかるお口の中の病気, ~白・赤・黒~, 医療法人泉晶会主催飯田橋市民公開講演会, 東京, 2015年5月10日.
4. 小林隆太郎: 「口腔がん検診に向けて」口腔がんを見落とさない, 旭市歯科医師会学術講演会, 旭市, 2015年11月1日.
5. 小林隆太郎: 「口腔がん検診への準備」口腔粘膜病変基礎的知識, 草加歯科医師会講演会, 草加市, 2015年11月11日.
6. 足立雅利: 歯科診療室での投薬—抗菌薬, 鎮痛薬を使いこなす—, 愛媛県日本歯科大学校友会総会, 松山市, 2015年6月20日.
7. 石垣佳希: 金属アレルギー患者に対する当院の取り組み, 第7回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会, 教育講演, 東京都千代田区, 2015年11月3日.
8. 石垣佳希: 二次救命処置, (一社)日本有病者歯科医療学会主催スキルアップセミナー, 東京都港区, 2015年6月14日.
9. 石垣佳希: 口腔扁平苔癬と金属アレルギー, 平成27年度東京都歯科医師会卒後研修 マスター口腔粘膜疾患—口腔粘膜疾患診断のコツとツボ—, 東京都千代田区, 2015年6月25日.
10. 石垣佳希: 吸引シミュレータを用いた口腔内分泌物吸引手技の実技研修, (一社)日本有病者歯科医療学会・(一社)静岡県歯科医師会共催, (公社)日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー, 静岡県静岡市, 2015年7月18日.
11. 石垣佳希: 高齢者の日常診療時の偶発症について, 公益社団法人東京都小平市歯科医師会学術部・医療管理部合同講演会, 東京都小平市, 2015年10月24日.
12. 石垣佳希: 気道と循環に関するアドバンスハンズオンセミナー, 第30回(一社)日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京都江戸川区, 2016年3月6日.
13. 石垣佳希: 吸引シミュレータを用いた口腔内分泌物吸引手技の実技研修, (一社)日本有病者歯科医療学会主催・(一社)神奈川県歯科医師会共催, (公社)日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー, 神奈川県横浜市, 2016年3月20日.
14. 荘司洋文: 口腔粘膜疾患を治す, 平成27年度東京都歯科医師会卒後研修 マスター口腔粘膜疾患—口腔粘膜疾患診断のコツとツボ—, 東京, 2015年6月25日.

15. 莊司洋文：よくわかる周術期口腔機能管理—口腔外科の立場より—，日本歯科大学校友会武蔵野市歯科医師会共催学術講演会，吉祥寺，2015年12月11日。
16. 町田智正，岡村 尚，莊司洋文，柳下寿郎，岡部貞夫：確定診断を得るのに時間を要した下顎骨顎骨中心性癌の1例，第15回関東地区口腔腫瘍研究会，東京，2015年7月19日。
17. 岡村 尚，莊司洋文，谷内美紀，山下憲昭，柳下寿郎，岡部貞夫：術後照射により早期に放射線性骨髄円を来した口底腺様嚢胞癌の1例，第42回東信頭頸部癌研究会，軽井沢，2015年12月5日。
18. 北詰栄里，岡村 尚，莊司洋文，柳下寿男，岡部貞夫：節外浸潤（+）症例の検討，第14回関東地区口腔腫瘍研究会，東京，2014年7月27日。
19. 谷内美紀，岡村 尚，莊司洋文，柳下寿郎，岡部貞夫：急速な転帰を辿った舌癌 T1 症例の検討，第41回東信頭頸部癌研究会，軽井沢，2014年9月20日。
20. 南郷孝徳，莊司洋文，岡村 尚，熊澤康雄，柳下寿男，岡部貞夫：口腔領域に多発した白板症の一部に扁平上皮癌が発症した1例，第257回関東地区口腔腫瘍集談会，東京，2015年1月13日。

## ● 小児歯科 Pediatric Dentistry

### 1. 所属構成員等

教 授 内川 喜盛  
准 教 授 白瀬 敏臣  
講 師 梅津糸由子, 楊 秀慶, 鈴木 淳子 (4月～12月), 村松 健司  
岩崎てるみ  
助 教 三井 園子, 三宅 真帆, 波多野宏美, 松崎 祐樹  
臨 床 助 手 鈴木 紘子, 新見 嘉邦  
臨 床 教 授 小方 清和, 米山 博巳, 上原 正美, 倉治 七重  
臨 床 講 師 三浦みつ子, 浜地 宏哉, 辻 裕子, 大出リエ子, 荻原 栄和  
レ ジ デ ン ト 甲田彩理沙, 西村 歩, 芦澤みなみ, 亀岡 亮, 宮山 友紀  
高橋 紗耶, 巻 竜也, 吉田 陽佳

### 2. 研究テーマ

- 1) 小児の唾液中フッ化物がミュータンス連鎖球菌に及ぼす影響 Influence of fluoride in saliva on mutans streptococci in children.
- 2) 唾液中における低濃度フッ化物イオンの動態について Changes in the salivary fluoride concentration after adding low-concentrated Fluoride.
- 3) 頭蓋顎顔面の先天奇形症候群における特徴とその対応について Feature and management of patients with craniofacial anomalies.
- 4) 乳前歯ならびに永久前歯の外傷に関する研究 Dental traumatology for primary and permanent incisors.
- 5) 障害児における歯科治療時の対応法に対する保護者の認識 Desire of caretakers of disabled individuals for behavior management techniques.
- 6) 摂食嚥下機能障害児・者に対して用いた可撤式装置の有効性 Effect of removal type appliance for dysphagia.
- 7) 被虐待小児の臨床調査 Clinical studies of abused children.
- 8) 抗てんかん薬の歯肉増殖に対する影響 The effect of antiepileptic drags on gingival overgrowth.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

記載事項なし

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科研費科学研究費助成事業，基盤研究（C）（新規），平成 27～29 年度，幼児の唾液中フッ化物イオンの至適濃度とそのコントロール法の検討，内川喜盛（代表），4,810,000 円。
- 2) 千代田区助成金 千代田学（新規），平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日，千代田区発信 小児歯科多言語対応視覚的説明ツールの開発，岩崎てるみ（代表），内川喜盛，白瀬敏臣，梅津糸由子，波多野宏美，松崎祐樹，瀬戸ゆきの（分担），649,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著書

1. 内川喜盛（分担執筆）：上唇小帯，舌小帯の異常，915-916，水口 雅，市橋 光，崎山 弘（総編集），今日の小児治療指針 第 16 版，医学書院，東京都，2015，ISBN：978-4-260-02084-8。
2. 内川喜盛（分担執筆）：第 6 章 咬合誘導，87-116，新谷誠康（編集主幹），小児歯科学クリニカルテキスト 第 1 版，永末書店，京都市，2016，ISBN：978-4-8160-1298-3。
3. 内川喜盛（分担執筆）：第 17 章 咬合誘導，322-344，新谷誠康（編集主幹），小児歯科学ベーシックテキスト 第 1 版，永末書店，京都市，2016，ISBN：978-4-8160-1297-6。
4. 内川喜盛（分担執筆）：新歯科技工教本 小児歯科技工学（改訂版），全国歯科技工士教育協議会（編集），医歯薬出版株式会社，東京，2016，ISBN：978-4-263-43116-0。

### B. 原著

記載事項なし

### C. 総説・解説

1. 楊 秀慶，田村文誉：小児の摂食嚥下障害における歯科的問題，J. of clinical rehabilitation, 24 (7) : 652-658, 2015.

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 楊 秀慶：海外レポート 英語に自信のない方へ贈る国際学会発表までの道程，Quintessence, 34 : 1520-1521, 2015.
2. 楊 秀慶：的確な歯の外傷への対応～患者さんとの信頼関係の構築～，日本歯科大学校友会・歯学会会報，40 : 41, 2015.
3. 白瀬敏臣，星山紘子：どうして虫歯はできるの？教えて！虫歯のメカニズムと予防策，頼れるドクター武蔵野・多摩・八王子 2015-2016 版，40-43, 2016.

### E. 翻訳

記載事項なし



## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 松崎祐樹, 内川喜盛, 星山紘子, 新見嘉邦, 白瀬敏臣: 気管挿管が原因と考えられた上顎乳前歯の萌出不全の1例, 小児歯誌, 53 (1): 81-88, 2015.
2. 星山紘子, 内川喜盛, 波多野宏美, 岩崎てるみ, 大出リエ子, 白瀬敏臣: 幼児における口腔レンサ球菌と齲蝕との関連性, 小児歯誌, 53 (2): 254, 2015.
3. 松崎祐樹, 楊 秀慶, 三井園子, 辻 裕子, 白瀬敏臣: マイクロスコープを併用した根管充填時期の検討 アペキシフィケーション歯に対して, 小児歯誌, 53 (2): 261, 2015.
4. 新見嘉邦, 梅津糸由子, 芦澤みなみ, 浜地宏哉, 荻原栄和, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 附属病院小児歯科における過剰歯の臨床統計, 小児歯誌, 53 (2): 273, 2015.
5. 白瀬敏臣, 宮山友紀, 甲田彩理沙, 三浦みつ子, 上原正美, 内川喜盛: 根未完成永久歯の外傷後に生じた歯髓腔閉塞の1例, 小児歯誌, 53 (2): 276, 2015.
6. 亀岡 亮, 村松健司, 楊 秀慶, 鈴木淳子, 西村 歩, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 本学小児歯科における全身麻酔下治療の予約変更理由に対する考察, 小児歯誌, 53 (2): 327, 2015.
7. 小林清佳, 安藤文人, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 北 大樹, 三代冬彦, 内川喜盛: 日本歯科大学附属病院の針刺し・切創事例の検討, 日本歯科医療管理学会雑誌, 50 (1): 32, 2015.
8. 宮坂孝弘, 北原和樹, 柴田 潔, 内川喜盛, 大津光寛, 小川智久, 山城三喜子, 沼部幸博, 羽村 章: 生命歯学部学生 第2学年におけるチーム基盤型学習方(TBL)導入の試み, 第34回日本歯科医学教育学会プログラム, 抄録集, 95, 2015.
9. 楊 秀慶, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 可撤式装置を併用した摂食機能訓練と患者のQOL向上の関連について, 第22回日本歯科医療福祉学会抄録集, 7, 2015.
10. 秋山仁志, 新田俊彦, 石田鉄光, 三代冬彦, 宇塚 聡, 原 節宏, 宮下 渉, 岡田智夫, 川村浩樹, 山瀬 勝, 山崎孝子, 梅津糸由子, 北原和樹, 羽村 章: 日本歯科大学生命歯学部平成26年度第4学年学生を対象に実施したシムロイド実習の概要, 日本歯科医学教育学会総会抄録集, 34, 110, 2015.
11. 鈴木めぐみ, 横山和良, 浦野揺子, 小倉千幸, 池田亜紀子, 須田真理, 関口洋子, 市川順子, 野村正子, 合場千佳子, 池田利恵, 内川喜盛, 岡田智雄, 大津光寛, 大澤銀子, 北原和樹, 佐藤 勉, 小口春久: 本学1年生に実施した「コミュニケーション学」について一 改定後のアンケート調査とその解析結果一, 34回日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 147, 2015.
12. 宇美隆生, 土屋昭夫, 今泉純一, 須藤豊哉, 伊勢哲哉, 町田貴敏, 立川誠二, 丸山真哉, 林久仁子, 野村弘至, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 当歯科衛生センターにおける他医療機関への紹介患者の動態, 障害歯誌, 36 (3): 260, 2015.
13. 福田恵里, 野杵明美, 小林邦枝, 青柳ひとみ, 瀬戸ゆきの, 中村仁也, 楊 秀慶: 大学附属病院ハイリスク診療センターへ紹介された初診患者に対する歯科衛生士の役割, 障害歯誌, 36 (3): 294, 2015.
14. 児玉実穂, 梅津糸由子, 星山紘子, 新見嘉邦, 落合真美, 奈良輪智恵: 入所施設での介入により咀嚼運動を獲得した成人期自閉症の1症例, 障害歯誌, 36 (3): 451, 2015.
15. 船田淳子, 梅津糸由子, 上田 豊, 岩崎てるみ, 田村昌平, 石渡利幸, 毛利 徹, 萩原大生, 佐藤和義, 横田祐司, 原 龍馬, 篠原 修, 湊 耕一: 当センター25年間の診療状況の調査, 障害歯誌, 36 (3): 451, 2015.

16. Iwasaki T, Matuzaki Y, Hatano H, Uchikawa Y, Sirase T, Umezumi Y, Seto Y. Development of a multilingual illustrative tool with pictures for pediatric dentistry: A report for the first stage of the Chiyoda-study, 日本歯科大学歯学会第2回ウィンターミーティング, 東京都千代田区, 2015年12月5日.
17. Yoh H, Uchikawa Y, Karibe H. Evaluation of a required-program on pediatric dentistry for dental students, The 45<sup>th</sup> Annual meeting & exhibition of the AADR, 0678, 2016.
18. Uchikawa Y, Yoh H, Iwasaki T. Caries predictive ability for the salivary mutans streptococci level in preschool children, The 45<sup>th</sup> Annual meeting & exhibition of the AADR, 1584, 2016.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 白瀬敏臣：こどもの歯のけがについて，ベネッセスタイルケアこども・子育て支援カンパニー保育士向け講演会，東京，2015年5月15日.
2. 内川喜盛：保護者との信頼関係を構築するために一乳幼児の口の診方，考え方，らいおん歯科講演会，松戸市，2015年6月20日.
3. 白瀬敏臣，内川喜盛，土屋昭夫：地区歯科医師会の障がい者歯科診療に参加した担当医の意識調査，第22回日本歯科医療福祉学会大会・総会，札幌，2015年6月21日.
4. 楊 秀慶：的確な歯の外傷への対応～患者さんとの信頼関係の構築～，荏原歯科医師会，東京（2015年7月19日），堀元歯科医院研修会，神奈川（9月6日）.
5. 楊 秀慶：子供の摂食機能の発達，堀元歯科医院研修会，神奈川，2015年8月2日.
6. 楊 秀慶：小児の咬合誘導と様々な習癖との関連，堀元歯科医院研修会，神奈川，2015年9月6日.
7. 梅津糸由子，白瀬敏臣，内川喜盛：附属病院小児歯科における新人研修について，日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会・総会，東京，2015年9月13日.
8. 西村 歩，梅津糸由子，岩崎てるみ，三井園子，三宅真帆，波多野宏美，白瀬敏臣，内川喜盛：本学附属病院小児歯科における新人担当患者についての臨床的統計，日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会・総会，東京，2015年9月13日.
9. 宮山友紀，白瀬敏臣，梅津糸由子，楊 秀慶，村松健司，星山絃子，甲田彩理沙，内川喜盛：附属病院小児歯科における外傷を主訴とした初診患者の臨床統計，日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会・総会，東京，2015年9月13日.
10. 梅津糸由子：障害者歯科治療時における行動障害とその対応について，足立区歯科医師会，東京足立区，2015年10月21日.
11. 内川喜盛：きれいな歯で健やかな成長を，日本女子大学附属豊明小学校 歯科講演会，東京，2016年1月12日.

## ● 矯正歯科 Orthodontics

### 1. 所属構成員等

教 授 小森 成  
准 教 授 後藤 尚昭, 小林さくら子, 宇塚 聡, 安藤 文人  
講 師 宮下 渉, 内田 裕子, 岩崎由香利  
助 教 片岡 彩乃, 吉田 陽子  
非常勤歯科医師 土持 宇, 栗原 綾子, 永島 圭悟, 大塚絵里佳, 植木健次郎,  
岡本 美結, 中野紗矢香, 宮下 佳子, 吉屋 慶章, 小池みづき,  
鈴木みすず, 渡邊 尚子  
非常勤准教授 宮脇 剛司, 井口 暁  
非常勤講師 小林 慶介, 杉山 晶二, 上保 基, 渡邊 浩幸, 島田 達雄  
玉田 一敬, 田村 彰英, 箕浦 雄介, 仲谷 豊, 篠崎 圭太  
安藤 稔, 今野 喜文, 藤田由希子

### 2. 研究テーマ

- 1) 日本語標記 英語標記. 矯正材料の開発および研究 Research and development of orthodontic materials.
- 2) 口唇・口蓋裂の治療に関する集学的アプローチ Interdisciplinary approach to cleft lip and palate.
- 3) 歯科医学教育シミュレーションシステムの開発に関する研究 Development of simulation systems for dental education.
- 4) 現代人モンゴル人と日本人の正常咬合者の比較 Comparison of dental models in modern Mongolian and Japanese with normal occlusion.
- 5) 歯列弓・歯槽基底弓の三次元的分析 Three-dimensional morphometric analysis of dental and basal arch form.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本歯科大学, (株)モリタ製作所: 羽村 章, 秋山仁志, 原 節宏, 宇塚 聡, 宮下 渉, 2011年7月14日, 特願2011-155504, 医療用実習システム. 【2015/12/15 特許査定】
- 2) 日本歯科大学, (株)モリタ製作所, (株)ココロ: 羽村 章, 秋山仁志, 原 節宏, 宇塚 聡, 宮下 渉, 2011年7月14日, 特願2011-155668, 疑似患者, 医療用診療台装置, 及び医療用実習装置. 【2015/08/25 特許査定】

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

## 6. 国際交流状況

記載事項なし

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C）（継続），平成27年度，小児における睡眠時無呼吸症の病態解明へ向けた臨床的検証，小森 成（代表），三ツ林裕巳，大津光寛，宇塚 聡（分担），4,160,000円。

## 8. 研究業績

### A. 著書

記載事項なし

### B. 原著

1. Fukino Y, Komori A. Time-related bond strength of resin-reinforced glass ionomer cement under various light exposure conditions, ○Orthodontic Waves, 2015 ; 74 : 76-82.
2. 鈴木みすず, 宇塚 聡, 渡邊尚子, 宮下 渉, 藤城建樹, 荘司洋文, 小森 成 : 骨格性下顎前突症の顎矯正手術前後の舌骨の位置と気道形態の変化についての検討, ○日本顎変形症学会雑誌, 2015 ; 25 : 201-206.
3. Suzuki M, Uzuka S, Watanabe N, Miyashita W, Fujishiro T, Shoji H, Komori A (7<sup>th</sup>) (7 authors) . Evaluation of hyoid bone position and pharyngeal airway morphology before and after orthognathic surgery for mandibular prognathism, ○Jpn. J. Jaw Deform., 2015 ; 25 : 201-206.
4. 宇塚 聡, 坂梨公亮, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みづき, 片岡彩乃, 原 節宏, 矢島愛治, 宮下 渉, 小森 成, 三ツ林裕巳 : 閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における下顎の劣成長と気道形態および疾病の重篤度との関連, 日本健康医療学会雑誌, 2015 ; 3 : 16-20.

### C. 総説・解説

記載事項なし

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 秋山仁志, 宇塚 聡, 宮下 渉, 原 節宏, 三代冬彦, 羽村 章 : ヒト型ロボットシミュレーションシステム (SIMROID) における高齢者モデルの開発, 日歯教誌, 31 : 129-136, 2015.
2. 五味治徳, 宮下 渉, 宗村 治 : 症例と対応 マウスガードを考える, 歯学, 102 (春季特集号) : 74-77, 2015.
3. 小森 成 : 編集後記, 歯学, 103 (秋季特集号) : 54, 2015.
4. 永島圭悟, 小林さくら子, 安藤文人, 土持 航 : 上顎歯列弓狭窄による交叉咬合を伴う骨格性Ⅲ級症例, 東京矯歯誌, 25 : 130-134, 2015.
5. 植木健次郎, 小林さくら子, 栗原綾子, 林千亜紀 : 上下顎歯列弓狭窄と上顎前歯の著しい唇側傾斜を伴う AngleⅡ級1類症例, 東京矯歯誌, 25 : 135-140, 2015.
6. 宮下佳子, 小森 成, 宮脇剛司 : Binder 症候群における外鼻形成術および咬合再建, 日頭顎顔会誌, 31 : 273-280, 2015.

7. 宮下佳子, 小森 成, 栗原綾子: 上顎左側側切歯の先天性欠如と口唇の突出を伴うAngle Class II subdivision症例, 日矯歯誌, 75 : 43-49, 2016.
8. 岡本美結, 小林さくら子, 丸山智子, 林千亜紀: 歯槽性上下顎前突を伴う顔面非対称症例, 東京矯歯誌, 25 : 23-28, 2015 .

## E. 翻 訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 丸山智子, 小森 成, 藤本雅史, 藤田 綾, 宮脇剛司, 内田 満 : Binder 症候群における咬合再建, 第 58 回日本形成外科学会総会・学術集会抄録集, 67, 2015.
2. 小林清佳, 安藤文人, 小林さくら子, 石垣佳希, 大津光寛, 北 大樹, 三代冬彦, 内川喜盛 : 日本歯科大学附属病院の針刺し・切創事故の検討, 日本歯科医療管理学会雑誌, 50 : 32, 2015.
3. 吉田陽子, 永島圭悟, 柳下秀郎, 小森 成 : 術前矯正治療短縮を目的として抜歯空隙の代謝回転を高める試み, 日本顎変形症学会雑誌, 25 : 180, 2015.
4. 小林さくら子, 鈴木章弘, 大塚絵里佳, 伊藤美結, 安藤 文人, 小森 成, 荘司洋文, 藤城建樹 : 外科的矯正治療を選択した AngleI 級上下顎前突の 1 症例, 日本顎変形症学会雑誌, 25-2 : 175, 2015.
5. 坂梨公亮, 宇塚 聡, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みずき, 光岡一行, 吉田陽子, 永島圭悟, 宮下 渉, 藤城建樹, 小森 成 : 閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における下顎の劣成長と重篤度および気道形態の関連, 日本顎変形症学会雑誌, 25 : 193, 2015.
6. 小林さくら子, 鈴木章弘, 大塚絵里佳, 伊藤美結, 安藤文人, 小森 成, 荘司洋文, 藤城建樹 : 外科的矯正治療を選択した Angle I 級上下顎前突の 1 症例, 日本顎変形症学会雑誌, 25 : 175, 2015.
7. 秋山仁志, 宇塚 聡, 宮下 渉, 原 節宏, 三代冬彦, 羽村 章, 稲員洋頭, 磯川幸彦, 西村巳貴則, 佐藤公俊 : ヒト型患者ロボットシミュレーションシステムにおける老人仕様シミュレーターの検証, 老年歯科医学, 30 : 256-257, 2015.
8. 小森 成, 内田裕子, 永島圭悟, 水谷匡佑 : 各種歯科矯正用接着材を用いたブラケットの脱落頻度に関するランダム化臨床比較試験, 第 74 回東京矯正歯科学会大会, 東京矯歯誌, 25 : 165, 2015.
9. 今福輪太郎, 石川和信, 阿部幸恵, 荒木孝二, 首藤太一, 鈴木利哉, 平形道人, 松井俊和, 宮下 渉, 山畑佳篤, 鈴木康之 : 日本シミュレーション医療教育学会雑誌第三号までの総括 : 振り返りと今後の方向性について, 第 3 回日本シミュレーション医療教育学会学術大会 プログラム・抄録集, 38, 2015.
10. 原 節宏, 滑川初枝, 宇塚 聡, 宮下 渉, 林 宗廣, 岩田 洋, 竹川本夫 : 筋硬直の画像診断—咬筋部における超音波診断の応用—, 第 18 回日本歯科人間ドック学会・学術大会 プログラム集, 33, 2015.
11. 秋山仁志, 新田俊彦, 石田鉄光, 三代冬彦, 宇塚 聡, 原 節宏, 宮下 渉, 岡田智雄, 川村浩樹, 山瀬 勝, 山崎孝子, 梅津糸由子, 北原和樹, 羽村 章 : 日本歯科大学生命歯学部平成 26 年度第 4 学年学生を対象に実施したシムロイド実習の概要, 第 34 回日本歯科

- 医学教育学会大会プログラム・抄録集, 28 : 110, 2015.
12. 波多野泰夫, 小林さくら子, 菊池憲一郎, 南雲 保, 沼部幸博, 羽村 章 : 日本歯科大学生命歯学部における禁煙と意識に関する実態調査, 日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 34 : 157, 2015.
  13. 筒井健夫, 小川智久, 菊池憲一郎, 小林さくら子, 波多野泰夫, 羽村 章 : 禁煙支援委員会活動への生命歯学部生の意見—生命歯学部長主催意見交換会のための記述式アンケートより, 日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 34 : 158, 2015.
  14. 小林さくら子, 波多野泰夫, 菊池憲一郎, 南雲 保, 沼部幸博, 羽村 章 : 千代田区における歯科大学生と一般大学生の禁煙意識について, 日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 34 : 158, 2015.
  15. 宮下 渉, 内田裕子, 岩崎由香利, 片岡彩乃, 宇塚 聡, 小森 成 : 日本歯科大学附属病院卒後研修プログラム矯正歯科研修コースの紹介, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 プログラム・抄録集, 37, 2015.
  16. 早乙女美緒, 宇塚 聡, 小池みづき, 藤巻 良, 片岡彩乃, 内田裕子, 宮下 渉, 小森 成 : 骨格性開咬患者の顎矯正手術による側貌変化について, 日本頭蓋顎顔面外科学会誌, 31 : 254, 2015.
  17. 吉田陽子, 玉田一敬, 小森 成 : 非定型的な抜歯を伴う片側唇顎裂における咬合再建の一例, 日頭顎顔会誌, 31 : 255, 2015.
  18. 藤巻 良, 宇塚 聡, 早乙女美緒, 坂梨公亮, 岩崎由香利, 宮下 渉, 小森 成 : 骨格性下顎前突患者の顎矯正手術による側貌変化について, 日本頭蓋顎顔面外科学会誌, 31 : 255, 2015.
  19. 宇塚 聡, 原 節宏, 宮下 渉, 三ツ林裕己 : 糖質制限食による睡眠時無呼吸症の病態変化について, 第 8 回日本健康医療学会大会プログラム・抄録集, 11 : 44, 2015.
  20. Komori A, Nagashima K, Ootsuka E. Guided bonding - the concept and bonding property, 115<sup>th</sup> Annual Session of American Association of Orthodontists, San Francisco, 2015.
  21. 坂梨公亮, 宇塚 聡, 藤巻 良, 水谷匡佑, 小池みづき, 吉田陽子, 片岡彩乃, 宮下 渉, 小森 成 : 閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における下顎の劣成長と睡眠障害の重篤度ならびに睡眠深度との関連, 第 74 回日本矯正歯科学会大会 プログラム・抄録集, 155, 2015.
  22. 岩崎由香利, 宮下 渉, 植木健次郎, 小池みづき, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 宇塚 聡, 小森 成 : 審美性ワイヤーならびに審美性ブラケットの色に関する調査, 第 74 回日本矯正歯科学会大会 プログラム・抄録集, 211, 2015.
  23. 内田裕子, 永島圭悟, 水谷匡佑, 小森 成 : エッジワイズ装置を用いた矯正治療による white spot の評価, 第 74 回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 230, 2015.
  24. 藤巻 良, 宇塚 聡, 早乙女美緒, 井出美穂, 小泉響子, 鈴木みすず, 内田裕子, 宮下 渉, 小森 成 : 外科矯正治療前後の下顔面部硬・軟組織の変化—骨格性下顎前突症患者での検討, 第 74 回日本矯正歯科学会大会 プログラム・抄録集, 258, 2015.
  25. 早乙女美緒, 宇塚 聡, 坂梨公亮, 佐藤揺子, 鈴木晴香, 渡邊尚子, 岩崎由香利, 宮下 渉, 小森 成 : 外科矯正治療前後の下顔面部硬・軟組織の変化—骨格性開咬症患者での検討, 第 74 回日本矯正歯科学会大会 プログラム・抄録集, 259, 2015.
  26. 土持 宇, 小林さくら子, 吉屋慶章, 植木健次郎, 安藤文人, 宮下佳子, 岡本美結, 井出美穂, 鈴木晴香, 小泉響子, 小森 成, 幸田隆史, 川嶋優花, 新井一仁 : 日本歯科大学附

- 属病院矯正歯科における過去6年間の臨床統計, 第74回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 237, 2015.
27. 栗原綾子, 宮下佳子, 鈴木晴香, 小森 成: 埋伏上顎前歯に対する治療計画と三次元的に牽引を行う装置の考案, 第74回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 244, 2015.
  28. 小林みなみ, 安藤文人, 光岡一行, 鈴木晴香, 小林さくら子, 小森 成: 日本歯科大学附属病院の矯正初診患者のう蝕罹患状況についての予備的研究, 第74回矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 272, 2015.
  29. Komori A, Uchida Y, Nagashima K. A prospective randomized clinical trial of resin-modified light cured glass ionomer cement and composite resin for orthodontic bonding, 8<sup>th</sup> International Orthodontic Congress, WFO-0379, 2015.
  30. 坂梨公亮, 宇塚 聡, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みづき, 光岡一行, 吉田陽子, 永島圭悟, 片岡彩乃, 宮下 渉, 原 節宏, 小森 成: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における下顎の劣成長と重篤度ならびに気道形態及び, 舌骨の位置の関連, 日本睡眠学会第40回定期集会プログラム・抄録集, 88:271, 2015.
  31. 宇塚 聡, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みづき, 宮下 渉, 藤城建樹, 荘司洋文, 小森 成: 骨格性下顎前突症の顎矯正手術前後の舌骨の位置と気道形態の変化についての検討, 歯学会学内口演会プログラム・抄録集, 1:5, 2015.
  32. Mizutani K, Uzuka S, Nagashima K, Nakano S, Suzuki M, Yoshida Y, Yajima Y, Komori A. Relationship between maxillary dental arch morphology and severity of obstructive sleeping apnea in non-obese patients, The 28<sup>th</sup> TAO Annual Meeting & 2015APOS (Asican Pacific Orthodontic Society) Residents Forum Abstract Book, 67, 2015.
  33. Sakanashi K, Uzuka S, Mizutani K, Koike M, Okamoto M, Miyashita W, Yajima Y, Komori A. Relationship between skeletal pattern and severity of obstructive sleep apnea, The 28<sup>th</sup> TAO Annual Meeting & 2015APOS (Asican Pacific Orthodontic Society) Residents Forum Abstract Book, 68, 2015.
  34. Nagashima K, Uzuka S, Mizutani K, Komori A, Yajima Y, Mitsubayashi H. The effect of oral appliance therapy in obstructive sleep apnea, 45<sup>th</sup> AADR Annual meeting Program book, 116 (#1398), 2016.
  35. Uzuka S, Sakanashi K, Suzuki M, Watanabe N, Koike M, Nagashima K, Yoshida Y, Yajima Y, Komori A, Mitsubayashi H. The relationship between mandibular retrusion and airway morphology and severity of obstructive sleep apnea syndrome, 45<sup>th</sup> AADR Annual meeting Program book, 75(#0333), 2016.

## G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演  
記載事項なし
- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
  1. 小森 成: 睡眠時無呼吸症候群に対する理解と医科, 歯科的対応について, 日本交通研修会, 東京, 2015年5月14日.

2. 小森 成：乳歯列から永久歯列への咬合育成，佐賀県保険医協会講演会，佐賀，2015年6月11日。
3. 小森 成：6カ月で完了するMTMシステム習得コース，GCハンズオンレクチャー，東京，2015年9月13日。
4. 宮下 渉：矯正歯科の資料採取における基準とテクニック—口腔内写真撮影を中心に—，日本成人矯正歯科学会秋季セミナー「ブラッシュアップセミナー」，東京，2015年10月29日。
5. 小森 成：矯正歯科治療をいつ始めるべきか—開始時期に関わる論争と今日的解釈—，玉川歯科医師会学術講演会，東京，2015年11月14日。
6. 小森 成：保険診療と矯正歯科，東京都国民健康保険団体連合会国民健康保険診療報酬審査委員会研修会，東京，2015年12月15日。
7. 小森 成：矯正治療とEnameloplasty，中日本矯正歯科医会学術講演会，愛知，2015年12月17日。
8. 小森 成：矯正歯科臨床における進歩と検証，青空塾，東京，2016年1月11日。
9. 小森 成：5-year-olds' index を用いた口蓋裂評価を振り返る，口唇口蓋裂のチームアプローチと治療方針に関する第29回研究会，東京，2016年1月20日。
10. 小森 成：第1期治療にまつわる論争と今日的解釈，成育歯科医療研究会第19回徹底討論会，神戸，2016年2月4日。
11. 宇塚 聡：社団法人東京都歯科医師会卒後研修「平成27年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会」東京，2016年2月20～21日。



## ● 歯科麻酔・全身管理科 Dental Anesthesia

### 1. 所属構成員等

教 授 三代 冬彦  
准 教 授 中村 仁也, 高橋 誠治  
講 師 阿部 恵一, 今井 智明  
助 教 小林 清佳, 小谷田貴之, 塩谷 伊毅, 三井 陽介, 生駒久美子  
臨 床 研 究 生 大越久美子  
五井 貴大, 深見 隼人  
非 常 勤 講 師 新崎 裕一, 岡本 順孝, 鹿島 雅彦, 桑原 靖, 関 慎太郎  
西田 麻子, 森谷 健一, 平林 幹貴

### 2. 研究テーマ

記載事項なし

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

### 6. 国際交流状況

記載事項なし

### 7. 外部・学内研究費

- 1) 株式会社モリタ製作所委託研究費（新規），平成 27 年度，SIMROID を用いたシミュレーション教育に関する研究，羽村 章（代表），三代冬彦，秋山仁志，原 節宏，宇塚 聡，宮下 渉（分担），1,000,000 円.

### 8. 研究業績

#### A. 著 書

記載事項なし

#### B. 原 著

1. 秋山仁志，三代冬彦，羽村 章，横澤 茂，小川智久：日本歯科大学附属病院協力型臨床研修施設における研修歯科医の診療実績に関する調査，日本歯科医療管理学会雑誌，第 50 巻（第 3 号）：162-169，2015.

### C. 総説・解説

1. 三代冬彦：巻頭書 附属病院のこと，歯顎，103（秋季特集号）：3，2015.

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 福田恵里，野杵明美，小林邦枝，青柳ひとみ，瀬戸ゆきの，中村仁也，楊 秀慶：大学附属病院ハイリスク診療センターへ紹介された初診患者に対する歯科衛生士の役割，障害者歯科，36 卷（3 号）：294，2015.
2. 生駒久美子，阿部恵一，大越久美子，三井陽介，小林清佳，中村仁也：McGRATH MAC を用いて経鼻挿管を行った，コルネリアデラング症候群の 1 例，日本歯科麻酔学会雑誌，43 卷（4 号）603，2015.
3. 小林邦枝，野杵明美，熊田直子，安藤真紀，阿部恵一，中村仁也，砂田勝久：日本歯科大学附属病院歯科衛生士を対象にした緊急対応に関するアンケート調査，日本歯科麻酔学会雑誌，43 卷（4 号）：603，2015.
4. 柳瀬茉木子，小林邦枝，中村仁也，阿部恵一，砂田勝久，福田恵里，渡部裕子，西口はづき：日本歯科大学附属病院歯科麻酔・全身管理科における歯科衛生士の業務 入院症例の場合，日本歯科麻酔学会雑誌，43 卷（4 号）：580，2015.
5. 西口はづき，柳瀬茉木子，麻見千登世，細田久子，重井亜紀，中村仁也，阿部恵一，砂田勝久：日本歯科大学附属病院歯科麻酔・全身管理科における歯科衛生士の業務 外来症例の場合，43 卷（4 号）：579，2015.
6. 石井彩里，篠原健一郎，中村仁也，砂田勝久：過換気発作後に無呼吸と意識消失を呈した 1 症例，日本歯科麻酔学会雑誌，43 卷（4 号）：553，2015.
7. 小谷田貴之，今井智明，深見隼人，五井貴大，塩谷伊毅，阿部恵一，高橋誠治，三代冬彦，中村仁也：横紋筋融解症を有する患者の全身麻酔を経験した 1 症例，日本歯科麻酔学会雑誌，43 卷（4 号）：536，2015.
8. 村田奈保子，中村仁也，今井智明，三井陽介，篠原健一郎，砂田勝久：三回目の全身麻酔後に発作が出現したてんかん患者の麻酔経験，日本歯科麻酔学会雑誌，43 卷（4 号）：534，2015.
9. 小林清佳，安藤文人，小林さくら子，石垣佳希，大津光寛，北 大樹，三代冬彦，内川喜盛：日本歯科大学附属病院の針刺し・切創事例の検討，日本歯科医療管理学会雑誌，50 卷（1 号）：32，2015.
10. 秋山仁志，宇塚 聡，宮下 渉，原 節宏，三代冬彦，羽村 章：ヒト型患者ロボットシミュレーションシステム（SIMROID®）における高齢者モデルの開発，日本歯科医学教育学会雑誌，31 卷（3 号）：129-137，2015.
11. Abe K, Okoshi K, Fukami H, Sunada K, Nakamura K. General anesthesia for a dental patient with Moebius syndrome, 14<sup>th</sup> International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control of the IFDAS Program, 64, 2015. (October 8-10, 2015, Berlin)

### E. 翻訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 秋山仁志, 宇塚 聡, 宮下 渉, 原 節宏, 三代冬彦, 羽村 章, 稲員洋頭, 磯川幸宏, 西村巳貴則, 佐藤公俊: ヒト型患者ロボットシミュレーションシステムにおける老人使用シミュレーターの検証, 老年歯科医学, 30 卷 (2 号) : 256, 2015.

## G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 中村仁也: アンチドーピングについて, 2015 年紀の国和歌山国体第 70 回国民体育大会セーリング競技監督会議, 和歌山県, 2015 年 9 月 9 日.
2. 中村仁也: 緊急時の対応および救急薬品の使用法, 東京都府中市歯科医師会, 2015 年 2 月 27 日.

● 歯科放射線口腔病理診断科  
Division of Oral Diagnosis, Dental and Maxillofacial  
Radiology and Oral Pathology Diagnostic Services

1. 所属構成員等

准 教 授 柳下 寿郎  
講 師 柴田 聡彦 (2015年9月退職) , 林 宗廣, 岩田 洋  
非常勤歯科医師 浅井 桜子  
客員教授等 岡部 貞夫

2. 研究テーマ

- 1) 口腔粘膜上皮内癌の病理組織学的診断基準 Histopathological criteria for diagnosis of carcinoma in situ oral mucosa.
- 2) 扁平上皮癌における浸潤様式と予後との関連 Association with mode of invasion and prognosis in squamous cell carcinoma.
- 3) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者のQOLを支える Improvement of diagnosis and treatment grades for oral cancer, and supportmentfor QOL of the oral cancer patients.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 口腔がんの診断と治療成績の向上および患者のQOLを支える舌白板症に対する粘膜切除が舌癌の早期発見・早期治療に有効かを確かめて、白板症の舌粘膜切除を推奨する。

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

記載事項なし

8. 研究業績

A. 著 書

1. 岩田 洋, 大林康二, 渡邊 香, 樋渡史子: 光干渉断層撮像 (OCT). 歯科再生・修復医療と材料, シーエムシー出版, p262-9. 2015. ISBN : 978-4781310848.

B. 原 著

1. 岩田 洋, 小川智久, 柳下寿郎, 大嶋依子, 関川陽子, 松本 智: 歯科人間ドックおよび

- 口腔がん検診に関する意識調査, 日本歯科人間ドック学会誌, 2015 ; 10 卷 (1 号) : 49-52.
2. Chiba T, Soeno Y, Shirako Y, Sudo H, Yagishita H, Taya Y, Kawashiri S, Okada Y, Imai K. MAL T1 inhibition of oral carcinoma cell invasion and ERK/MAPK activation, J Dent Res., 2016 ; 95 (4) : 446-452, doi : 10.1177/0022034515621740.
  3. 内山恵理, 伊藤 弘, 岩田 洋, 小川智久 : 歯科大学附属病院教職員における禁煙指導状況とニコチン依存度との関係, 日本歯科人間ドック学会誌, 2015 ; 10 : 34-40.

### C. 総説・解説

記載事項なし

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. Miyajima D, Ishikawa A, Yagihara K, Ishida T, Yagishita H, Kasturano M, Sumimoto W, Ishii J. A rare case of osteoblastoma of the mandible, OJOMSMP, 27 : 884-887, 2015, doi : 10.1016/j.ajoms.2015.04.001.
2. 八木原一博, 石井純一, 久保田靖子, 桂野美貴, 松木繁雄, 西村ゆう, 石川文隆, 柳下寿郎, 別府 武, 田中憲一, 齋藤昌樹, 出雲俊之, 田中洋一 : Methotrexate lymphoproliferative disorder と診断した口腔ホジキンリンパ腫の 2 例, O 埼玉県医学会雑誌, 50 (1) : 469-475, 2015.

### E. 翻訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 八木原一博, 石井純一, 桂野美貴, 土田絵梨, 石川文隆, 柳下寿郎, 上原 忍, 藤井英治, 峯村俊一 : 副甲状腺機能亢進症の既往のある患者に発症した上下顎 fibro-osseous lesion の 1 例, 日本口腔科学会雑誌, 64 卷 (2 号) : 171, 2015.
2. Shoji H, Yanai C, Okamura H, Kitazume E, Taniuchi M, Okabe S, Yagishita H : Predictors of delayed cervical lymph node metastasis in Stage I and II tongue cancer, 頭頸部癌, 41 (2) : 182, 2015. (第 39 回日本頭頸部癌学会総会)
3. 八木原一博, 石井純一, 桂野美貴, 土田絵梨, 石川文隆, 柳下寿郎, 出雲俊之, 岡部貞夫 : 当科における硬口蓋扁平上皮癌症例の 7 例, 日口外誌, 61 (総会特別号) : 305, 2015. (第 61 回日本口腔外科学会学術大会)
4. 南郷孝徳, 山下憲昭, 飯田昌志, 岡村 尚, 荘司洋文, 柳下寿郎 : 長期にわたり開窓療法が行われていた顎骨中心性粘表皮癌の 1 例, 日口外誌, 61 (総会特別号) : 245, 2015. (第 61 回日本口腔外科学会学術大会)
5. 吉田和正, 荘司洋文, 岩田 洋, 柳下寿郎, 岡部貞夫 : 結城百合子含歯性嚢胞と併存し著明な嚢胞形成を呈した口蓋部粘表皮癌の 1 例, 日口外誌, 61 (総会特別号) : 239, 2015. (第 61 回日本口腔外科学会学術大会)
6. 武田宗矩, 足立雅利, 荘司洋文, 柳下寿郎 : 広頸筋下に脱出したオトガイ下部類表皮嚢胞の 1 例, 日口外誌, 61 (総会特別号) : 204, 2015. (第 61 回日本口腔外科学会学術大会)
7. 岡村 尚, 荘司洋文, 北詰栄里, 足立雅利, 岡部貞夫, 柳下寿郎, 小笠原健文 : 導入化学

療法として DCS 療法が著効した口底癌の 1 例, 日口外誌, 61 (総会特別号): 204, 2015.

(第 61 回日本口腔外科学会学術大会)

8. 八木原一博, 石井純一, 桂野美貴, 土田絵梨, 石川文隆, 柳下寿郎, 出雲俊之, 岡部貞夫: 切除+植皮を行った舌癌症例の予後, 日本癌治療学会誌, 51 (1): 286, 2015. (第 53 回日本癌治療学会学術集会)
9. 岩田 洋, 横澤 茂, 滑川初枝, 小林 建, 畑下友美, 大嶋依子, 関川陽子, 岩上麻由香, 中谷泰志, 園田茂晴, 柳下寿郎: 口腔がん検診システムを用いた集団企業検診の概要, 第 18 回 8 回歯科人間ドック学会総会・学術大会, 27, 2015.
10. 原 節宏, 滑川初枝, 宇塚 聡, 宮下 渉, 林 宗廣, 岩田 洋, 竹川本夫: 筋硬結の画像診断—咬筋部における超音波診断の応用—, 日本歯科人間ドック学会第 18 回学術大会プログラム集, 33, 2015.
11. 柳下寿郎, 児玉重明, 矢島正隆, 岡 和雄, 荘司洋文, 岡部貞夫: 麻布赤坂・芝歯科医師会における口腔がん検診の取り組みとその現状, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 250, 2016.
12. 岩田 洋, 横澤 茂, 滑川初枝, 小林 建, 畑下友美, 大嶋依子, 関川陽子, 岩上麻由香, 中谷泰志, 園田茂晴, 柳下寿郎: 新たな口腔がん検診システムの構築を目指して, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 250, 2016.
13. 荘司洋文, 浅野一成, 辺見卓男, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 舌白板症症例における臨床病理学的検討, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, 238, 2016.
14. 神垣友希乃, 小倉 晋, 岩田 洋, 高森 等, 代居 敬: インプラント周囲骨の評価における平行法エックス線写真とパノラマエックス線写真の比較, 歯科放射線, 55 (増刊号): 80, 2015.
15. 柳下寿郎, 辺見卓夫, 岡部貞夫: ワークショップ 2 口腔表在癌, 特に Tis 癌における診断の標準化にむけて 4. 当院における舌表在癌の取扱いの現状と問題点, 口腔腫瘍, 27 (4): 153, 2015.
16. 北詰栄里, 岡部貞夫, 荘司洋文, 柳下寿郎, 岡村 尚, 谷内美紀: 口腔癌における頸部リンパ節転移およびリンパ節外浸潤陽性症例の検討, 口腔腫瘍, 27 (4): 161, 2015.
17. 辺見卓夫, 柳下寿郎, 荘司洋文, 岡部貞夫, 青葉孝昭: 舌異型上皮の免疫表現型に基づく悪性度評価と Patch-Field-発癌モデルの検証, 口腔腫瘍, 27 (4): 165, 2015.
18. 谷内美紀, 荘司洋文, 岡本秀平, 岡村 尚, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 5 年間の当科における舌癌 Stage I 症例の検討, 口腔腫瘍, 27 (4): 178, 2015.
19. 岡村 尚, 荘司洋文, 北詰栄里, 谷内美紀, 柳下寿郎, 岡部貞夫: 予後不良となった舌扁平上皮癌 Stage I 症例の検討, 口腔腫瘍, 27 (4): 194, 2015.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 柳下寿郎: 口腔粘膜癌を発見するのは歯科医師の仕事—良き口腔癌スクリーナーを目指して—, 第 18 回歯科人間ドック学会総会・学術大会, 川口市, 2015 年 12 月 5 日.
2. 浅野一成, 岡部貞夫, 荘司洋文, 辺見卓男, 柳下寿郎: 舌白板症を経過観察としますか, あるいは積極的に切除しますか?—当院の舌白板症切除症例における臨床病理学的な検討—, 第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 横浜, 2016 年 1 月 21 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 柳下寿郎：口腔粘膜疾患の病理学，平成 27 年度東京都歯科医師会卒後研修 マスター口腔粘膜疾患—口腔粘膜疾患診断のコツとツボ—，東京，2015 年 6 月 25 日。
2. 柳下寿郎：粘膜病変を見極める！—良き口腔がんスクリーナーを目指して—，江戸川区歯科医師会，江戸川区，2015 年 7 月 28 日。
3. 町田智正，岡村 尚，荘司洋文，柳下寿郎，岡部貞夫：確定診断を得るのに時間を要した下顎骨顎骨中心性癌の 1 例，第 15 回関東地区口腔腫瘍研究会，東京，2015 年 7 月 26 日。
4. 岩田 洋，浅井桜子，林 宗廣，柳下寿郎：巨大な扁桃結石の画像所見，日本歯科放射線学会第221回関東地方会・第35回北日本地方会・第23回合同地方会，東京，2015年7月18日。
5. 柳下寿郎：日本歯科大学附属病院が目指す地域医療連携—画像診断と治療方針アドバイス—，日本歯科大学校友会厚木・海老名／秦野・伊勢原支部，神奈川，2015 年 11 月 28 日。
6. 柳下寿郎：ヒトの口腔癌の現状—ヒトから動物の口腔腫瘍を考える—，獣医師病理専門医勉強会，東京，2015 年 11 月 8 日。
7. 八木原一博，石井純一，桂野美貴，土田絵梨，石川文隆，柳下寿郎：下顎歯肉癌治療の中で考えたこと—case report—，第 42 回東信頭頸部癌研究会，軽井沢，2015 年 12 月 5 日。
8. 岡村 尚，荘司洋文，谷内美樹，山下憲昭，柳下寿郎，岡部貞夫：術後照射により早期に放射線性骨髄炎を来たした口底腺様嚢胞癌の 1 例，第 42 回東信頭頸部癌研究会，軽井沢，2015 年 12 月 5 日。
9. 岡部貞夫：「口腔白板症」は、まだ前癌病変ですか？，第 264 回関東地区口腔腫瘍集談会，東京，2015 年 12 月 1 日。
10. 浅井桜子，岩田 洋，林 宗廣，岡村 尚，柳下寿郎：下顎骨に生じた石灰化上皮性菌原性腫瘍の一例，日本歯科放射線学会第 222 回関東地方会，東京，2016 年 1 月 23 日。
11. 伊藤有希，荘司洋文，柳下秀郎，岡部貞夫，柳下寿郎：歯周炎を疑い治療が遅延した下顎歯肉癌の 1 例，第 266 回関東地区口腔腫瘍集談会，東京，2016 年 3 月 1 日。

## ● 口腔インプラント診療科 Division of Oral Implant

### 1. 所属構成員等

教 授 高森 等 (4月～8月), 柳井 智恵  
准 教 授 平賀 泰, 小倉 晋  
助 教 山田麻衣子, 大島 正充, 石井 通勇  
非常勤歯科医師 是澤 和人, 倉治 真夏

### 2. 研究テーマ

- 1) 生体材料と成長因子による骨再生医療 Biomaterials and Growth-factor-based engineering of bone tissue.
- 2) 仮骨延長, 骨膜延長による骨形成機序 Mechanics of new bone formation by distraction osteogenesis and periosteal distraction osteogenesis.
- 3) 口腔癌外科切除後にインプラント治療による口腔機能の評価に関する検討 Functional outcome of implant therapy after surgical resection of oral cancer.
- 4) インプラント治療に関係した顎骨の骨量(形態)と骨質について Quantity (Shape) and quality of jaw bone concerning to implant treatment.
- 5) インプラント治療の長期臨床的検討 A study on long term of dental implant treatment.
- 6) 下顎骨形態および下顎管についての放射線学的検討 Radiological examination of mandibular bone shape and mandibular canals.
- 7) インプラント治療前後の咀嚼機能の評価 Evaluation of a masticatory function after implant treatment.
- 8) 顎顔面領域の顎欠損に対する機能再建(骨造成およびインプラント治療) Functional reconstruction to a jaw deficit of maxillofacial. (Bone development and implant treatment)

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

### 6. 国際交流状況

- 1) 柳井智恵: 2015年11月8日から13日まで, 新潟校・関本恒夫歯学部長とともに姉妹校の台湾・中山医学大学を訪問し, 11月12日の中山医学大学55周年記念式典に参列した。今回の訪問では, 周明勇理事をはじめ諸先生方々と親交を図ることができた。
- 2) 柳井智恵: 2016年3月4日から3月8日まで, 台湾・台中市・亜州大学にて2016 Annual Congress of Taiwanese Association of Oral and Maxillofacial Surgery (TAOMS 2016) から招聘された学術講演を行い, その後, 又賀泉先生, 松野智宣先生とともに姉妹校の中山医学大



学を訪問し、本学4名の学生が交換留学しており、活動の視察を行った。

## 7. 外部・学内研究費

記載事項なし

## 8. 研究業績

### A. 著書

1. 高森 等, 小倉 晋 (分担) : Part1 インプラントに関する基礎知識—インプラントとは?  
4. 治療の流れ 6 外科手術 (インプラント体埋入), 38-42, 末瀬一彦, 水木信之, 萩原芳幸, 阿部田暁子 (編著), 歯科衛生士ベーシックスタンダード インプラント, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, ISBN : 978-4-263-42206-9.

### B. 原著

1. 吉野 綾, 成相義樹, 狩野正明, 辰巳博人, 恒松晃司, 高村雄太郎, 管野貴浩, 柳井智恵, 近藤誠二, 関根浄治 : 頬脂肪体を用いた顎口腔再建術の有用性に関する検討, 頭頸部癌, 2015 ; 44 (4) : 406-410.

### C. 総説・解説

1. 志賀 博, 高森 等 : インプラント治療患者の咀嚼機能, 顎顔面インプラント誌, 14 (2) : 65, 2015.

### D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 倉治ななえ, 児玉美穂, 代田あづさ, 柳井智恵 : 妊婦さんに伝えよう! お口の変化と赤ちゃんへの影響, 歯科衛生士, 39 (9) : 59-68, 2015.
2. Yanai C. "Copy me!" Computer-aided operation planning for alveolar distraction. International Association of Oral and Maxillofacial Surgeons (IAOMS), "Face to face" Issue44, [http://issuu.com/iaoms/docs/f2f44december23/1?utm\\_source=F2F+NUM+44+12-21-15&utm\\_campaign=F2F+Issue+44&utm\\_medium=email](http://issuu.com/iaoms/docs/f2f44december23/1?utm_source=F2F+NUM+44+12-21-15&utm_campaign=F2F+Issue+44&utm_medium=email). (参照 2015年12月24日)

### E. 翻訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Yoshino A, Nariai Y, Karino M, Tatsumi H, Tsunematsu K, Takamura Y, Kanno T, Yanai C, Kondo S, Sekine J. Applicability of buccal fat pad grafting for oral reconstruction, 第39回日本頭頸部癌学会第4回アジア頭頸部癌学会学術大会プログラム・抄録集, 139, 2015.
2. Yanai C, Sakamoto M, Yamada M, Shoji H, Yagisita T, Okabe S. Pediatric mucoepidermoid carcinoma of the buccal mucosa, 22<sup>nd</sup> International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery Program Book, 52, 2015.
3. 神垣友希乃, 小倉 晋, 岩田 洋, 高森 等, 代居 敬 : インプラント周囲骨の評価における平行法エックス線写真とパノラマエックス線写真の比較, 歯科放射線, NPO 法人日本

- 歯科放射線学会第 56 回学術大会・第 12 回定例総会プログラム・講演抄録集, 80, 2015.
4. 石井通勇, 濱 仁隆, 大島正充, 山瀬 勝, 小倉 晋: 機械式および電気式トルクコントローラーの術者の違いによるトルク値再現性, 日口腔インプラント誌, 28 (特別号): 198, 2015.
  5. Yamada M, Ogura S, Ishii M. Clinical Examination for the Long-term of implant-implant body with porous anodized surface, Official Publication of the European Association for Osseointegration, Programme, 73, 2015.
  6. Ishii M, Yamase M, Hama M, Yamada M, Oshima M, Ogura S. Accuracy of measurement of torque controllers for implant treatment, Official Publication of the European Association for Osseointegration, Programme, 76, 2015.
  7. 平賀 泰, 志賀 博, 小倉 晋, 横山正起, 高森 等: インプラント応用患者の咀嚼能力と咬合力における性差, 日口腔インプラント誌, 公益社団法人日本口腔インプラント学会第 35 回関東・甲信越支部学術大会プログラム・抄録集, 59, 2016.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. Yanai C. Functional outcome of implant therapy after surgical resection of oral cancer, Taiwan Journal of Oral and Maxillofacial Surgery 23, 2016, 28<sup>th</sup> Annual Congress of Taiwanese Association of Oral and Maxillofacial Surgery, Guest Speech, Taichung Taiwan, 2016.3.6.

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 柳井智恵: 内科疾患患者のインプラント治療をより安全に進めるためには, 富山県日本歯科大学校友会学術講演会, 富山, 2015 年 7 月 26 日.
2. 柳井智恵: インプラント治療および小手術のリスクマネージメントー全身疾患患者を中心にー, 十勝歯科医師会火曜会学術講演会, 帯広, 2015 年 8 月 18 日.
3. 柳井智恵: 口腔外科とインプラントの適応拡大, 日本歯科大学 77 会学術講演会, 東京, 2015 年 9 月 13 日.
4. 小倉 晋: 大学病院におけるインプラント治療の現状, 第 5 回ナショナルカムログコンgres Tokyo Japan 2015, 東京都, 2015 年 11 月 22 日.

## ● 顎変形症診療センター Jaw Deformity Clinic

### 1. 所属構成員等

准 教 授 渡辺 昌司（併任）

講 師 藤城 建樹（併任），今井 智明（併任）

歯 科 衛 生 士 西口はづき（併任），川邊 靖子（併任），今村安芸子（併任）

### 2. 研究テーマ

- 1) 顎矯正手術における骨片固定材料に関する臨床的検討 Clinical evaluation of osteosynthesis used in orthognathic surgery.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

### 6. 国際交流状況

記載事項なし

### 7. 外部・学内研究費

記載事項なし

### 8. 研究業績

#### A. 著 書

記載事項なし

#### B. 原 著

1. 鈴木みすず，宇塚 聡，渡邊尚子，宮下 渉，藤城建樹，荘司洋文，小森 成：骨格性下顎前突症の顎矯正手術前後の舌骨の位置と気道形態の変化についての検討，○日本顎変形症学会雑誌，2015；25（3）：201-206.

Suzuki M, Uzuka S, Watanabe N, Miyashita W, Fujishiro T, Shoji H, Komori A (7<sup>th</sup>) (7 authors). Evaluation of hyoid bone position and pharyngeal airway morphology before and after orthognathic surgery for mandibular prognathism, ○Jpn.J.Jaw Deform, 2015；25（3）：201-206.

#### C. 総説・解説

記載事項なし

#### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

#### E. 翻 訳

記載事項なし

#### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 坂梨公亮, 宇塚 聡, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みずき, 光岡一行, 吉田陽子, 永島圭悟, 宮下 渉, 藤城建樹, 小森 成: 閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者における下顎の劣成長と重篤度および気道形態の関連, 第 25 回日本顎変形症学会総会 (神田) プログラム・抄録号, 193, 2015.
2. 藤城建樹, 荘司洋文, 岡本秀平, 柳下秀郎, 小林隆太郎: 1 型糖尿病を有する下顎前突症患者に対し下顎枝矢状分割術を施行した 1 例, 第 25 回日本顎変形症学会総会 (神田) プログラム・抄録号, 169, 2015.
3. 小林さくら子, 鈴木章弘, 大塚絵里佳, 伊藤美結, 安藤文人, 小森 成, 荘司洋文, 藤城建樹: 外科的矯正治療を選択した Angle I 級上下顎前突の 1 症例, 第 25 回日本顎変形症学会総会 (神田) プログラム・抄録号, 175, 2015.
4. 熊澤康雄, 浅海利恵子, 水谷太尊, 中川 綾, 山口 晃: 顎変形症患者におけるオトガイ部形態の CT 画像による検討, 第 25 回日本顎変形症学会総会 (神田) プログラム抄録号, 148, 2015.
5. 吉田陽子, 永島圭悟, 柳下秀郎, 小森 成: 術前矯正治療短縮を目的として抜歯空隙の代謝回転を高める試み, 第 25 回日本顎変形症学会総会 (神田) プログラム抄録号, 180, 2015.
6. Uzuka S, Suzuki M, Koike M, Watanabe N, Suda K, Miyashita W, Komori A. Hyoid bone and pharyngeal airway changes after mandible setback surgery, *Journal of Dental Research* 93<sup>th</sup> Program book, 135 (#1246), 2015.
7. Koike M, Uzuka S, Watanabe N, Suzuki M, Suda K, Nagashima K, Miyashita W, Komori A. Hyoid bone and pharyngeal airway changes after orthognathic surgery of open bite, *Journal of Dental Research* 90<sup>th</sup> Program book, 120 (#0856), 2015.
8. 宇塚 聡, 鈴木みすず, 渡邊尚子, 小池みづき, 宮下 渉, 藤城建樹, 荘司洋文, 小森 成: 骨格性下顎前突症の顎矯正手術前後の舌骨の位置と気道形態の変化についての検討, 歯学会学内口演会 (東京) プログラム・抄録集, 1 : 5, 2015.
9. 早乙女美緒, 宇塚 聡, 小池みづき, 藤巻 良, 片岡彩乃, 内田裕子, 宮下 渉, 小森 成: 骨格性開咬患者の顎矯正手術による側貌変化について, 第 33 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (宝塚) プログラム・抄録集, 147 : 254, 2015.
10. 藤巻 良, 宇塚 聡, 早乙女美緒, 坂梨公亮, 岩崎由香利, 宮下 渉, 小森 成: 骨格性下顎前突患者の顎矯正手術による側貌変化について, 第 34 回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会 (宝塚) プログラム・抄録集, 147 : 255, 2015.
11. 早乙女美緒, 宇塚 聡, 坂梨公亮, 佐藤瑤子, 鈴木晴香, 渡邊尚子, 岩崎由香利, 宮下 渉, 小森 成: 外科矯正治療前後の下顔面部硬・軟組織の変化—骨格性開咬症患者での検討—, 第 74 回日本矯正歯科学会大会 (福岡) プログラム・抄録集, 54 : 259, 2015.
12. 藤巻 良, 宇塚 聡, 早乙女美緒, 井出美穂, 小泉響子, 鈴木みすず, 内田裕子, 宮下 渉,

小森 成：外科矯正治療前後の下顔面部硬・軟組織の変化—骨格性下顎前突症患者での検討—，第74回日本矯正歯科学会大会（福岡）プログラム・抄録集，54：258，2015.

13. 熊澤康雄，河合泰輔，山口 晃，代居 敬：顎変形症患者のアンテリアループの形態に関する検討—術前CTによる評価—，第69回NPO法人日本口科学会学術集会プログラム・抄録集，346，2015.

## G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 莊司洋文：よくわかる下顎枝矢状分割法，第60回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会，ビデオレクチャー，名古屋市，2015年10月16日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

## ● 臨床検査室 Department of Clinical Laboratory

### 1. 所属構成員等

医療職員 藤田 裕紀, 荒井 千明, 比留間 馨, 矢島 知美

### 2. 研究テーマ

記載事項なし

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

### 6. 国際交流状況

記載事項なし

### 7. 外部・学内研究費

記載事項なし

### 8. 研究業績

#### A. 著書

記載事項なし

#### B. 原著

記載事項なし

#### C. 総説・解説

記載事項なし

#### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 柴田 潔, 長谷川和清, 荒井千明: 日本産海藻に含まれる多糖類の赤血球保護作用, 日本歯科大学紀要, 45 : 29-32, 2016, doi : 10.14983/00000753.

#### E. 翻訳

記載事項なし

**F. 学術雑誌掲載講演抄録**

記載事項なし

**G. 講演**

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

# ● 生命歯学研究科臨床口腔機能学大学院 Division of Clinical Oral Rehabilitation

## 1. 所属構成員等

教 授 菊谷 武

大学院 4 年生 元開 早絵 (～9 月), 手島 千陽 (～9 月), 佐川敬一朗, 古屋 裕康

大学院 3 年生 岡澤 仁志, 新藤 広基, 矢島 悠里

大学院 2 年生 仲澤裕次郎

大学院 1 年生 磯田 友子, 五十嵐公美, 光岡 一行

## 2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Rehabilitation for Dysphagia.
- 2) 口腔ケア Oral Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental Care for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with movement disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting stress.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of the reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

## 4. 学位取得者

- 1) 元開早絵, Loss of occlusal support affects the decline in activities of daily living in elderly people receiving home care, 2015 年 9 月 7 日, 日本歯科大学.
- 2) 手島千陽, 嚥下内視鏡検査時に行う簡易嚥下誘発試験の検討, 2015 年 9 月 7 日, 日本歯科



大学.

- 3) 佐川敬一郎, 虚弱高齢者の骨格筋量に関連する因子について, 2016年2月25日, 日本歯科大学.
- 4) 古屋裕康, 地域在住高齢者における舌の筋肉量、筋力と全身の筋肉との関係, 2016年2月25日, 日本歯科大学.

## 5. 主催学会等

- 1) 第26回日本老年歯科医学会, 神奈川県横浜市, 2015年6月12~14日, 日本歯科大学.
- 2) 医療・介護専門職向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック摂食・嚥下研修会, 小金井市民交流センター, 2015年6月2日, 2015年9月28日, 2016年2月15日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 3) 管理栄養士、栄養士、その他医療・介護専門職向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック食の研修センター 新しい介護食品“スマイルケア食”“食べる”を支える研修会, 多摩クリニック, 2015年9月5日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 4) 障害児にかかわる方向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック摂食・嚥下研修会 「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～, 多摩クリニック, 2015年7月28日, 2015年10月15日, 2016年2月23日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 5) 管理栄養士・栄養士・調理師向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック食の研修センター“食べる”を支える研修会, 2015年10月24日, 2016年2月27日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.

## 6. 国際交流状況

- 1) アメリカ・レッドランズ大学のマイケル グロハー教授による摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ. 重度誤嚥症例についてのプレゼンテーションと討論. 2015年8月3日~8月7日.

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本医療研究開発機構研究費, 長寿科学総合研究事業(継続), 平成26~28年度, 地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討, 菊谷 武(代表), 神崎恒一, 長島文夫, 田中良典, 道脇幸博, 八重垣 健(分担), 8,001,000円.
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C)(継続), 平成24~27年度, 摂食嚥下機能維持を目的とした精神神経疾患に対する薬物動態/薬力学的検討, 菊谷 武(代表), 松本宣明, 小野真一(分担), 124,483円.
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究(C)(新規), 平成27~29年度, 経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか?, 田村文誉(代表), 八重垣 健, 菊谷 武, 町田麗子, 水上美樹(分担), 2,100,000円.
- 4) 厚生労働省長寿科学研究開発費(継続), 平成25~27年度, 高齢者の口腔機能の評価法及び維持・向上法に関する研究, 角 保徳(代表), 渡邊 哲, 海老原 覚, 植松 宏, 菊谷

- 武, 道脇幸博, 永長周一郎, 三浦宏子, 岩渕博史, 櫻井 薫, 深山治久, 森戸光彦 (分担), 10,000,000 円.
- 5) 厚生労働科学研究費補助金, 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業, 長寿科学総合研究事業 (継続), 平成 25~27 年度, 口腔ケアと栄養管理による誤嚥性肺炎の予防に関する研究, 東口高志 (代表), 菊谷 武, 丸山道生, 葛谷雅文, 松崎政三, 真田弘美, 鎌倉やよい (分担), 11,570,000 円.
- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 26~27 年度, 口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究, 高橋賢晃 (代表), 菊谷武, 田村文誉 (分担), 794,136 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 菊谷 武 (分担執筆): III 研究のプロセスと研究成果の発表 4—広域研究—医科連携研究症例, 43-46, 金澤紀子, 石井拓男, 岩久正明, 武井典子, 合場千佳子 (編著), 日本歯科衛生学会 (監修), 歯科衛生研究の進め方論文の書き方 第 2 版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, ISBN : 978-4-263-42161-1.
2. 菊谷 武 (単著): 「食べる」介護がまるごとわかる本 (第 1 版) (第 3 刷), 株式会社メディアカ出版, 大阪, 2015, ISBN : 978-4840441544.
3. 菊谷 武 (分担執筆): §12 口腔ケア (総論) 36. 唾液の基礎知識, 21-28, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 出江紳一, 小島千枝子, 柴田享子, 戸原 玄 (編集), 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 e ラーニング対応 第 4 分野 摂食嚥下リハビリテーションの介入 I 口腔ケア・間接訓練 Ver. 2, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, ISBN : 978-4-263-44866-3.
4. 菊谷 武 (単著): 絵で見てわかる 認知症「食事の困った!」に答えます, 女子栄養大学出版部, 東京, 2015, ISBN : 978-4-8404-4154-4.
5. 菊谷 武 (分担執筆): II 老年歯科医学 (高齢者歯科医学) の実際 4. 摂食嚥下障害④ 摂食機能の進め方 3—治療計画, 337-339, 森戸光彦, 山根源之, 櫻井 薫, 羽村 章, 下山和弘, 柿木保明 (編著), 老年歯科医学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, ISBN : 978-4-263-45789-4.

### B. 原 著

1. \*Genkai S, Kikutani T, Suzuki R, Tamura F, Yamashita Y, Yoshida M. Loss of occlusal support affects the decline in activities of daily living in elderly people receiving home care, ©J Prosthodont Res, 2015 ; 59 (4) : 243-8, doi : 10.1016/j.jpor.2015.06.003. (学位論文)
2. Kuroda A, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y, Kikutani T, Furuya H, Obuchi S P, Kawai H, Ishii S, Akishita M, Tsuji T, Iijima K. Eating Alone as Social Disengagement is Strongly Associated With Depressive Symptoms in Japanese Community-Dwelling Older Adults, ©J Am Med Dir Assoc, 2015 ; 16 (7) : 578-85, doi : 10.1016/j.jamda.2015.01.078.
3. Ohno T, Morita T, Tamura F, Hirano H, Watanebe Y, Kikutani T. The need and availability of dental services for terminally ill cancer patients:a nationwide survey in Japan, ☆Support Care Cancer, 2015 ; 24 (1) : 19-22, doi : 10.1007/s00520-015-2734-5.

4. \*Tejima C, Kikutani T, Takahashi N, Tamura F, Yoshida M. Application of simple swallowing provocation test with fiberoptic endoscopic evaluation of swallowing in a cross-sectional study, ☆Bio Med Central, 2015 ; 15 : 48, doi : 10.1186/s12877-015-0049-5. (学位論文)
5. Yoshida M, Kanehisa Y, Ozaki Y, Iwasa Y, Fukuizumi T, Kikutani T. One-leg standing time with eyes open:comparison between the mouth-opened and mouth-closed conditions, ◎Cranio, 2015 ; 33 (1) : 15-8, doi : 10.1179/2151090314Y.0000000007.

### C. 総説・解説

1. 菊谷 武：世界会議 2015 記録集 1 地域における食支援, 日本歯科医師会雑誌, 68 (5) : 137-144, 2015.
2. 菊谷 武：第1部 高齢者の栄養と疾病 第5章 高齢者の摂食嚥下障害と食事, 国民の栄養白書 2015-2016 年版 高齢者の栄養管理と食事が支える生きる力, 78-81, 2015.
3. 菊谷 武：特集 高齢者医療での歯科に関する Minimum Skills 総説 2. 高齢者診療時の咀嚼・嚥下機能の配慮点, Geriatric Medicine<老年医学>, 53 (11) : 1143-1148, 2015.
4. 菊谷 武：超高齢社会における歯科医療・口腔保健の展開と健康政策 地域における食支援, 日本歯科医師会雑誌, 68 (5) : 505-512, 2015.
5. Tamura F, Kikutani T. Oral Rehabilitation and Regional Partnerships, 6<sup>th</sup> Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 118-120, 2015.
6. 菊谷 武：栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み, 日本補綴歯科学会誌, 7 (2) : 102-105, 2015.
7. 菊谷 武, 吉田光由, 菅 武雄, 木村年秀, 田村文誉, 窪木拓男：歯の喪失ならびに口腔機能低下が栄養状態に及ぼす影響—アセスメント法の開発—, 日本歯科医学会会誌, 34 : 59-63, 2015.
8. 村田比呂司, 志賀 博, 大久保力廣, 渋谷友美, 近藤尚知, 櫻井 薫, 田中順子, 松香芳三, 水口俊介, 鱒見進一, 大川周治, 西 恭宏, 越野 寿, 佐々木啓一, 赤川安正, 川良美佐雄, 菊谷 武, 吉田光由, 古谷野潔：高齢者の栄養障害に義歯装着がもたらす効果と高齢義歯装着者への摂食・栄養指導のガイドラインに関するプロジェクト研究, 日本歯科医学会会誌, 34 : 54-58, 2015.

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 菊谷 武：シリーズ胃ろうを考える② のみ込む力を取り戻す リハビリと手術, 週刊朝日, 120 (18) : 144-147, 2015.
2. 菊谷 武：時の言霊, りそな一れ, 13 (6) : 24-25, 2015.
3. 菊谷 武：食生活の知識④ 心も満たすスマイルケア食, 暮らしの豆知識 2016, 158-159, 2016.
4. 菊谷 武：認知症 食事の悩み こう対処, 日本農業新聞, 12面, 2015年10月8日.
5. 菊谷 武 (監修)：口腔ケア, オレンジページ 特別編集, シニアの手間をかけない健康ごはん, 80-83, 2015.
6. 田村文誉, 水上美樹, 町田麗子, 児玉実穂, 保母妃美子, 礪田友子, 元開早絵, 高橋賢晃, 菊谷 武：摂食嚥下障害児の母親の育児負担感と摂食指導, 日摂食嚥下リハ会誌, 19 (2) : 158-164, 2015.

7. 町田麗子, 田村文誉, 児玉実穂, 高橋賢晃, 保母妃美子, 磯田友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷 武: 在宅訪問における重症心身障害児の摂食機能療法の必要性, 障歯誌, 37 (1) : 61-65, 2016.
8. 佐々木力丸, 高橋賢晃, 田村文誉, 元開早絵, 鈴木 亮, 菊谷 武: 介護老人福祉施設に入居する要介護高齢者に対する栄養支援の効果について, 老年歯科医学, 29 (4) : 362-367, 2015.
9. 菊谷 武, 鰐原賀子: 誤嚥性肺炎の予防, メディカル朝日, 44 (9) (通巻第 526 号) : 19-20, 2015.
10. 菊谷 武, 鰐原賀子: ADL と QOL を向上させる口腔ケア, ふれあいケア, 21 (9) : 12-16, 2015.
11. 菊谷 武: 歯科の立場から—在宅における経口アプローチ—, ヘルスケア・レストラン 別刷, 1 : 163-170, 2015.
12. 菊谷 武: オーラルマネジメント最前線—高齢者の口腔ケア—認知症を含む, DM Ensemble, 14-16, 2015.
13. 菊谷 武: 特集: 知りたい! 聞きたい! 認知症 Q&A Q29. 認知症と摂食嚥下障害とは?, Monthly Book Medical Rehabilitation, 183 : 144-147, 2015.
14. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科 3 胃がん手術後に胃瘻を造設したが在宅リハで除去できた, 医療と介護 Next, 1 (3) : 58-59, 2015.
15. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科 4 食事観察環境把握は高齢者の摂食・嚥下支援に不可欠だ, 医療と介護 Next, 1 (4) : 66-68, 2015.
16. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科 5 食べる能力に応じた食形態の統一基準を使いこなそう, 医療と介護 Next, 1 (5) : 52-53, 2015.
17. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科 6 「とろみ」の意義と濃さの特徴を理解して正しく使おう, 医療と介護 Next, 1 (6) : 50-51, 2015.
18. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科 7 “いろいろレストラン”で患者さんと家族に楽しい食事のひとつを, 医療と介護 Next, 2 (1) : 56-57, 2016.
19. 菊谷 武: 特集 食べることは生きること～2025年問題を食から支える～, 地域で“食べる”を支えるということ, 日本栄養士会雑誌, 58 (7) : 9-12, 2015.
20. 菊谷 武: レポート第 29 回日本老年学会総会 合同シンポジウム 4「超高齢社会におけるフレイルを考える」, MEICAMENT NEWS, 2201 : 20-21, 2015.
21. 田村文誉, 古屋裕康, 菊谷 武: 酵素入りゲル化剤を用いた「調整つぶ粥」の有用性, Human Nutrition, 37 : 54-57, 2015.
22. 菊谷 武: ～在宅での“食べる”を支える～在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア ①在宅で「食べる」を支えるということ, 歯会展望, 126 (3) : 442-448, 2015.
23. 鰐原賀子, 菊谷 武: 特集 高齢者の呼吸器感染症マネジメント 誤嚥性肺炎の予防, Medical ASAHI, 44 (9) : 19-20, 2015.
24. 菊谷 武: 病態栄養 TOPICS⑩ スマイルケア食の使い方—地域で“食べる”を支えるために—, BEQ NEWS, 1-2, 2015.
25. 菊谷 武: 特集: 新しい介護食品 (スマイルケア食) の普及推進に向けて 嚥下調整食導入の必要性とスマイルケア食への期待, 明日の食品産業, 24-28, 2015.

26. 菊谷 武 (監修) : 食べることは生きること 在宅介護に向けて, 摂食嚥下障害のある場合の介護職と介助の実際, 健康増進のしおり, 2015.
27. 菊谷 武 : 9 章 高齢者歯科 03. 窒息事故と咀嚼機能, 日常臨床のレベルアップ&ヒント 72, 170-171, 2015.
28. 菊谷 武, 有友たかね : 「食べる」を支えるための口腔ケア～菌回収を意識した口腔ケアの実際・コツ～, ～在宅での“食べる”を支える～在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア, 歯界展望, 126 (3) : 449-457, 2015.

## E. 翻 訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 橋本久美, 松木るりこ, 高島良代, 西脇恵子, 須釜慎子, 水上美樹, 菊谷 武 : 特別支援学校との連携—2 年目の活動, 第 41 回日本コミュニケーション学会学術講演会予稿集, 41 : 93, 2015.
2. 古屋裕康, 佐川敬一郎, 元開早絵, 菊谷 武, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦 : 地域高齢者の追跡調査からみたサルコペニアと口腔機能との関連, 老年歯学, 30 (2) : 105, 2015.
3. 古屋裕康, 佐川敬一郎, 元開早絵, 菊谷 武, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦 : 健康高齢者の舌の厚みに関連する因子の検討, 老年歯学, 30 (2) : 109, 2015.
4. 高橋賢晃, 菊谷 武, 佐々木力丸, 新藤広基, 矢島悠里, 安藤亜奈美, 蛭谷剛文, 山口幸一, 田村文誉 : “要介護高齢者の肺炎発症に及ぼす影響—摂食支援カンファレンス実施施設におけるコホート研究による検討—”, 老年歯学, 30 (2) : 136-137, 2015.
5. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 宮原隆雄, 須田牧夫, 岡澤仁志, 田村文誉, 菊谷 武 : 適切な食支援により長期の経口摂取が可能となった介護老人福祉施設入所者症例の検討, 老年歯学, 30 (2) : 170-171, 2015.
6. 田中祐子, 有友たかね, 矢島悠里, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武 : 病院との連携によって行う摂食嚥下障害者に対する支援, 老年歯学, 30 (2) : 175-176, 2015.
7. 田中康貴, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武 : 舌接触補助床の装着により口腔移送時間の短縮を認めた一例, 老年歯学, 30 (2) : 202-203, 2015.
8. 関野 愉, 久野彰子, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博 : 介護老人福祉施設入居者における現在歯数と全身状態との関連について, 老年歯科医学, 30 (2) : 240-241, 2015.
9. 岡澤仁志, 戸原 雄, 高橋賢晃, 児玉実穂, 田村文誉, 菊谷 武 : 在宅療養高齢者の介護負担に関する因子の検討, 老年歯学, 30 (2) : 245-246, 2015.
10. 元開早絵 : 頸椎前面に生じた異常骨棘を有する嚥下機能紹介患者に対して栄養指導及び間接訓練が有効であった 1 症例, 第 26 回日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 240, 2015.
11. 磯田友子 : 口腔癌術後の摂食嚥下障害と構音障害に対して補綴処置が有効であった 1 症例, 第 26 回日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 244, 2015.
12. 矢島悠里, 田村文誉, 濱田美影, 野沢与志津, 河合美佐子, 菊谷 武 : 地域健康高齢者における摂取食品の変化と関連因子の検討, 日本老年医学会雑誌, 52 : 80-81, 2015.
13. 新藤広基, 古屋裕康, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦, 菊谷 武 : 地域在住高齢者に見ら

- れるサルコペニアと口腔機能の関連, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 90, 2015.
14. 西澤加代子, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武: 低出生体重児の体格が摂食機能獲得の予後に及ぼす影響, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 145, 2015.
  15. Mizukami M, Tamura F, Isoda T, Genkai S, Kikutani T. Eating instructions for infants with severe infantile type nemaline myopathy, 44<sup>th</sup> Annual convention International Association of Orofacial Myology, 2015.
  16. Genkai S, Tamura F, Mizukami M, Kikutani T. Effects of eating training on tongue pressure in children with dysphagia, 44<sup>th</sup> Annual convention International Association of Orofacial Myology, 2015.
  17. 佐川敬一朗, 鈴木 亮, 菊谷 武: 急性期病院における摂食嚥下機能評価システムの構築および介入効果の検討, 障歯誌, 36 (3) : 327, 2015.
  18. 礪田友子, 田村文誉, 高橋賢晃, 町田麗子, 保母妃美子, 元開早絵, 安藤亜奈美, 水上美樹, 西村美樹, 西澤加代子, 菊谷 武: 小児摂食指導外来の実態調査—経管の離脱—, 障歯誌, 36 (3) : 352, 2015.
  19. 町田麗子, 田村文誉, 児玉実穂, 高橋賢晃, 保母妃美子, 礪田友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷 武: 小児在宅歯科医療における重症心身障害児の摂食指導の効果, 障歯誌, 36 (3) : 528, 2015.
  20. 高橋賢晃, 菊谷武, 佐々木力丸, 田村文誉: 要介護高齢者における食物の臼歯部移送能に及ぼす因子の検討, 第 29 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 49, 2015.
  21. 古屋裕康, 菊谷 武: 在宅胃瘻患者の経口摂取再開への取り組み, 第 4 回日本臨床倫理学会抄録集, 100, 2016.
  22. 呉屋朝幸, 田中良典, 井上俊之, 藤澤節子, 菊谷 武, 佐野広美, 長島文夫: 大都市近郊での地域連携; 東京多摩地域の在宅医療・緩和ケアカンファレンス活動報告, 日本医療マネジメント学会雑誌, 183, 2015.
  23. 佐川敬一朗, 菊谷 武: 嚥下調整食コードを用いた地域連携の取り組み, 日本医療マネジメント学会第 16 回東京支部学術集会, 55, 2016.
  24. 菊谷 武: 栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み, 日本補綴歯科学会誌別刷, 7 (2) : 102-105, 2015.
  25. 菊谷 武, 吉田光由, 菅 武雄, 木村年秀, 田村文誉, 窪木拓男: 歯の喪失ならびに口腔機能低下が栄養状態に及ぼす影響—アセスメント法の開発—, 日本歯科医学会会誌別刷, 34 : 59-63, 2015.
  26. 村田比呂司, 志賀 博, 大久保力廣, 渋谷友美, 近藤尚知, 櫻井 薫, 田中順子, 松香芳三, 水口俊介, 鱒見進一, 大川周治, 西 恭宏, 越野 寿, 佐々木啓一, 赤川安正, 川良美佐雄, 菊谷 武, 吉田光由, 古谷野潔: 高齢者の栄養障害に義歯装着がもたらす効果と高齢義歯装着者への摂食・栄養指導のガイドラインに関するプロジェクト研究, 日本歯科医学会会誌別刷, 34 : 54-58, 2015.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武：要介護高齢者の食を守るために考える：補綴治療を始める前に考えること，公益社団法人日本補綴歯科学会第 124 回学術大会，臨床リレーセッション 2（専門医研修単位認定セミナー），埼玉県大宮市，2015 年 5 月 30 日。
2. 菊谷 武：「超高齢者社会におけるフレイルを考える」，第 29 回日本老年学会総会，合同シンポジウム，神奈川県横浜市，2015 年 6 月 13 日。
3. Michael Groher：Issues and Challenges in Managing Patients with Dementia and Dysphagia，エイジングと食への対応，高齢者歯科からの未来戦略」，第 26 回日本老年歯科医学会学術大会，国際シンポジウム，パシフィコ横浜，2015 年 6 月 14 日。
4. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ—スマイルケア食をツールとして—，第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，ランチョンセミナー5，京都府京都市，2015 年 9 月 12 日。
5. 菊谷 武：「超高齢者社会においてインプラントは是か非か？」，第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会，シンポジウム 13，岡山県岡山市，2015 年 9 月 23 日。
6. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ，第 18 回岐阜県嚥下障害研究会学術講演会，特別講演，岐阜県多治見市，2015 年 11 月 22 日。
7. 菊谷 武：超高齢化社会におけるインプラントは是か非か？高齢者の口腔機能はどう変化するのか？，日本口腔インプラント学会第 35 回関東・甲信越支部学術大会，シンポジウム 1，東京都新宿区，2016 年 2 月 13 日。

### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，第 36 回健康づくり提唱のつどい，東京都港区，2015 年 4 月 7 日。
2. 菊谷 武：食べることは生きること，第 5 回健康長寿のための市民公開講座，埼玉県所沢市，2015 年 4 月 11 日。
3. 菊谷 武：国立市歯科医師会学術講演会，東京都国立市，2015 年 4 月 15 日。
4. 菊谷 武：「忘れてはならない口腔ケア」，第 5 回日本微生物学連盟フォーラム，東京都新宿区，2015 年 4 月 24 日。
5. 菊谷 武：今始める歯科のための認知症講座—患者さんと家族のためにできること—，東京医科歯科大学歯科同窓会 第 52 期 Part II No.52 緊急特別講習会，東京都文京区，2015 年 4 月 26 日。
6. 菊谷 武：国立市歯科医師会学術講演会，東京都国立市，2015 年 5 月 20 日。
7. 菊谷 武：医療法人社団高輪会，日本歯科大学菊谷教授定例セミナー，東京都港区，2015 年 5 月 22 日，6 月 29 日，8 月 25 日，9 月 25 日，10 月 20 日，12 月 4 日，2016 年 2 月 9 日，3 月 18 日。
8. 菊谷 武：「在宅で食べるを支えるということ」，日本摂食・嚥下障害看護第 9 回大会 in 東京，東京都千代田区，2015 年 5 月 24 日。
9. 菊谷 武：ケースプレゼンテーションの進め方，評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都立心身障害者口腔保健センター，東京都新宿区，2015 年 6 月 4 日。
10. 菊谷 武：消化の話—口腔・咽頭・上部消化器系における基礎と臨床の接点③【地域で

“食べる”を支えるということ】、平成 27 年度解剖学会関東支部懇話会、東京都千代田区、2015 年 6 月 13 日。

11. 菊谷 武：高齢者の口腔機能管理と栄養指導（栄養マネジメント）、第 7 回高齢者等歯科医学研修会、富山県富山市、2015 年 6 月 21 日。
12. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて）、平成 27 年度東京都介護支援専門員更新研修、東京都新宿区、2015 年 6 月 23 日。
13. 田村文誉：摂食嚥下機能の発達と障害、あけぼの研修会、山梨県立あけぼの医療福祉センター、2015 年 7 月 5 日。
14. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて）、平成 27 年度東京都介護支援専門員更新研修、東京都新宿区、2015 年 7 月 6 日。
15. 菊谷 武：『地域で食べるを支えるということ』、日本歯科医師会平成 27 年度生涯研修セミナー、茨城県水戸市、2015 年 7 月 12 日。
16. 菊谷 武：『認知症の食べることの問題』、第 13 回日立三師会合同研究会、茨城県日立市、2015 年 7 月 17 日。
17. 菊谷 武：食べることに問題がある方をどうサポートするか、多職種連携研修会、相馬歯科医師会地域連携研修会、福島県相馬市、2015 年 7 月 18 日。
18. 菊谷 武：「食べることに問題のある方をどうサポートするか」、日本歯科医師会平成 27 年度生涯研修セミナー、兵庫県神戸市、2015 年 7 月 26 日。
19. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ、日本歯科医師会第 66 回中国地域医学大会平成 27 年度生涯研修セミナー、岡山県岡山市、2015 年 8 月 2 日。
20. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ（第 1 回）、船橋市 歯と口の健康に関する市民講演会、千葉県船橋市、2015 年 8 月 21 日。
21. 磯田友子：摂食指導の理論と障害種別指導法、平成 27 年度「発達や障害に応じた摂食指導の基礎と具体的な介助方法の実践講座」、都立小平特別支援学校、小平市、2015 年 8 月 26 日。
22. 菊谷 武：専門医からの講評、東京都立川多摩保健所平成 27 年度摂食嚥下機能支援事例検討会、東京都立川市、2015 年 9 月 3 日。
23. 菊谷 武：口腔科学と摂食嚥下リハビリテーション、第 58 回 NPO 法人口腔科学学会中部地方部会、岐阜県、2015 年 9 月 6 日。
24. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるか、2015 年度（公社）日本口腔インプラント学会認定講習会、東京都、2015 年 9 月 6 日。
25. 菊谷 武：「食の支援・摂食嚥下リハビリにおける栄養士の参加の意義」、公益社団法人船橋歯科医師会さざんか歯科学術講演会、千葉県船橋市、2015 年 9 月 7 日。
26. 菊谷 武：「口腔リハビリテーションについて」、コオ宇部市立医療センター西市民病院 NST オープンカンファレンス、兵庫県神戸市、2015 年 9 月 17 日。
27. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ—介護食“スマイルケア食”の活用を通じて—」、日本栄養士会生涯教育講座 多摩地区栄養士講座、東京都立川市、2015 年 9 月 18 日。
28. 菊谷 武：症例定時とディスカッション『認知症高齢者の各疾患への最適な対処法とは？』口腔ケアと嚥下困難、認知症サミット in 船橋、千葉県船橋市、2015 年 10 月 8 日。
29. 菊谷 武：病態別摂食嚥下障害（中途障害の摂食嚥下障害）、平成 27 年度認定歯科衛生士



- セミナー，東京都千代田区，2015年10月11日。
30. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」，中野区介護サービス事業所研修，東京都中野区，2015年10月16日。
  31. 菊谷 武：摂食・嚥下障害を有する高齢者の疾患のとらえ方と歯科治療について，平成27年度神奈川県摂食嚥下障害歯科医療担当者研修会，神奈川県横浜市，2015年10月18日。
  32. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），東京都介護支援専門員養成研修，東京都立川市，2015年10月20日。
  33. 菊谷 武：3年生対象特別講義，東京家政学院大学，東京都千代田区，2015年10月22日。
  34. 菊谷 武：「摂食嚥下における多職種連携」，第9回いばらき歯科医療フォーラム，茨城県土浦市，2015年10月25日。
  35. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害の評価」，東京都立心身障害者口腔保健センター 評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都新宿区，2015年11月1日。
  36. 菊谷 武：「摂食嚥下入門編」，2015年11月度「歯科臨床研究会」，神奈川県横浜市，2015年11月5日。
  37. 菊谷 武：特別講演『地域で“食べる”を支えるということ』，三重県NST研究会学術集会，三重県津市，2015年11月7日。
  38. 菊谷 武：これからの小金井市の地域医療について 歯科医師の取り組み，平成27年度『介護の日』シンポジウム，東京都小金井市，2015年11月9日。
  39. 菊谷 武：日本歯科医師会平成27年度生涯研修セミナー，北海道札幌市，2015年11月15日。
  40. 菊谷 武：歯と口の健康相談，府中市 摂食・嚥下専門相談，東京都府中市，2015年11月19日。
  41. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということ～スマイルケア食をツールとして～，平成27年度摂食嚥下機能支援基盤整備・摂食嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2015年11月20日。
  42. 菊谷 武：「事例から学ぶ！食べる機能支援」～嚥下障害を見逃さない目を育てよう～，府中市摂食・嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2015年11月20日。
  43. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ，第18回岐阜県嚥下障害研究会学術講演会，岐阜県多治見市，2015年11月22日。
  44. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ（第2回）—事例を通して—，船橋市歯と口の健康に関する市民講演会，千葉県船橋市，2015年11月27日。
  45. 菊谷 武：摂食嚥下機能の低下した高齢者に対して、どのように対処したらよいか？～地域支援体制の構築も含めて～，第9回鹿沼市市民公開講座，栃木県鹿沼市，2015年11月29日。
  46. 菊谷 武：「どう活用する“スマイルケア食”」，新しい介護食品に関するシンポジウム，東京都千代田区，2015年12月1日。
  47. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか，平成27年度日本歯科大学九州地区歯学研修会，福岡県福岡市，2015年12月12日。
  48. 菊谷 武：シリーズ！現場につながる口腔ケア研修会 求められています！あらゆる現場で活躍する歯科衛生士『チームで支える在宅ケア』，平成27年度福岡県歯科衛生士会口腔ケア研修会，福岡県福岡市，2015年12月20日。

49. 菊谷 武：「摂食・嚥下障がいに対する評価・診断・対処法について」，熊本県歯科医師会 在宅歯科医療推進事業研修会，2016年1月23～24日。
50. 菊谷 武：「低栄養サービス」，東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室 小金井市民講座，東京都小金井市，2016年1月25日。
51. 菊谷 武：平成27年度広島県地域医療介護総合確保事業 広島市在宅歯科医療推進講習・研修会，広島県広島市，2016年1月26日。
52. 菊谷 武：「高齢者の摂食嚥下と口腔ケアについて」，平成27年度さいたま市保健所・さいたま市保健所管内給食研究会合同研修会，埼玉県さいたま市，2016年1月29日。
53. 菊谷 武：「口腔機能向上」，東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室 小金井市民講座，東京都小金井市，2016年2月1日。
54. 菊谷 武：『臨床で役立つ摂食・嚥下～「食べる介護」がまるごとわかる～』，平成27年度NST 外部講師勉強会，神奈川県秦野市，2016年2月2日。
55. 菊谷 武：摂食嚥下機能支援事例検討会～チームアプローチにむけて～，平成27年度「摂食嚥下機能支援における事例検討会」，東京都福生市，2016年2月3日。
56. 菊谷 武：食支援でできることは・・・！～食べる機能を支えるためにそれぞれの立場で出来ることは～，平成27年度豊田市歯科口腔保健事業関係者研修会，愛知県豊田市，2016年2月10日。
57. 菊谷 武：活動報告（事例発表）「在宅要介護者への食支援の実践，多職種で関わる意義とその効果」，厚生労働省老人保健健康増進等事業 在宅高齢者の口から食べる楽しみを支援するための研修会 『口から食べたい』を地域で支援しよう！，東京都港区，2016年2月11日。
58. 菊谷 武：口腔ケアに関して，口腔ケアに関しての研修，東京都西多摩郡，2016年2月16日。
59. 菊谷 武：「認知症に対する歯科治療とは」，厚生労働省認可（公益）日本歯科先端技術研究所主催「高齢者の口腔機能管理セミナー：MCI サポート歯科医認定講習会」第2回，東京都新宿区，2016年1月31日。
60. 菊谷 武：特別講演「地域で“食べる”を支えるということ」，第33回静岡栄養代謝の集い，静岡県静岡市，2016年3月12日。
61. 菊谷 武：地域での口腔リハ・栄養活動について，福岡県歯科医師会 口腔機能回復支援講習会，福岡県福岡市，2016年3月13日。

## ● NDU 生命科学 Department of NDU life sciences

### 1. 所属構成員等

准 教 授 大山 晃弘

助 教 豊村 順子

客員教授等 石川 博, 栗原 邦弘, 渡邊 美隆

Kallapat Tansriratanawong (4月～3月)

非常勤講師 深澤見奈子

大学院生 高橋 悠 (新潟生命歯学部顎口腔全身関連治療学講座から再派遣)

### 2. 研究テーマ

- 1) 日歯・歯周組織—複合体の再生メカニズムの解明 Cell and molecular biology of tooth/periodontal development and regeneration.
- 2) ヒト脂肪組織幹細胞の培養上清を用いた様々な疾病の治療 Treatment of various diseases by conditioned medium of human adipose derived stem cells.
- 3) ヒト脂肪組織幹細胞を用いた骨再生 Bone regeneration from human adipose derived stem cells.
- 4) 脱分化脂肪細胞を用いたエピジェネティクス研究 Epigenetics of DFAT (de-differentiated fat) cell.
- 5) リンパ球細胞株の液性因子の腫瘍細胞への増殖抑制の検討 Growth inhibition of cancer cell by liquid factor of lymphocyte.
- 6) ヒト頬脂肪体由来幹細胞を細胞源とした唾液腺再生療法に関する検討 Regeneration medicine of salivary gland by adipose tissue stem cells from human buccal fat pad.
- 7) ヒト癌組織からの細胞株の樹立と抗癌剤感受性の研究 Establishment and characterization of cell lines derived from human cancer tissue, and research of anticancer drug sensitivity.
- 8) ポータブル型バイオ人工腎臓の開発 Development of a portable type bioartificial kidney.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本ヒト細胞学会学術集会学会賞, 石川真由美, 豊村順子, 田口雄亮, 立花利公, 中田朋子, 豊島由香, 南 史朗, 2015年8月23日, 膝島の加齢変化における成長ホルモンの役割.
- 2) 日本口腔外科学優秀ポスター賞, 大山晃弘, 高橋 悠, 石川 博, 2015年10月18日, 実現可能な再生医療のためのヒト脂肪組織幹細胞を用いた新しい骨組織再生法の開発.
- 3) 日本口腔外科学優秀ポスター賞, 高橋 悠, 大山晃弘, 川上未有希, 石川 博, 田中 彰, 2015年10月18日, ヒト頬脂肪由来幹細胞を用いた神経再生療法に関する検討.
- 4) 日本口腔外科学優秀ポスター賞, 高橋 悠, 大山晃弘, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰, 2015年10月18日, 成人抜去歯由来細胞を用いたアテロコラーゲン細胞ビーズ法による歯の再生.

#### 【外部共同研究】

- 1) 日立アロカメディカル株式会社: 還流培養法, 歯の再生に関する共同研究.

- 2) ハイデルベルグ大学（ドイツ）：ポータブル型バイオ人工腎臓の開発。
- 3) Max Planck Institute（ドイツ）：ポータブル型バイオ人工腎臓の開発。
- 4) 日本赤十字社：iPS細胞を用いた輸血用血小板作製の実用化の研究。

#### 【委員・役員など】

- 1) 石川 博：日本ヒト細胞学会理事
- 2) 石川 博：医療法人社団天翁会 監事
- 3) 石川 博：日本赤十字社管理医師
- 4) 石川 博：日本歯科大学特定認定再生医療等委員会（認定番号：NA8150007）委員
- 5) 大山晃弘：日本歯科大学特定認定再生医療等委員会（認定番号：NA8150007）委員

#### 【メディア紹介記事】

##### ● 学内・校友会メディア

- 1) 石川 博：歯髄細胞バンク設立，日本歯科大学新聞，627：1，2015.
- 2) 石川 博，大山晃弘，豊村順子：新たな歯科医療のカタチ 歯髄細胞バンク認定医講習会，日本歯科大学新聞，633：4，2016.

#### 4. 学位取得者

- 1) 高橋 悠（新潟生命歯学部顎口腔全身関連治療学講座から再派遣），「ヒト頬脂肪体由来幹細胞から分化誘導した神経細胞を用いたパーキンソン病への再生治療」，平成28年3月1日，日本歯科大学.

#### 5. 主催学会等

- 1) 日本歯科大学セントラルクリニック歯髄細胞バンク認定医講習会，東京，第1回（2015年7月8日），第2回（7月9日），第3回（7月12日），第4回（7月16日），第5回（8月2日），第6回（11月26日），第7回（12月2日），第8回（12月6日），中原 貴，石川 博.

#### 6. 国際交流状況

記載事項なし

#### 7. 外部・学内研究費

- 1) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成金，挑戦的萌芽研究（継続），平成26～27年度，歯肉上皮幹細胞より分化誘導した唾液腺細胞の3次元唾液腺構築とその移植，石川 博（代表），豊村順子，大山晃弘（分担），1,800,000円.
- 2) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成金，若手研究（B）（継続），平成26～28年度，臨床入手可能な細胞を用いた体外培養下における歯・歯周組織ユニットの再生，豊村順子（代表），1,800,000円.
- 3) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究（B）（新規），平成27～29年度，がん化リスクのない多能性幹細胞の医療応用～新規培養法によるバイオエナメル創製～，中原 貴（代表），井出吉昭，石川 博，橋本尚詞，立花利公（分担），6,500,000円.

- 4) 独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 27~29 年度, 放射線歯根形成障害メカニズム解明の基盤研究~新たな知見を創設可能な実験システム~, 井出吉昭 (代表), 中原 貴, 那須優則, 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子 (分担), 1,400,000 円.
- 5) 日本歯科大学研究プロジェクト (新規), 平成 27 年度, 歯髄細胞バンクを基盤とした再生医療実現化プロジェクト, 筒井健夫 (代表), 八重垣 健, 中原 貴, 石川 博, 今井敏夫, 又賀 泉 (分担), 5,800,000 円.

## 8. 研究業績

### A. 著 書

記載事項なし

### B. 原 著

1. \*Takahashi H, Ishikawa H, Mataga I, Tanaka A. Establishment and characterization of human lingual squamous cell carcinoma cell lines designated Nialym derived from metastatic foci of lymph node, and Nialymx derived from transplanted tumor of Nialym cells, ◎☆Hum Cell, 2015 ; 28 (3) : 143-53, doi : 10.1007/s13577-014-0107-x. (学位論文)
2. Ohyama A, Nikaido T, Tachibana T, Tominaga N, Toyomura J, Kimura E, Nakahara T, Yasuda M, Ishikawa H. Establishment and characterization of a cell line designated Nur-1 derived from human endometrioid adenocarcinoma of uterine corpus, ◎☆Hum Cell, 2015 ; 28 : 100-107, doi : 10.1007/s13577-014-0108-9.
3. Nakahara T, Tominaga N, Toyomura J, Tachibana T, Ide Y, Ishikawa H. Isolation and characterization of embryonic ameloblast lineage cells derived from tooth buds of fetal miniature swine, ◎☆In Vitro Cell Dev Biol Anim, 2015 ; 52 (4) : 445-53, doi : 10.1007/s11626-015-9987-7.
4. Bernd A, Ott M, Ishikawa H, Schrotten H, Schwerk C, Fricker G. Characterization of efflux transport proteins of the human choroid plexus papilloma cell line HIBCPP, a functional in vitro model of the blood-cerebrospinal fluid barrier, ◎☆Pharm Res, 2015 ; 32 (9) : 2973-82, doi : 10.1007/s11095-015-1679-1.
5. Reuss B, Schrotten H, Ishikawa H, Asif AR. Cross-reactivity of Antibodies Directed to the Gram-Negative Bacterium Neisseria gonorrhoeae With Heat Shock Protein 60 and ATP-Binding Protein Correlates to Reduced Mitochondrial Activity in HIBCPP Choroid Plexus Papilloma Cells, ◎☆J Mol Neurosci, 2015 ; 57 (1) : 123-38, doi : 10.1007/s12031-015-0585-7.
6. Vandenhaute E, Stump-Guthier C, Lasierra Losada M, Tenenbaum T, Rudolph H, Ishikawa H, Schwerk C, Schrotten H, Durken M, Marz M, Karremann M. The choroid plexus may be an underestimated site of tumor invasion to the brain: an in vitro study using neuroblastoma cell lines, ◎☆Cancer Cell Int, 2015 ; 15 : 102, doi : 10.1186/s12935-015-0257-2.

### C. 総説・解説

1. 石川 博, 大山晃弘, 中原 貴 : 大学と校友が一体化し発展する日本歯科大学・セントラルクリニック 歯髄細胞バンクの設立, 歯学, 103 (秋季特集号) : 23-26, 2015.

#### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

#### E. 翻訳

記載事項なし

#### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 石川真由美, 豊村順子, 田口雄亮, 中田朋子, 豊島由香, 南 史朗: 成長ホルモンによる膵β細胞の小胞体ストレスの抑制, 糖尿病, 58: S444, 2015.
2. 高橋 悠, 大山晃弘, 豊村順子, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰: ヒト歯肉類粘膜癌細胞株 NOCS-1 の樹立とその特徴, 第 33 回日本ヒト細胞学会学術集会, 70-71, 2015.
3. 望月真衣, 中原 貴, 石川 博: マウス多能性幹細胞とヒト体性幹細胞の細胞周期に基づいた増殖能の比較解析, 第 33 回日本ヒト細胞学会学術集会, 48-49, 2015.
4. 田部井功, 豊村順子, 関根速子, 風間高志, 武山 浩, 大山晃弘, 石川 博, 森川利昭: トリプルネガティブ乳癌患者の胸水より樹立された EGF 受容体系遺伝子陽性なヒト乳癌細胞株 (NIBC), 第 33 回日本ヒト細胞学会学術集会, 68-69, 2015.
5. 中原 貴, 富永徳子, 石川 博: セル・フィシング法で分離したミニブタ胎仔歯冠由来エナメル芽細胞株の微細形態解析, 日本口腔外科学会雑誌, 61: 298, 2015.
6. 高橋 悠, 大山晃弘, 川上未有希, 石川 博, 田中 彰: ヒト頬脂肪体由来幹細胞より分化誘導した神経細胞を用いたパーキンソン病治療の検討, 日本再生医療学会誌, 15: 323, 2016.

#### G. 講演

##### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 石川 博: 骨髄バンクの使命と問題点, 日赤再生医療シンポジウム, 日本赤十字横浜支社, 神奈川, 2016年1月23日.

##### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 石川 博: 再生医療における歯髄幹細胞の有用性, 日本医師会東京都支部, 帝国ホテル, 東京, 2015年4月4日.
2. Dinner S, Kaltschmidt J, Ishikawa H, Tenenbaum T, Schrotten H, Schwerk C. Mechanisms of host cell invasion by *Listeria monocytogenes* at the human blood-cerebrospinal fluid barrier, DGPI/API, ドイツ, 2015年4月23~25日.
3. 石川 博: 体性幹細胞を用いた再生医療, 日本医師会, 帝国ホテル, 東京, 2016年5月9日.
4. 高橋 悠, 大山晃弘, 豊村順子, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰: ヒトマラッセ上皮残遺細胞を細胞源としたアテロコラーゲン細胞ビーズによる歯と歯周組織ユニットの再生, 第 69 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 大阪国際会議場, 大阪, 2015年5月13日.
5. 中原 貴, 大山晃弘, 豊村順子, 石川 博: “歯髄細胞バンク” が支えるバイオ再生医療の

世界～日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクの設立～，平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会，日本歯科大学新潟生命歯学部，新潟，2015 年 6 月 6 日．

6. 石川 博：分化誘導神経細胞と再生医療，日赤再生医療懇話会，ホテル大蔵，東京，2016 年 6 月 13 日．
7. 大山晃弘：マラッセ上皮残遺細胞・歯髄細胞ビーズと歯根膜隣傍を用いた移植可能な歯・歯周組織ユニットの再生，2014 年度グラント研究・研究プロジェクト研究報告会，日本歯科大学生命歯学部，2015 年 8 月 5 日．
8. 石川 博：日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄幹細胞バンク，慈恵医大 GMP 委員会，慈恵医大第一会議室，東京，2015 年 10 月 19 日．
9. 石川 博：サンドイッチ法による 3 次元骨形成，再生医療懇話会，京王プラザ，東京，2016 年 10 月 19 日．
10. 高橋 悠，大山晃弘，豊村順子，川上未有希，石川 博，中原 貴，田中 彰：成人の抜去歯由来細胞を用いたアテロコラーゲン細胞ビーズ法によるヒトサイズの歯の再生，平成 27 年度第 2 回ウィンターミーティング，日本歯科大学生命歯学部，2015 年 12 月 5 日．
11. 石川 博：再生医療・認知症，天翁会・アイセーフティーネットシンポジウム，多摩市公会堂，東京，2016 年 3 月 25 日．

# ● 口腔リハビリテーション科 Division of Rehabilitation for Speech and Swallowing Disorders

## 1. 所属構成員等

教 授 菊谷 武, 田村 文誉  
講 師 児玉 実穂, 須田 牧夫, 高橋 賢晃  
助 教 町田 麗子, 戸原 雄, 保母妃美子  
非常勤歯科医師 佐々木力丸, 田代 晴基, 鰐原 賀子, 須釜 慎子  
元開 早絵 (10月～)  
臨 床 教 授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義  
臨 床 准 教 授 今井 庸子, グリーナンせつゑ, 五島 朋幸, 花形 哲夫, 吉田 光由  
臨 床 講 師 佐々木由佳, 下嶋 哲也, 鈴木 亮, 南雲 健吾, 西方 浩一  
兵頭 洋子, 三好 真人, 池田 登頭

## 2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Rehabilitation for Dysphagia.
- 2) 口腔ケア Oral Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental Care for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with movement disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting stress.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of the reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラムの構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし



#### 4. 学位取得者

記載事項なし

#### 5. 主催学会等

- 1) 第26回日本老年歯科医学会，神奈川県横浜市，2015年6月12～14日，日本歯科大学。
- 2) シリーズ小児の摂食指導～心・栄養・そして食べる機能～ 日本歯科大学こども摂食嚥下研修会，日本歯科大学附属病院，2015年7月15日，11月18日，2016年2月17日，日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科。
- 3) 摂食嚥下研修会第3回「症例検討会」，日本歯科大学附属病院，2016年2月18日，日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科。
- 4) 摂食嚥下研修会「施設における多職種連携」～経口維持加算、ミールラウンドについて～，日本歯科大学附属病院，2015年6月25日，日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科。
- 5) 摂食嚥下研修会「評価と対応法」～食べるを正しく評価するために～，日本歯科大学附属病院，2015年10月29日，日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科。
- 6) 日本歯科大学校友会 ポストグラデュエート・コース だれにでもわかる口腔のしくみと臨床一口腔リハビリテーションへの基礎入門一，日本歯科大学，2015年7月25～26日，日本歯科大学生命歯学部解剖学第1講座，日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科。

#### 6. 国際交流状況

- 1) アメリカ・レッドランズ大学のマイケル グロハー教授による摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ。重度誤嚥症例についてのプレゼンテーションと討論。2015年8月3日～8月7日。

#### 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本医療研究開発機構研究費，長寿科学総合研究事業（継続），平成26～28年度，地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討，菊谷 武（代表），神崎恒一，長島文夫，田中良典，道脇幸博，八重垣健（分担），8,001,000円。
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（継続），平成24～27年度，摂食嚥下機能維持を目的とした精神神経疾患に対する薬物動態/薬力学的検討，菊谷 武（代表），松本宣明，小野真一（分担），124,483円。
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（新規），平成27～29年度，経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか？，田村文誉（代表），八重垣健，菊谷 武，町田麗子，水上美樹（分担），2,100,000円。
- 4) 厚生労働省長寿科学研究開発費（継続），平成25～27年度，高齢者の口腔機能の評価法及び維持・向上法に関する研究，角 保徳（代表），渡邊 哲，海老原覚，植松 宏，菊谷武，道脇幸博，永長周一郎，三浦宏子，岩渕博史，櫻井 薫，深山治久，森戸光彦（分担），10,000,000円。
- 5) 厚生労働科学研究費補助金，循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業，長寿科

学総合研究事業（継続），平成 25～27 年度，口腔ケアと栄養管理による誤嚥性肺炎の予防に関する研究，東口高志（代表），菊谷 武，丸山道生，葛谷雅文，松崎政三，真田弘美，鎌倉やよい（分担），11,570,000 円。

- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（新規），平成 26～27 年度，口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究，高橋賢晃（代表），菊谷武，田村文誉（分担），794,136 円。
- 7) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（新規），平成 27～29 年度，地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築，須田牧夫（代表），菊谷武，田村文誉，町田麗子（分担），2,500,000 円。
- 8) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，若手研究（B）（新規），平成 27～29 年度，ユビキタス地域在宅歯科医療・介護連携システムの構築，戸原 雄（代表），3,900,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 菊谷 武（分担執筆）：Ⅲ研究のプロセスと研究成果の発表 4—広域研究—医科連携研究症例，43-46，金澤紀子，石井拓男，岩久正明，武井典子，合場千佳子（編著），日本歯科衛生学会（監修），歯科衛生研究の進め方論文の書き方（第 2 版），医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-42161-1。
2. 田村文誉（分担執筆）：1. 乳幼児の食べる力の発達支援，公益社団法人東京都歯科医師会，歯と口の健康からはじめる食育チャレンジブック，東京都福祉保健局医療対策部医療政策課，東京，2015。
3. 菊谷 武（単著）：「食べる」介護がまるごとわかる本（第 1 版）（第 3 刷），株式会社メディカ出版，大阪，2015，ISBN：978-4840441544。
4. 菊谷 武（分担執筆）：§12 口腔ケア（総論）36. 唾液の基礎知識，21-28，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，出江紳一，小島千枝子，柴田享子，戸原 玄（編集），日本摂食嚥下リハビリテーション学会 e ラーニング対応 第 4 分野 摂食嚥下リハビリテーションの介入 I 口腔ケア・間接訓練 Ver. 2，医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-44866-3。
5. 菊谷 武（単著）：絵で見てわかる 認知症「食事の困った！」に答えます，女子栄養大学出版部，東京，2015，ISBN：978-4-8404-4154-4。
6. 1) 菊谷 武（分担執筆）：Ⅱ老年歯科医学（高齢者歯科医学）の実際 4. 摂食嚥下障害④ 摂食機能の進め方 3—治療計画，337-339，森戸光彦，山根源之，櫻井 薫，羽村 章，下山和弘，柿木保明（編著），老年歯科医学，医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-45789-4。  
2) 田村文誉（分担執筆）：Ⅱ老年歯科医学（高齢者歯科医学）の実際 4. 摂食嚥下障害⑥ 疾患による特徴とリハビリテーション 5—廃用症候群，364-366，老年歯科医学，医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-45789-4。

### B. 原 著

1. \*Genkai S, Kikutani T, Suzuki R, Tamura F, Yamashita Y, Yoshida M. Loss of occlusal support affects the decline in activities of daily living in elderly people receiving home care, ©J Prosthodont

- Res, 2015 ; 59 (4) : 243-8, doi : 10.1016/j.jpor.2015.06.003. (学位論文)
2. Kuroda A, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y, Kikutani T, Furuya H, Obuchi SP, Kawai H, Ishii S, Akishita M, Tsuji T, Iijima K. Eating Alone as Social Disengagement is Strongly Associated With Depressive Symptoms in Japanese Community-Dwelling Older Adults, ©J Am Med Dir Assoc, 2015 ; 16 (7) : 578-85, doi : 10.1016/j.jamda.2015.01.078.
  3. Ohno T, Morita T, Tamura F, Hirano H, Watanebe Y, Kikutani T. The need and availability of dental services for terminally ill cancer patients:a nationwide survey in Japan, ☆Support Care Cancer, 2015 ; 24 (1) : 19-22, doi : 10.1007/s00520-015-2734-5.
  4. \*Tejima C, Kikutani T, Takahashi N, Tamura F, Yoshida M. Application of simple swallowing provocation test with fiberoptic endoscopic evaluation of swallowing in a cross-sectional study, ☆Bio Med Central, 2015 ; 15:48, doi : 10.1186/s12877-015-0049-5. (学位論文)
  5. Yoshida M, Kanehisa Y, Ozaki Y, Iwasa Y, Fukuizumi T, Kikutani T. One-leg standing time with eyes open:comparison between the mouth-opened and mouth-closed conditions, ©Cranio, 2015 ; 33 (1) : 15-8, doi : 10.1179/2151090314Y.0000000007.

### C. 総説・解説

1. 菊谷 武：世界会議 2015 記録集 1. 地域における食支援, 日本歯科医師会雑誌, 68 (5) : 137-144, 2015.
2. 菊谷 武：第1部 高齢者の栄養と疾病 第5章 高齢者の摂食嚥下障害と食事, 国民の栄養白書 2015-2016年版 高齢者の栄養管理と食事が支える生きる力, 78-81, 2015.
3. 菊谷 武：特集 高齢者医療での歯科に関する Minimum Skills 総説 2. 高齢者診療時の咀嚼・嚥下機能の配慮点, Geriatric Medicine<老年医学>, 53 (11) : 1143-1148, 2015.
4. 菊谷 武：超高齢社会における歯科医療・口腔保健の展開と健康政策 地域における食支援, 日本歯科医師会雑誌, 68 (5) : 505-512, 2015.
5. Tamura F, Kikutani T : Oral Rehabilitation and Regional Partnerships, 6<sup>th</sup> Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 118-120, 2015.
6. 【一般社団法人 日本老年歯科医学会 作成組織 ガイドライン委員会】枝広あや子, 渡邊裕, 平野浩彦, 古屋純一, 中島純子, 田村文誉, 北川 昇, 堀 一浩, 原 哲也, 吉川峰加, 西 恭宏, 永尾 寛, 服部佳功, 市川哲雄, 櫻井 薫：認知症患者の歯科的対応および歯科治療のあり方—学会の立場表明 2015—, 老年歯科医学, 30 (1) : 3-11, 2015.
7. 菊谷 武：栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み, 日本補綴歯科学会誌, 7 (2) : 102-105, 2015.
8. 菊谷 武, 吉田光由, 菅 武雄, 木村年秀, 田村文誉, 窪木拓男：歯の喪失ならびに口腔機能低下が栄養状態に及ぼす影響—アセスメント法の開発—, 日本歯科医学会会誌, 34 : 59-63, 2015.
9. 村田比呂司, 志賀 博, 大久保力廣, 渋谷友美, 近藤尚知, 櫻井 薫, 田中順子, 松香芳三, 水口俊介, 鱒見進一, 大川周治, 西 恭宏, 越野 寿, 佐々木啓一, 赤川安正, 川良美佐雄, 菊谷 武, 吉田光由, 古谷野潔：高齢者の栄養障害に義歯装着がもたらす効果と高齢義歯装着者への摂食・栄養指導のガイドラインに関するプロジェクト研究, 日本歯科医学会会誌, 34 : 54-58, 2015.

#### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 菊谷 武：シリーズ胃ろうを考える② のみ込む力を取り戻す リハビリと手術，週刊朝日，120（18）：144-147，2015.
2. 菊谷 武：時の言霊，りそな一れ，13（6）：24-25，2015.
3. 菊谷 武：食生活の知識④ 心も満たすスマイルケア食，くらしの豆知識 2016，158-159，2016.
4. 菊谷 武：認知症 食事の悩み こう対処，日本農業新聞，12面，2015年10月8日.
5. 菊谷 武（監修）：口腔ケア，オレンジページ 特別編集，シニアの手間をかけない健康ごはん，80-83，2015.
6. 田村文誉，水上美樹，町田麗子，児玉実穂，保母妃美子，磯田友子，元開早絵，高橋賢晃，菊谷 武：摂食嚥下障害児の母親の育児負担感と摂食指導，日摂食嚥下リハ会誌，19（2）：158-164，2015.
7. 町田麗子，田村文誉，児玉実穂，高橋賢晃，保母妃美子，磯田友子，元開早絵，水上美樹，菊谷 武：在宅訪問における重症心身障害児の摂食機能療法の必要性，障歯誌，37（1）：61-65，2016.
8. 辰野 隆，鈴木健太郎，蒲池史郎，町田麗子，田村文誉：地域歯科医師会による摂食支援事業に対する障害者施設職員の意識調査，障歯誌，37（1）：54，2016.
9. 佐々木力丸，高橋賢晃，田村文誉，元開早絵，鈴木 亮，菊谷 武：介護老人福祉施設に入居する要介護高齢者に対する栄養支援の効果について，老年歯科医学，29（4）：362-367，2015.
10. 須田牧夫：チェアサイドでできる摂食機能訓練，DENTALDIAMOND，40（8）：118-119，2015.
11. 須田牧夫：在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A（1），The Quintessence，34（8）：1641-1643，2015.
12. 須田牧夫：在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A（2），The Quintessence，34（9）：1879-1881，2015.
13. 須田牧夫：在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A（3），The Quintessence，34（10）：2117-2119，2015.
14. 須田牧夫：在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A（4），The Quintessence，34（11）：89-91，2015.
15. 須田牧夫：在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A（5），The Quintessence，34（12）：87-89，2015.
16. 菊谷 武，鰐原賀子：誤嚥性肺炎の予防，メディカル朝日，44（9）（通巻第526号）：19-20，2015.
17. 菊谷 武，鰐原賀子：ADLとQOLを向上させる口腔ケア，ふれあいケア，21（9）：12-16，2015.
18. 菊谷 武：歯科の立場から—在宅における経口アプローチ—，ヘルスケア・レストラン 別刷，1：163-170，2015.
19. 菊谷 武：オーラルマネジメント最前線 高齢者の口腔ケア—認知症を含む，DM Ensemble，14-16，2015.
20. 菊谷 武：特集：知りたい！聞きたい！認知症 Q&A Q29. 認知症と摂食嚥下障害とは？，

Monthly Book Medical Rehabilitation, 183 : 144-147, 2015.

21. 町田麗子, 田村文誉: “機能の発達をおさえて” 保護者に伝えたい 乳歯列完成期までのお口の悩みも, DHにおまかせ!, 歯科衛生士, 39 : 30-43, 2015.
22. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科3 胃がん手術後に胃瘻を造設したが在宅リハで抜去できた, 医療と介護 Next, 1 (3) : 58-59, 2015.
23. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科4 食事観察環境把握は高齢者の摂食・嚥下支援に不可欠だ, 医療と介護 Next, 1 (4) : 66-68, 2015.
24. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科5 食べる能力に応じた食形態の統一基準を使いこなそう, 医療と介護 Next, 1 (5) : 52-53, 2015.
25. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科6 「とろみ」の意義と濃さの特徴を理解して正しく使おう, 医療と介護 Next, 1 (6) : 50-51, 2015.
26. 菊谷 武: 「食べる」を支える訪問歯科7 “いろいろレストラン”で患者さんと家族に楽しい食事のひとつときを, 医療と介護 Next, 2 (1) : 56-57, 2016.
27. 楊 秀慶, 田村文誉: 特集 外来で診る小児の摂食嚥下リハビリテーション 小児の摂食嚥下障害における歯科的問題, 臨床リハ, 24 (7) : 652-658, 2015.
28. 菊谷 武: 特集 食べることは生きること~2025年問題を食から支える~ 地域で“食べる”を支えるということ, 日本栄養士会雑誌, 58 (7) : 9-12, 2015.
29. 菊谷 武: レポート第29回日本老年学会総会 合同シンポジウム4「超高齢社会におけるフレイルを考える」, MEICAMENT NEWS, 2201 : 20-21, 2015.
30. 田村文誉, 古屋裕康, 菊谷 武: 酵素入りゲル化剤を用いた「調整つぶ粥」の有用性, Human Nutrition, 37 : 54-57, 2015.
31. 菊谷 武: ~在宅での“食べる”を支える~在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア ①在宅で「食べる」を支えるということ, 歯会展望, 126 (3) : 442-448, 2015.
32. 鰐原賀子, 菊谷 武: 特集 高齢者の呼吸器感染症マネジメント 誤嚥性肺炎の予防, Medical ASAHI, 44 (9) : 19-20, 2015.
33. 菊谷 武: 病態栄養 TOPICS⑨ スマイルケア食の使い方—地域で“食べる”を支えるために—, BEQ NEWS, 1-2, 2015.
34. 菊谷 武: 特集: 新しい介護食品 (スマイルケア食) の普及推進に向けて 嚥下調整食導入の必要性とスマイルケア食への期待, 明日の食品産業, 24-28, 2015.
35. 菊谷 武 (監修): 食べることは生きること 在宅介護に向けて, 摂食嚥下障害のある場合の介護職と介助の実際, 健康増進のしおり, 2015.
36. 田村文誉: 連載 これからの歯科医療提供体制のあり方を考える 第4回 小児に必要な在宅歯科医療, 新聞 QUINT 2015.5, 5, 2015.
37. 田村文誉: Q&A 離乳食の進め方, Dental DIAMONDO 2015.11, 122-123, 2015.
38. 菊谷 武: 9章 高齢者歯科 03. 窒息事故と咀嚼機能, 日常臨床のレベルアップ&ヒント 72, 170-171, 2015.
39. 田村文誉, 小坂美樹, 横山雄士: 特集 子どもの在宅診療 7. 子どもの在宅診療における訪問歯科, チャイルドヘルス, 18 (12) : 36-39, 2015.
40. 田村文誉: 歯科診療における創意工夫 小児の食の問題と摂食嚥下障害, 歯学, 103 : 42-45, 2015.

41. 菊谷 武, 有友たかね:「食べる」を支えるための口腔ケア～菌回収を意識した口腔ケアの実際・コツ～, ～在宅での“食べる”を支える～在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア, 歯界展望, 126 (3): 449-457, 2015.
42. 児玉実穂: SUNDAY NIKKEI 健康「歯の治療は出産前に」, 日本経済新聞, 14面, 2015年4月19日.
43. 児玉実穂: 「マタニティ歯科相談室」ORALcom, ライオン株式会社ホームページ [http://www.oralcom.net/maternity/m\\_qa/k\\_other/page:1](http://www.oralcom.net/maternity/m_qa/k_other/page:1).
44. 菊谷 武: 「胃慶レストラン」, NHK ニュース関東甲信越, 2015年8月8日.
45. 菊谷 武: 顔の〇〇が弱ると全身が衰える! 身体を老けさせない秘密 SP, TV朝日 たけしの健康エンターテインメント みんなの家庭の医学, 2016年2月2日.
46. 菊谷 武: 「どう活用する 新しい介護食」, NHK Eテレ, 2016年2月6日.
47. 菊谷 武: 医療プロジェクト, 思わずやりたくなる健康チェック, フジテレビ とくだね, 2016年3月1日.

## E. 翻訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 橋本久美, 松木るりこ, 高島良代, 西脇恵子, 須釜慎子, 水上美樹, 菊谷 武: 特別支援学校との連携—2年目の活動, 第41回日本コミュニケーション学会学術講演会予稿集, 41: 93, 2015.
2. 古屋裕康, 佐川敬一郎, 元開早絵, 菊谷 武, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦: 地域高齢者の追跡調査からみたサルコペニアと口腔機能との関連, 老年歯学, 30 (2): 105, 2015.
3. 古屋裕康, 佐川敬一郎, 元開早絵, 菊谷 武, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦: 健康高齢者の舌の厚みに関連する因子の検討, 老年歯学, 30 (2): 109, 2015.
4. 高橋賢晃, 菊谷武, 佐々木力丸, 新藤広基, 矢島悠里, 安藤亜奈美, 蛭谷剛文, 山口幸一, 田村文誉: “要介護高齢者の肺炎発症に及ぼす影響—摂食支援カンファレンス実施施設におけるコホート研究による検討—”, 老年歯学, 30 (2): 136-137, 2015.
5. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 宮原隆雄, 須田牧夫, 岡澤仁志, 田村文誉, 菊谷 武: 適切な食支援により長期の経口摂取が可能となった介護老人福祉施設入所者症例の検討, 老年歯学, 30 (2): 170-171, 2015.
6. 田中祐子, 有友たかね, 矢島悠里, 戸原雄, 田村文誉, 菊谷 武: 病院との連携によって行う摂食嚥下障害者に対する支援, 老年歯学, 30 (2): 175-176, 2015.
7. 清水けふ子, 古賀登志子, 山口幸一, 蛭谷剛文, 佐々木力丸, 高橋賢晃: グループホームに勤務する介護職の口腔のケアに対する意識調査, 老年歯学, 30 (2): 195, 2015.
8. 田中康貴, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武: 舌接触補助床の装着により口腔移送時間の短縮を認めた一例, 老年歯学, 30 (2): 202-203, 2015.
9. 関野 愉, 久野彰子, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博: 介護老人福祉施設入居者における現在歯数と全身状態との関連について, 老年歯科医学, 30 (2): 240-241, 2015.
10. 岡澤仁志, 戸原 雄, 高橋賢晃, 児玉実穂, 田村文誉, 菊谷 武: 在宅療養高齢者の介護負担に関する因子の検討, 老年歯学, 30 (2): 245-246, 2015.

11. 元開早絵：頸椎前面に生じた異常骨棘を有する嚥下機能紹介患者に対して栄養指導及び間接訓練が有効であった 1 症例，第 26 回日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集，240，2015.
12. 礪田友子：口腔癌術後の摂食嚥下障害と構音障害に対して補綴処置が有効であった 1 症例，第 26 回日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集，244，2015.
13. 矢島悠里，田村文誉，濱田美影，野沢与志津，河合美佐子，菊谷 武：地域健康高齢者における摂取食品の変化と関連因子の検討，日本老年医学会雑誌，52：80-81，2015.
14. 高島良代，西脇恵子，町田麗子，松木るりこ，橋本久美：舌接触補助床（PAP）の継続使用に家族の協力が有効であった 1 症例，第 16 回日本言語聴覚学会プログラム・抄録集，12（3）：188-189，2015.
15. 新藤広基，古屋裕康，田村文誉，小原由紀，平野浩彦，菊谷 武：地域在住高齢者に見られるサルコペニアと口腔機能の関連，第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，90，2015.
16. 西澤加代子，水上美樹，田村文誉，菊谷 武：低出生体重児の体格が摂食機能獲得の予後に及ぼす影響，第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，145，2015.
17. 田村文誉，安藤亜奈美，菊谷 武：十二指腸の通過障害が原因で反芻が誘発されていた知的障害児への摂食指導，第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，179，2015.
18. Mizukami M, Tamura F, Isoda T, Genkai S, Kikutani T. Eating instructions for infants with severe infantile type nemaline myopathy, 44<sup>th</sup> Annual convention International Association of Orofacial Myology, 2015.
19. Genkai S, Tamura F, Mizukami M, Kikutani T. Effects of eating training on tongue pressure in children with dysphagia, 44<sup>th</sup> Annual convention International Association of Orofacial Myology, 2015.
20. 佐川敬一郎，鈴木 亮，菊谷 武：急性期病院における摂食嚥下機能評価システムの構築および介入効果の検討，障歯誌，36（3）：327，2015.
21. 礪田友子，田村文誉，高橋賢晃，町田麗子，保母妃美子，元開早絵，安藤亜奈美，水上美樹，西村美樹，西澤加代子，菊谷 武：小児摂食指導外来の実態調査—経管の離脱—，障歯誌，36（3）：352，2015.
22. 児玉実穂，梅津糸由子，星山紘子，新見嘉邦，岡山浩美，落合真美，奈良輪智恵：入居施設での介入により咀嚼運動を獲得した成人期の 1 症例，障歯誌，36（3）：451，2015.
23. 町田麗子，田村文誉，児玉実穂，高橋賢晃，保母妃美子，礪田友子，元開早絵，水上美樹，菊谷 武：小児在宅歯科医療における重症心身障害児の摂食指導の効果，障歯誌，36（3）：528，2015.
24. 高橋賢晃，菊谷 武，佐々木力丸，田村文誉：要介護高齢者における食物の臼歯部移送能に及ぼす因子の検討，第 29 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集，49，2015.
25. 呉屋朝幸，田中良典，井上俊之，藤澤節子，菊谷 武，佐野広美，長島文夫：大都市近郊での地域連携；東京多摩地域の在宅医療・緩和ケアカンファレンス活動報告，日本医療マネジメント学会雑誌，183，2015.

26. 内山恵理, 久野彰子, 鈴木麻美, 横山知美, 児玉実穂, 橋本恵理子, 中井章人: 入院中の妊婦における歯周組織の状態 (第2報), 日歯周誌, 57 卷 (春季特別号): 132, 2015.
27. 佐川敬一郎, 菊谷 武: 嚥下調整食コードを用いた地域連携の取り組み, 日本医療マネジメント学会第 16 回東京支部学術集会, 55, 2016.
28. 古屋裕康, 菊谷 武: 在宅胃瘻患者の経口摂取再開への取り組み, 第 4 回日本臨床倫理学会抄録集, 100, 2016.

## G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
  1. 菊谷 武: 要介護高齢者の食を守るために考える: 補綴治療を始める前に考えること, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 124 回学術大会, 臨床リレーセッション 2 (専門医研修単位認定セミナー), 埼玉県大宮市, 2015 年 5 月 30 日.
  2. 田村文誉: 子どもの食の問題に対する歯科的アプローチ (臨床の立場から), 日本歯科医学会公開フォーラム, 東京都千代田区, 2015 年 5 月 31 日.
  3. 菊谷 武: 「超高齢者社会におけるフレイルを考える」, 第 29 回日本老年学会総会, 合同シンポジウム, 神奈川県横浜市, 2015 年 6 月 13 日.
  4. Michael Groher. Issues and Challenges in Managing Patients with Dementia and Dysphagia, エイジングと食への対応, 高齢者歯科からの未来戦略, 第 26 回日本老年歯科医学会学術大会, 国際シンポジウム, パシフィコ横浜, 2015 年 6 月 14 日.
  5. 田村文誉: Dysphagia Rehabilitation for Elderly People in Dentistry, エイジングと食への対応, 高齢者歯科からの未来戦略, 第 26 回日本老年歯科医学会学術大会, 国際シンポジウム, パシフィコ横浜, 2015 年 6 月 14 日.
  6. 田村文誉: 外部観察評価、食内容指導・栄養指導, 日本障害者歯科学会 2015 年度第 1 回摂食嚥下研修会, 研修会, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック, 2015 年 7 月 19 日.
  7. 菊谷 武: 地域で“食べる”を支えるということ—スマイルケア食をツールとして—, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, ランチョンセミナー5, 京都府京都市, 2015 年 9 月 12 日.
  8. 田村文誉: 重症心身障害児の摂食嚥下の関すること, 第 41 回重症心身障害学会学術集会, ランチョンセミナー1, 東京都千代田区, 2015 年 9 月 18 日.
  9. 菊谷 武: 「超高齢者社会においてインプラントは是か非か?」, 第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, シンポジウム 13, 岡山県岡山市, 2015 年 9 月 23 日.
  10. 田村文誉: 子どもの摂食・嚥下の具体的なアセスメントの実際, 日本健康・栄養システム学会 栄養ケア・マネジメント研修会, 昭和女子大学, 2015 年 9 月 23 日.
  11. Tamura F, Mizukami M, Kikutani T. Dentistry in Japan~Dental treatment for dysphagia, 44<sup>th</sup> International Association for Orofacial Myology, 特別講演, Orlando, FL, 2015 年 10 月 2 日.
  12. Tamura F. Oral rehabilitation and regional partnerships, 6<sup>th</sup> Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry and Commemoration of the 50<sup>th</sup> Anniversary of Hiroshima University Faculty of Dentistry, Oral Health Promotion and Functional Rehabilitation in Super-aged Society, 広島大学, 2015 年 10 月 25 日.
  13. 田村文誉: 第 32 回日本障害者歯科学会総会及び学術大会, 歯科衛生士バズセッションお



よび歯科衛生士ミート・ザ・メンター，愛知県名古屋市，2015年11月8日。

14. 高橋賢晃：在宅・施設における摂食嚥下リハビリテーション，口腔リハビリテーション学会，シンポジウム，徳島大学，2015年11月15日。
15. 菊谷 武：地域で“食べる”をささえるということ，第18回岐阜県嚥下障害研究会学術講演会，特別講演，岐阜県多治見市，2015年11月22日。
16. 菊谷 武：要介護者の食べることを支えるために歯科は何ができるのか，日本口腔インプラント学会 第35回近畿北陸支部学術大会，2015年12月13日。
17. 田村文誉：摂食嚥下への対応，日本老年歯科医学会，摂食機能療法専門歯科医師指導研修講演，神奈川県横浜市，2016年2月11日
18. 菊谷 武：超高齢化社会におけるインプラントは是か非か？高齢者の口腔機能はどう変化するのか？，日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会，シンポジウム1，東京都新宿区，2016年2月13日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 町田麗子：特別支援学校における給食の役割，平成27年度東京都立城北特別支援学校職員研修，東京都立城北特別支援学校，足立区，2015年4月6日。
2. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，第36回健康づくり提唱のつどい，東京都港区，2015年4月7日。
3. 菊谷 武：食べることは生きること，第5回健康長寿のための市民公開講座，埼玉県所沢市，2015年4月11日。
4. 菊谷 武：国立市歯科医師会学術講演会，東京都国立市，2015年4月15日。
5. 菊谷 武：「忘れてはならない口腔ケア」，第5回日本微生物学連盟フォーラム，東京都新宿区，2015年4月24日。
6. 菊谷 武：今始める歯科のための認知症講座—患者さんと家族のためにできること—，東京医科歯科大学歯科同窓会 第52期 Part II No.52 緊急特別講習会，東京都文京区，2015年4月26日。
7. 戸原 雄：明日から役立つ！摂食嚥下障害の評価と訓練の実際，学際セミナー，福岡県博多区（2015年5月17日），大阪市中央区（5月24日），東京都港区（5月31日），東京都港区（8月9日）。
8. 菊谷 武：国立市歯科医師会学術講演会，東京都国立市，2015年5月20日。
9. 菊谷 武：医療法人社団高輪会，日本歯科大学菊谷教授定例セミナー，東京都港区，2015年5月22日，6月29日，8月25日，9月25日，10月20日，12月4日，2016年2月9日，3月18日。
10. 菊谷 武：「在宅で食べるを支えるということ」，日本摂食・嚥下障害看護第9回大会 in 東京，東京都千代田区，2015年5月24日。
11. 町田麗子：食べる機能の発達について，平成27年度千葉県立富里特別支援学校保護者講演会，千葉県立富里特別支援学校，千葉県，2015年5月28日。
12. 菊谷 武：ケースプレゼンテーションの進め方，評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都立心身障害者口腔保健センター，東京都新宿区，2015年6月3日。
13. 田村文誉：食べる力を育てるために，特定非営利活動法人ひろがり，名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校，2015年6月7日。

14. 菊谷 武：消化の話—口腔・咽頭・上部消化器官系における基礎と臨床の接点③【地域で“食べる”を支えるということ】，平成 27 年度解剖学会関東支部懇話会，東京都千代田区，2015 年 6 月 13 日．
15. 須田牧夫：口腔リハビリテーション—摂食機能障害への対応—，“日本訪問歯科協会 認定医講座”，東京都千代田区，御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター，2015 年 6 月 21 日．
16. 菊谷 武：高齢者の口腔機能管理と栄養指導（栄養マネジメント），第 7 回高齢者等歯科医学研修会，富山県富山市，2015 年 6 月 21 日．
17. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），平成 27 年度東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，2015 年 6 月 23 日，7 月 6 日，10 月 20 日．
18. 町田麗子：特別支援学校における摂食指導とは，平成 27 年度目黒区立油面小学校わかたけ学級職員研修，目黒区立油面小学校わかたけ学級，目黒区，2015 年 6 月 24 日．
19. 田村文誉：摂食嚥下機能の発達と障害，あけぼの研修会，山梨県立あけぼの医療福祉センター，2015 年 7 月 5 日．
20. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），平成 27 年度東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，2015 年 7 月 6 日．
21. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修，東京都立川市，トヨタドライビングスクール東京（2015 年 7 月 2 日），当許都立川市，トヨタドライビングスクール東京（7 月 9 日），東京都新宿区，公益財団法人東京都福祉保健財団（7 月 13 日），東京都文京区，東京都社会福祉保健医療センター（10 月 22 日），東京都立川市，トヨタドライビングスクール東京（11 月 4 日），東京都新宿区，公益財団法人東京都福祉保健財団（11 月 13 日）．
22. 菊谷 武：『地域で食べるを支えるということ』，日本歯科医師会 平成 27 年度生涯研修セミナー，茨城県水戸市，2015 年 7 月 12 日．
23. 田村文誉：障害のある方の摂食指導と医療ケアについて，東京都重症心身障害児（者）在宅医療ケア体制整備モデル事業第 6 回研修会，立川市医師会館，2015 年 7 月 14 日．
24. 菊谷 武：『認知症の食べることの問題』，第 13 回日立三師会合同研究会，茨城県日立市，2015 年 7 月 17 日．
25. 菊谷 武：食べることに問題がある方をどうサポートするか，多職種連携研修会，相馬歯科医師会地域連携研修会，福島県相馬市，2015 年 7 月 18 日．
26. 田村文誉：食べる機能の発達と障害について，栃木県栄養士会医療協議会総会・研修会，栃木県教育会館，2015 年 7 月 20 日．
27. 田村文誉：摂食指導の基礎・基本，全校研修会，東京都立府中けやきの森学園，2015 年 7 月 24 日．
28. 田中祐子，須田牧夫：口腔咽頭吸引の基礎知識，日本歯科大学東京短期大学歯科衛生士学科 第 12 回同窓会みなづき会研修会，千代田区、日本歯科大学東京短期大学，2015 年 7 月 26 日．
29. 田村文誉：小児における口腔の形態と発達，日本歯科大学ポストグラデュエートコース「だれにでもかわる口腔のしくみと臨床—口腔リハビリテーションの基礎入門—」，日本歯科大学，2015 年 7 月 26 日．
30. 菊谷 武：「食べることに問題のある方をどうサポートするか」，日本歯科医師会平成 27 年

度生涯研修セミナー，日本歯科医師会平成 27 年度生涯研修セミナー，兵庫県神戸市，2015 年 7 月 26 日。

31. 田村文誉：コース 2 医学に関する講座 1 ～重度障害児の口腔ケア（オーラルケア）について～，第 9 回看護師（特別支援学校）スキルアップ講習会，国立オリンピック記念青少年総合センター，2015 年 7 月 28 日。
32. 田村文誉：ダウン症の子どもへの摂食指導，ダウン症への理解と障害発達をふまえた支援—出生前診断も含めて，東京ファッションタウンビル，2015 年 7 月 30 日。
33. 町田麗子：「食べる」を育てる，平成 27 年度千葉県立富里特別支援学校職員研修，千葉県立富里特別支援学校，千葉県，2015 年 7 月 30 日。
34. 元開早絵：平成 27 年度摂食指導研修会，都立多摩桜の丘学園教職員研修会，東京都多摩市，2015 年 7 月 31 日。
35. 須釜槇子：小金井特別支援学校教職員向け摂食指導について，東京都立小金井特別支援学校夏季研修会，東京都国分寺市，2015 年 7 月 31 日。
36. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，日本歯科医師会第 66 回中国地域医学大会平成 27 年度生涯研修セミナー，岡山県岡山市，2015 年 8 月 2 日。
37. 町田麗子：摂食機能と食物形態について，平成 25 年度都立学校給食調理業務委託形態別調理講習会，東京都学校給食会館，2015 年 8 月 3 日。
38. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と管理～マイナス 1 歳からの口腔管理～，平成 27 年度歯科保健関係指導者講習会，山梨県甲府市，2015 年 8 月 6 日。
39. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ（第 1 回），船橋市 歯と口の健康に関する市民講演会，千葉県船橋市，2015 年 8 月 21 日。
40. 須田牧夫：「口から食べる楽しみの支援には何が必要か？～経口維持管理加算への対応～」，リフレケア H 第 3 回口腔ケアセミナー in 千葉，千葉市，京葉銀行文化プラザ 樺 II・III，2015 年 8 月 23 日。
41. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療～マイナス 1 歳からの口腔管理～，平成 27 年度妊産婦歯科健診支援事業 歯科医療従事者養成研修会，山梨県甲府市，2015 年 8 月 23 日。
42. 菊谷 武：専門医からの講評，東京都立川多摩保健所 平成 27 年度摂食嚥下機能支援事例検討会，東京都立川市，2015 年 9 月 3 日。
43. 須田牧夫：認知症患者の摂食嚥下障害とリハビリテーション，日本歯科大学緊急フォーラム「歯科と認知症 ～歯科医師の認知症対応能力向上に向けて～」，千代田区，日本歯科大学生命歯学部，2015 年 9 月 6 日。
44. 菊谷 武：口腔科学と摂食嚥下リハビリテーション，第 58 回 NPO 法人口腔科学学会中部地方部会，岐阜県，2015 年 9 月 6 日。
45. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるか，2015 年度（公社）日本口腔インプラント学会認定講習会，東京都，2015 年 9 月 6 日。
46. 菊谷 武：「食の支援・摂食嚥下リハビリにおける栄養士の参加の意義」，公益社団法人船橋歯科医師会さざんか歯科学術講演会，千葉県船橋市，2015 年 9 月 7 日。
47. 須田牧夫：「摂食嚥下機能支援の基礎知識」「摂食嚥下機能向上に関わる多職種連携」，平成 27 年度摂食嚥下機能支援基盤整備研修会，福生市，公立福生病院，2015 年 9 月 8 日。
48. 高橋賢晃：訪問診療における摂食嚥下指導，訪問協力医研修会，杉並歯科医師会館，2015

年9月9日。

49. 菊谷 武：「口腔リハビリテーションについて」，コオ宇部市立医療センター西市民病院 NST オープンカンファレンス，兵庫県神戸市，2015年9月17日。
50. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ—介護食“スマイルケア食”の活用を通じて—」，日本栄養士会生涯教育講座 多摩地区栄養士講座，東京都立川市，2015年9月18日。
51. 須田牧夫：「摂食嚥下機能支援の評価・評価に基づく支援・再評価」「支援に関わる多職種連携の連携，事例紹介」，平成27年度摂食嚥下機能支援基盤整備研修会，あきる野市，あきる野ルピア産業情報研修室，2015年9月30日。
52. 菊谷 武：症例定時とディスカッション『認知症高齢者の各疾患への最適な対処法とは？』口腔ケアと嚥下困難，認知症サミット in 船橋，千葉県船橋市，2015年10月8日。
53. 田村文誉：在宅療養指導（口腔機能管理）・摂食嚥下リハビリテーション「食事外部観察評価」，日本歯科衛生士会平成27年度認定歯科衛生士セミナー，日本歯科大学，2015年10月11日。
54. 菊谷 武：病態別摂食嚥下障害（中途障害の摂食嚥下障害），平成27年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，2015年10月11日。
55. 須田牧夫：在宅療養指導における口腔機能管理の症例検討，平成27年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，日本歯科大学生命歯学部，2015年10月12日。
56. 田村文誉：障害児者の摂食嚥下リハビリテーション（摂食指導），平成27年度全国重症心身障害児者施設職員研修会，大阪府大阪市，山西福祉記念会館，2015年10月14日。
57. 須田牧夫：高齢者に必要な歯科治療～齶蝕予防から摂食嚥下まで～，日本歯科大学校友会豊島支部研修会，東京都豊島区，豊島区歯科医師会館，2015年10月16日。
58. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」，中野区 介護サービス事業所研修，東京都中野区，2015年10月16日。
59. 児玉実穂：摂食嚥下機能の獲得，神明障害福祉施設職員研修会，東京都足立区，2015年10月16日。
60. 須田牧夫：「口腔機能向上に必要な診査・診断・訓練手技とは」，横浜南仲通歯科医院研修会，横浜市，横浜市技能文化会館，2015年10月17日。
61. 菊谷 武：摂食・嚥下障害を有する高齢者の疾患のとらえ方と歯科治療について，平成27年度神奈川県摂食嚥下障害歯科医療担当者研修会，神奈川県横浜市，2015年10月18日。
62. 高橋賢晃：地域における多職種連携～経口維持加算ではなにをするのか？～，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山大学歯学部，2015年10月18日。
63. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山大学歯学部，2015年10月18日。
64. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），東京都介護支援専門員養成研修，東京都立川市，2015年10月20日。
65. 菊谷 武：「高齢者の栄養管理について」，3年生対象特別講義，東京家政学院大学，東京都千代田区，2015年10月22日。
66. 菊谷 武：「摂食嚥下における多職種連携」，第9回いばらき歯科医療フォーラム，茨城県土浦市，2015年10月25日。
67. 須田牧夫：発達障害者、中途障害者に対する摂食指導・口腔管理について，平成27年度

- 埼玉県歯科医師会口腔保健センター障害者歯科臨床研修会，さいたま市，彩の国すこやかプラザ，2015年10月29日。
68. 児玉実穂：妊娠中に知っておきたいママと赤ちゃんの歯の話～マイナス1歳からの口腔管理～，歯科講演会，東京都昭島市，2015年10月30日。
  69. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害の評価」，東京都立心身障害者口腔保健センター 評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都新宿区，2015年11月1日。
  70. 田村文誉：子どもの食の問題を考える，岐阜県歯科医師会口腔保健指導者研修会，じゅうろくプラザ，2015年11月5日。
  71. 菊谷 武：「摂食嚥下入門編」，2015年11月度「歯科臨床研究会」，神奈川県横浜市，2015年11月5日。
  72. 菊谷 武：特別講演「地域で“食べる”を支えるということ」，三重県NST研究会学術集会，三重県津市，2015年11月7日。
  73. 菊谷 武：これからの小金井市の地域医療について 歯科医師の取り組み，平成27年度『介護の日』シンポジウム，東京都小金井市，2015年11月9日。
  74. 菊谷 武：「骨折リスク」，埼玉県北地区学術講習会，埼玉県越谷市，2015年11月11日。
  75. 須田牧夫：退院後の在宅療養患者への対応（軽症症例），第15回訪問歯科医学会，千代田区，御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター，2015年11月15日。
  76. 田村文誉：子どもの食べる機能の発達を支援するために，印旛郡市歯科医師会平成27年度市民健康講演会，成田市文化芸術センター，2015年11月15日。
  77. 菊谷 武：日本歯科医師会平成27年度生涯研修セミナー，北海道札幌市，2015年11月15日。
  78. 菊谷 武：歯と口の健康相談，府中市 摂食・嚥下専門相談，東京都府中市，2015年11月19日。
  79. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということ～スマイルケア食をツールとして～，平成27年度摂食嚥下機能支援基盤整備・摂食嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2015年11月20日。
  80. 菊谷 武：「事例から学ぶ！食べる機能支援」～嚥下障害を見逃さない目を育てよう～，府中市摂食・嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2015年11月20日。
  81. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療～マイナス1歳からの口腔管理～，静岡県沼津市，2015年11月20日。
  82. 菊谷 武：在宅での対応 多職種連携，第11回長野県摂食・嚥下リハビリテーション研究会，長野県塩尻市，2015年11月21日。
  83. 田村文誉：食べる機能を育てるために，社会福祉法人まつみ福祉会研修会，豊見城団地集会所，2015年11月22日。
  84. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ，第18回岐阜県嚥下障害研究会学術講演会，岐阜県多治見市，2015年11月22日。
  85. 須田牧夫：嚥下調整食分類について地域での活用方法，平成27年度西多摩保健医療圏摂食嚥下機能支援協議会，青梅市，東京都西多摩保健所，2015年11月26日。
  86. 田村文誉：知っておきたい 障害者（児）の摂食嚥下の介助，平成27年度障害者歯科相談事業研修会，武蔵野市役所，2015年11月26日。
  87. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ（第2回）—事例を通して—，船橋市

- 歯と口の健康に関する市民講演会，千葉県船橋市，2015年11月27日。
88. 菊谷 武：摂食嚥下機能の低下した高齢者に対して，どのように対処したらよいか？～地域支援体制の構築も含めて～，第9回鹿沼市市民公開講座，栃木県鹿沼市，2015年11月29日。
  89. 菊谷 武：「どう活用する“スマイルケア食”」，新しい介護食品に関するシンポジウム，東京都千代田区，2015年12月1日。
  90. 田村文誉：摂食・嚥下障害児への支援，地域母子保健5「地域栄養活動～妊産婦から子どもへ～」，社会福祉法人恩賜財団母子愛育会，2015年12月4日。
  91. 町田麗子：食べる機能の障害について，神明障害福祉施設職員研修会，東京都足立区神明障害福祉施設，2015年12月4日。
  92. 菊谷 武：「在宅生活を快適に送ることができる口腔ケア～ヘルパー職としてすべき事，してはいけない事～」，昭島市 スキルアップ研修，東京都昭島市，2015年12月5日。
  93. 須田牧夫：「高齢者に必要な歯科対応」“歯科医師に求められていることとは”，平成27年度 君津木更津歯科医師会 第2回生涯研修講習会，千葉県木更津市，東京ベイプラザホテル，2015年12月5日。
  94. 菊谷 武：新しい介護食品に関するシンポジウム「どう活用する“スマイルケア食”」，富山県富山市，2015年12月6日。
  95. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，津山市総合福祉会館，2015年12月6日。
  96. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか，平成27年度日本歯科大学九州地区歯学研修会，福岡県福岡市，2015年12月12日。
  97. 高橋賢晃：口腔ケア～いつまでも口から楽しく食べるために～，平成27年度口腔に関する講演会，高萩市総合福祉センター，2015年12月15日。
  98. 田村文誉：上手に食べるために，平成27年度学校栄養士研修会，前原暫定集会所，2015年12月18日。
  99. 須田牧夫：「歯科と認知症」“歯科の役割と対策とは”，平成27年度北陸三県歯科医学学術講演会，富山県富山市，富山県歯科医師会館，2015年12月20日。
  100. 菊谷 武：シリーズ！現場につながる口腔ケア研修会，求められています！あらゆる現場で活躍する歯科衛生士『チームで支える在宅ケア』，平成27年度福岡県歯科衛生士会口腔ケア研修会，福岡県福岡市，2015年12月20日。
  101. 戸原雄：摂食嚥下機能療法の基本，青森県歯科衛生士会 三八支部，八戸歯科衛生士専門学校，2016年1月17日。
  102. 田村文誉：口を育む！食を育む！，歯ミフェスタ・多摩2015，東京都多摩府中保健所，2016年1月21日。
  103. 田村文誉：「口を育む！食を育む！」～施設職員とのハーモニー～，歯ミニフェスタ・多摩2015 歯と口の健康づくり 実践報告会，東京都府中市，2016年1月21日。
  104. 菊谷 武：「摂食・嚥下障がいに対する評価・診断・対処法について」，熊本県歯科医師会在宅歯科医療推進事業研修会，2016年1月23～24日。
  105. 菊谷 武：「低栄養サービス」，東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室 小金井市民講座，東京都小金井市，2016年1月25日。
  106. 菊谷 武：平成27年度広島県地域医療介護総合確保事業 広島市在宅歯科医療推進講習・

- 研修会，広島県広島市，2016年1月26日。
107. 須田牧夫：第17回NHO 栃木医療センター口腔ケア兼摂食・嚥下セミナー，栃木県栃木市NHO 栃木医療センター，2016年1月28日。
  108. 菊谷 武：「高齢者の摂食嚥下と口腔ケアについて」，平成27年度さいたま市保健所・さいたま市保健所管内給食研究会合同研修会，埼玉県さいたま市，2016年1月29日。
  109. 菊谷 武：「認知症に対する歯科治療とは」，厚生労働省認可（公益）日本歯科先端技術研究所主催「高齢者の口腔機能管理セミナー：MCI サポート歯科医認定講習会」第2回，東京都新宿区，2016年1月31日。
  110. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？，第25回ライオンNew Yearセミナー，東京都千代田区，2016年1月31日。
  111. 菊谷 武：「口腔機能向上」，東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室 小金井市民講座，東京都小金井市，2016年2月1日。
  112. 菊谷 武：『臨床で役立つ摂食・嚥下～「食べる介護」がまるごとわかる～』，平成27年度NST 外部講師勉強会，神奈川県秦野市，2016年2月2日。
  113. 菊谷 武：摂食嚥下機能支援事例検討会～チームアプローチにむけて～，平成27年度「摂食嚥下機能支援における事例検討会」，東京都福生市，2016年2月3日。
  114. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と管理・歯科治療～マイナス1歳からの口腔管理～，歯科保健関係指導者講習会，長崎県大村市，2016年2月5日。
  115. 保母妃美子：医科主治医と連携し経管栄養を離脱した1症例，第13回多摩療育と栄養研究会，東京都小金井市，2016年2月6日。
  116. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療～マイナス1歳からの口腔管理～，医科・歯科連携に資する人材養成のための研修会，長崎県大村市，2016年2月6日。
  117. 菊谷 武：食支援でできることは・・・！～食べる機能を支えるためにそれぞれの立場で出来ることは～，平成27年度豊田市歯科口腔保健事業関係者研修会，愛知県豊田市，2016年2月10日。
  118. 菊谷 武：活動報告（事例発表）「在宅要介護者への食支援の実践，多職種で関わる意義とその効果」，厚生労働省老人保健健康増進等事業 在宅高齢者の口から食べる楽しみを支援するための研修会『口から食べたい』を地域で支援しよう！，東京都港区，2016年2月11日。
  119. 菊谷 武：口腔ケアに関して，口腔ケアに関しての研修，東京都西多摩郡，2016年2月16日。
  120. 高橋賢晃：神経難病患者の口腔ケアとリハビリテーション，難病ネットワーク会議における講演会，健康プラザかつしか，2016年2月17日。
  121. 高橋賢晃：発達期の嚥下障害，障がい者等のかかりつけ歯科医機能支援システムに関する研修会，三鷹産業プラザ，2016年2月17日。
  122. 田村文誉：重度障害児・者の摂食・嚥下について，職員研修，重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎，2016年2月18日。
  123. 菊谷 武：「地域で食べるを支えるということ一咀嚼機能、地域嚥下調整食連携を中心に」，第22回東京摂食嚥下研究会，東京都荒川区，2016年2月20日。
  124. 田村文誉：次世代の栄養政策2 ほ乳機能と摂食機能について～口腔機能の発達の観点より～，山梨県栄養士会平成27年度生涯教育研修会，山梨学院短期大学，2016年2月20

日.

125. 児玉実穂:妊娠時の口腔内の変化と管理～マイナス1歳からの口腔管理～,山梨県甲府市, 2016年2月23日.
126. 高橋賢晃:在宅・施設における摂食嚥下リハビリテーション～評価と対応法～,杉並区歯科医師会日本歯科大学校友会主催 学術講演会,杉並歯科医師会館,2016年2月24日.
127. 田村文誉:要介護者のための家族ができる日常の口腔ケア,平成27年度小山歯科医師会市民公開講座,小山文化センター,2016年2月28日.
128. 須田牧夫:在宅歯科医療の現状と今後の展開—開業医ができる取り組み—,朝霞地区歯科医師会研修会,埼玉県朝霞市,2016年2月28日.
129. 高橋賢晃:地域で食べるを支えるために～外部観察評価と食形態決定のヒント～,訪問協力医研修会,杉並歯科医師会館,2016年3月9日.
130. 児玉実穂:食べる機能の障害～その対応～,神明障害福祉施設職員研修会,東京都足立区,2016年3月11日.
131. 菊谷 武:特別講演「地域で“食べる”を支えるということ」,第33回静岡栄養代謝の集い,静岡県静岡市,2016年3月12日.
132. 菊谷 武:地域での口腔リハ・栄養活動について,福岡県歯科医師会 口腔機能回復支援講習会,福岡県福岡市,2016年3月13日.
133. 戸原 雄:ワークショップ「ミールラウンドを始めよう!」,第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー,くらしき健康福祉プラザ,2016年3月13日.
134. 高橋賢晃:地域における多職種連携～経口維持加算ではなにをするのか?～,岡山県委託事業要介護高齢者の低栄養を防ぐための医師・歯科医師と管理栄養士による口腔栄養関連サービスの推進公開セミナー,くらしき健康福祉プラザ,2016年3月13日.
135. 高橋賢晃:施設における外部観察評価とその対応,大泉学園デイサービスセンターにおける講演会,大泉学園デイサービスセンター,2016年3月22日.
136. 保母妃美子:摂食指導の理論と指導法,発達や障害に応じた摂食指導の基礎と具体的な介助方法の実践講座,東京都国分寺市,2016年3月29日.



# ● 口腔リハビリテーション多摩クリニック Tama Oral Rehabilitation Clinic

## 1. 所属構成員等

教 授 菊谷 武 (口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)  
田村 文誉 (口腔リハビリテーション科科長)  
講 師 須田 牧夫 (口腔リハビリテーション科多摩クリニック 医長)  
助 教 戸原 雄, 保母妃美子  
非常勤歯科医師 鰐原 賀子, 元開 早絵 (10月～)  
臨 床 教 授 Michael Groher, 鈴木 文晴, 松本 宜明, 米山 武義  
臨 床 准 教 授 今井 庸子, グリーナンせつゑ, 五島 朋幸, 花形 哲夫, 吉田 光由  
臨 床 講 師 佐々木由佳, 下嶋 哲也, 鈴木 亮, 南雲 健吾, 西方 浩一  
兵頭 洋子, 三好 真人, 池田 登頭

### スペシャルニーズ歯科

教 授 砂田 勝久 (歯科麻酔学講座)  
篠原健一郎 (歯科麻酔学講座)  
小森 成 (矯正歯科) (7月～)  
准 教 授 荘司 洋文 (口腔外科)  
石垣 佳希 (口腔外科)  
講 師 梅津糸由子 (小児歯科)  
鈴木 淳子 (小児歯科) (~9月)  
村松 健司 (小児歯科)  
岩崎てるみ (小児歯科)  
筒井友花子 (歯科麻酔学講座)  
今井 智明 (歯科麻酔学講座)  
助 教 三井 園子 (小児歯科)  
三宅 真帆 (小児歯科)  
安田 麻子 (歯科麻酔学講座)  
中村 仁也 (歯科麻酔学講座)  
岡本 秀平 (口腔外科) (7月～)

### 内科

教 授 佐々木裕芳

### 高齢者歯科学

特 任 助 教 有友たかね

### 医療職員

歯 科 衛 生 士 水上 美樹, 西村 美樹, 西澤加代子, 田中 祐子  
管 理 栄 養 士 尾関麻衣子

その他

事務職員 谷村 龍三, 中角 浩之, 町田 保子, 田中 梨絵 (~8月)  
大学院生 元開 早絵 (~9月), 手島 千陽 (~9月), 佐川敬一朗, 古屋 裕康  
岡澤 仁志, 新藤 広基, 矢島 悠里, 磯田 友子, 五十嵐公美  
光岡 一行

## 2. 研究テーマ

- 1) 摂食・嚥下リハビリテーション Rehabilitation for Dysphagia.
- 2) 口腔ケア Oral Care.
- 3) 高齢者に対する歯科診療 Dental Care for Elderly People.
- 4) 歯科訪問診療 Home Visiting Dental Care.
- 5) 咀嚼器官の運動障害が咀嚼機能に与える影響 Masticatory function affected by masticatory disorders with movement disorder.
- 6) レット症候群の摂食機能 Feeding of Rett syndrome.
- 7) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 8) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 9) 誤嚥性肺炎と口腔ケア Aspiration pneumonia and oral care.
- 10) 障害児の摂食機能 Feeding function of disabled children.
- 11) 小児の摂食機能の発達と障害 Development and disabilities of feeding in children.
- 12) 子供の食の問題と母親の育児負担との関係 Relationship between children's eating problem and mother's parenting stress.
- 13) 原始反射の再出現が摂食機能に与える影響 Effects of the reappearance of primitive reflexes on eating function and prognosis.
- 14) 口唇口蓋裂児の吸啜時の舌運動の解析 Analysis of tongue movements during sucking by infants with cleft lip and palate.
- 15) 地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成プログラム構築 Development of cultivation program for dentist for the regional comprehension system.

## 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

## 4. 学位取得者

- 1) 元開早絵, Loss of occlusal support affects the decline in activities of daily living in elderly people receiving home care, 2015年9月7日, 日本歯科大学.
- 2) 手島千陽, 嚥下内視鏡検査時に行う簡易嚥下誘発試験の検討, 2015年9月7日, 日本歯科大学.
- 3) 佐川敬一朗, 虚弱高齢者の骨格筋量に関連する因子について, 2016年2月25日, 日本歯科大学.
- 4) 古屋裕康, 地域在住高齢者における舌の筋肉量, 筋力と全身の筋肉との関係, 2016年2月

25日, 日本歯科大学.

## 5. 主催学会等

- 1) 第26回日本老年歯科医学会, 神奈川県横浜市, 2015年6月12~14日, 日本歯科大学.
- 2) 医療・介護専門職向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック摂食・嚥下研修会, 小金井市民交流センター, 2015年6月2日, 9月28日, 2016年2月15日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 3) 管理栄養士・栄養士、その他医療・介護専門職向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック食の研修センター 新しい介護食品“スマイルケア食”“食べる”を支える研修会, 多摩クリニック, 2015年9月5日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 4) 障害児にかかわる方向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック摂食・嚥下研修会 「食べるを支える」～発達期障害の理解を深める!～, 多摩クリニック, 2015年7月28日, 10月15日, 2016年2月23日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.
- 5) 管理栄養士・栄養士・調理師向け研修セミナー 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック食の研修センター “食べる”を支える研修会, 2015年10月24日, 2016年2月27日, 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック.

## 6. 国際交流状況

- 1) アメリカ・レッドランズ大学のマイケル グロハー教授による摂食・嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ. 重度誤嚥症例についてのプレゼンテーションと討論. 2015年8月3日~7日.

## 7. 外部・学内研究費

- 1) 日本医療研究開発機構研究費, 長寿科学総合研究事業 (継続), 平成26~28年度, 地域包括ケアにおける摂食嚥下および栄養支援のための評価ツールの開発とその有用性に関する検討, 菊谷 武 (代表), 神崎恒一, 長島文夫, 田中良典, 道脇幸博, 八重垣 健 (分担), 8,001,000円.
- 2) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成24~27年度, 摂食嚥下機能維持を目的とした精神神経疾患に対する薬物動態/薬力学的検討, 菊谷 武 (代表), 松本宣明, 小野真一 (分担), 124,483円.
- 3) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (新規), 平成27~29年度, 経口摂取は胃瘻患者の認知機能および身体機能の改善に寄与できるか?, 田村文誉 (代表), 八重垣健, 菊谷 武, 町田麗子, 水上美樹 (分担), 2,100,000円.
- 4) 厚生労働省長寿科学研究開発費 (継続), 平成25~27年度, 高齢者の口腔機能の評価法及び維持・向上法に関する研究, 角 保徳 (代表), 渡邊 哲, 海老原覚, 植松 宏, 菊谷武, 道脇幸博, 永長周一郎, 三浦宏子, 岩渕博史, 櫻井 薫, 深山治久, 森戸光彦 (分担), 10,000,000円.
- 5) 厚生労働科学研究費補助金, 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業, 長寿科学総合研究事業 (継続), 平成25~27年度, 口腔ケアと栄養管理による誤嚥性肺炎の予防

に関する研究，東口高志（代表），菊谷 武，丸山道生，葛谷雅文，松崎政三，真田弘美，鎌倉やよい（分担），11,570,000 円。

- 6) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（新規），平成 26～27 年度，口腔のサルコペニアに対する評価法および対応法に関する研究，高橋賢晃（代表），菊谷武，田村文誉（分担），794,136 円。
- 7) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，基盤研究（C）（新規），平成 27～29 年度，地域包括ケアシステムに対応可能な歯科医師育成システムの構築，須田牧夫（代表），菊谷武，田村文誉，町田麗子（分担），4,810,000 円。
- 8) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金，若手研究（B）（新規），平成 27～29 年度，ユビキタス地域在宅歯科医療・介護連携システムの構築，戸原 雄（代表），3,900,000 円。
- 9) 千代田区助成金 千代田学（新規），平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日，千代田区発信 小児歯科多言語対応視覚的説明ツールの開発，岩崎てるみ（代表），内川喜盛，白瀬敏臣，梅津糸由子，波多野宏美，松崎祐樹，瀬戸ゆきの（分担），649,000 円。

## 8. 研究業績

### A. 著 書

1. 菊谷 武（分担執筆）：Ⅲ研究のプロセスと研究成果の発表 4ー広域研究ー医科連携研究症例，43-46，金澤紀子，石井拓男，岩久正明，武井典子，合場千佳子（編著），日本歯科衛生学会（監修），歯科衛生研究の進め方論文の書き方（第 2 版），医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-42161-1。
2. 田村文誉（分担執筆）：1. 乳幼児の食べる力の発達支援，公益社団法人東京都歯科医師会，歯と口の健康からはじめる食育チャレンジブック，東京都福祉保健局医療対策部医療政策課，東京，2015。
3. 菊谷 武：「食べる」介護がまるごとわかる本（第 1 版）（第 3 刷），株式会社メディカ出版，大阪，2015，ISBN：978-4840441544。
4. 1) 菊谷 武（分担執筆）：§12 口腔ケア（総論）36. 唾液の基礎知識，21-28，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，出江紳一，小島千枝子，柴田享子，戸原 玄（編集），日本摂食嚥下リハビリテーション学会 e ラーニング対応 第 4 分野 摂食嚥下リハビリテーションの介入Ⅰ 口腔ケア・間接訓練 Ver. 2，医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-44866-3。  
2) 水上美樹（分担執筆）：§13 口腔ケア（各論）37. 口腔ケアの準備，歯の清掃法，必須器具・薬剤，30-37，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，出江紳一，小島千枝子，柴田享子，戸原 玄（編集），日本摂食嚥下リハビリテーション学会 e ラーニング対応 第 4 分野 摂食嚥下リハビリテーションの介入Ⅰ 口腔ケア・間接訓練 Ver. 2，医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-44866-3。
5. 菊谷 武（単著）：絵で見てわかる 認知症「食事の困った！」に答えます，女子栄養大学出版部，東京，2015，ISBN：978-4-8404-4154-4。
6. 1) 菊谷 武（分担執筆）：Ⅱ老年歯科医学（高齢者歯科医学）の実際 4. 摂食嚥下障害④ 摂食機能の進め方 3ー治療計画，337-339，森戸光彦，山根源之，櫻井 薫，羽村 章，下山和弘，柿木保明（編著），老年歯科医学，医歯薬出版株式会社，東京，2015，ISBN：978-4-263-45789-4。

2) 田村文誉 (分担執筆) : II 老年歯科医学 (高齢者歯科医学) の実際 4. 摂食嚥下障害⑥ 疾患による特徴とリハビリテーション 5- 廃用症候群, 364-366, 老年歯科医学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015, ISBN : 978-4-263-45789-4.

3) 水上美樹 (分担執筆) : II 老年歯科医学 (高齢者歯科医学) の実際 4. 摂食嚥下障害① 高齢者の接触嚥下機能の基礎 4- 嚥下食と栄養, 311-313, 森戸光彦, 山根源之, 櫻井 薫, 羽村 章, 下山和弘, 柿木保明 (編著), 老年歯科医学, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2015. ISBN : 978-4-263-45789-4.

7. 1) 石垣佳希 (分担執筆) : 第4章 全身疾患と口腔内科口腔内科学, 1. 歯科と関連する全身疾患, 6. 代謝・内分泌疾患, 6-3. 甲状腺機能亢進症, 267-268, 山根源之, 草間幹夫, 久保田英朗 (編集主幹), 口腔内科学, 永末書店, 京都, 2016, ISBN : 978-4-8160-1304-1.

2) 石垣佳希 (分担執筆) : 第4章 全身疾患と口腔内科口腔内科学, 1. 歯科と関連する全身疾患, 6. 代謝・内分泌疾患, 6-4. 甲状腺機能低下症, 268-269, 山根源之, 草間幹夫, 久保田英朗 (編集主幹), 口腔内科学, 永末書店, 京都, 2016, ISBN : 978-4-8160-1304-1.

3) 石垣佳希 (分担執筆) : 第4章 全身疾患と口腔内科口腔内科学, 1. 歯科と関連する全身疾患, 6. 代謝・内分泌疾患, 6-5. 副腎皮質機能異常, 270-272, 山根源之, 草間幹夫, 久保田英朗 (編集主幹), 口腔内科学, 永末書店, 京都, 2016, ISBN : 978-4-8160-1304-1.

## B. 原著

1. \*Genkai S, Kikutani T, Suzuki R, Tamura F, Yamashita Y, Yoshida M. Loss of occlusal support affects the decline in activities of daily living in elderly people receiving home care, ©J Prosthodont Res, 2015 ; 59 (4) : 243-8, doi : 10.1016/j.jpor.2015.06.003. (学位論文)

2. Kuroda A, Tanaka T, Hirano H, Ohara Y, Kikutani T, Furuya H, Obuchi S P, Kawai H, Ishii S, Akishita M, Tsuji T, Iijima K. Eating Alone as Social Disengagement is Strongly Associated With Depressive Symptoms in Japanese Community-Dwelling Older Adults, ©J Am Med Dir Assoc, 2015 ; 16 (7) : 578-85, doi : 10.1016/j.jamda.2015.01.078.

3. Ohno T, Morita T, Tamura F, Hirano H, Watanebe Y, Kikutani T. The need and availability of dental services for terminally ill cancer patients:a nationwide survey in Japan, ☆Support Care Cancer, 2015 ; 24 (1) : 19-22, doi : 10.1007/s00520-015-2734-5.

4. \*Tejima C, Kikutani T, Takahashi N, Tamura F, Yoshida M. Application of simple swallowing provocation test with fiberoptic endoscopic evaluation of swallowing in a cross-sectional study, ☆Bio Med Central, 2015 ; 15 : 48, doi : 10.1186/s12877-015-0049-5. (学位論文)

5. Yoshida M, Kanehisa Y, Ozaki Y, Iwasa Y, Fukuizumi T, Kikutani T. One-leg standing time with eyes open:comparison between the mouth-opened and mouth-closed conditions, ©Cranio, 2015 ; 33 (1) : 15-8, doi : 10.1179/2151090314Y.0000000007.

## C. 総説・解説

1. 菊谷 武 : 世界会議 2015 記録集 1. 地域における食支援, 日本歯科医師会雑誌, 68(5):137-144, 2015.

2. 菊谷 武 : 第1部 高齢者の栄養と疾病 第5章 高齢者の摂食嚥下障害と食事, 国民の栄養白書 2015-2016年版 高齢者の栄養管理と食事が支える生きる力, 78-81, 2015.

3. 菊谷 武 : 超高齢社会における歯科医療・口腔保健の展開と健康政策 地域における食支

援, 日本歯科医師会雑誌, 68 (5) : 505-512, 2015.

4. Tamura F, Kikutani T. Oral Rehabilitation and Regional Partnerships, 6<sup>th</sup> Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 118-120, 2015.
5. 【一般社団法人 日本老年歯科医学会 作成組織 ガイドライン委員会】枝広あや子, 渡邊裕, 平野浩彦, 古屋純一, 中島純子, 田村文誉, 北川 昇, 堀 一浩, 原 哲也, 吉川峰加, 西 恭宏, 永尾 寛, 服部佳功, 市川哲雄, 櫻井 薫: 認知症患者の歯科的対応および歯科治療のあり方—学会の立場表明 2015—, 老年歯科医学, 30 (1) : 3-11, 2015.
6. 菊谷 武: 栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み, 日本補綴歯科学会誌, 7 (2) : 102-105, 2015.
7. 菊谷 武, 吉田光由, 菅 武雄, 木村年秀, 田村文誉, 窪木拓男: 歯の喪失ならびに口腔機能低下が栄養状態に及ぼす影響—アセスメント法の開発—, 日本歯科医学会会誌, 34 : 59-63, 2015.
8. 村田比呂司, 志賀 博, 大久保力廣, 渋谷友美, 近藤尚知, 櫻井 薫, 田中順子, 松香芳三, 水口俊介, 鱒見進一, 大川周治, 西 恭宏, 越野 寿, 佐々木啓一, 赤川安正, 川良美佐雄, 菊谷 武, 吉田光由, 古谷野潔: 高齢者の栄養障害に義歯装着がもたらす効果と高齢義歯装着者への摂食・栄養指導のガイドラインに関するプロジェクト研究, 日本歯科医学会会誌, 34 : 54-58, 2015.

#### D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 菊谷 武: シリーズ胃ろうを考える② のみ込む力を取り戻す リハビリと手術, 週刊朝日, 120 (18) : 144-147, 2015.
2. 菊谷 武: 時の言霊, りそな一れ, 13 (6) : 24-25, 2015.
3. 菊谷 武: 食生活の知識④ 心も満たすスマイルケア食, 暮らしの豆知識 2016, 158-159, 2016.
4. 菊谷 武: 認知症 食事の悩み こう対処, 日本農業新聞, 12面, 2015年10月8日.
5. 菊谷 武 (監修): 口腔ケア, オレンジページ 特別編集 シニアの手間をかけない健康ごはん, 80-83, 2015.
6. 尾関麻衣子 (監修): 調理・献立アドバイス, オレンジページ 特別編集, シニアの手間をかけない健康ごはん, 18-41, 2015.
7. 尾関麻衣子: 物性に見本に市販品を活用し継続できる“食べられる食事”を指導, ヘルスケア・レストラン, 23 (11) : 63, 2015.
8. 尾関麻衣子: 特集 「食べたい」をかなえる! 最新・経口摂取ケアのポイント 〈解説2〉食形態の選択と加工法, 中村育子 (共同執筆), コミュニティケア, 18 (3) : 21-26, 2016.
9. 田村文誉, 水上美樹, 町田麗子, 児玉実穂, 保母妃美子, 磯田友子, 元開早絵, 高橋賢晃, 菊谷 武: 摂食嚥下障害児の母親の育児負担感と摂食指導, 日摂食嚥下リハ会誌, 19 (2) : 158-164, 2015.
10. 町田麗子, 田村文誉, 児玉実穂, 高橋賢晃, 保母妃美子, 磯田友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷 武: 在宅訪問における重症心身障害児の摂食機能療法の必要性, 障歯誌, 37 (1) : 61-65, 2016.
11. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 蒲池史郎, 町田麗子, 田村文誉: 地域歯科医師会による摂食支援事業に対する障害者施設職員の意識調査, 障歯誌, 37 (1) : 54, 2016.

12. 佐々木力丸, 高橋賢晃, 田村文誉, 元開早絵, 鈴木 亮, 菊谷 武 : 介護老人福祉施設に入居する要介護高齢者に対する栄養支援の効果について, 老年歯科医学, 29 (4) : 362-367, 2015.
13. 須田牧夫 : チェアサイドでできる摂食機能訓練, DENTALDIAMOND, 40 (8) : 118-119, 2015.
14. 須田牧夫 : 在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A (1), The Quintessence, 34 (8) : 1641-1643, 2015.
15. 須田牧夫 : 在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A (2), The Quintessence, 34 (9) : 1879-1881, 2015.
16. 須田牧夫 : 在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A (3), The Quintessence, 34 (10) : 2117-2119, 2015.
17. 須田牧夫 : 在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A (4), The Quintessence, 34 (11) : 89-91, 2015.
18. 須田牧夫 : 在宅へ一歩踏み出そう！最初の一步の歯科訪問診療 Q&A (5), The Quintessence, 34 (12) : 87-89, 2015.
19. 菊谷 武, 鰐原賀子 : 誤嚥性肺炎の予防, メディカル朝日, 44 (9) (通巻第 526 号) : 19-20, 2015.
20. 菊谷 武, 鰐原賀子 : ADL と QOL を向上させる口腔ケア, ふれあいケア, 21 (9) : 12-16, 2015.
21. 水上美樹 : 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, 多職種協働現場 施設への歯科訪問診療, デンタルハイジーン, 35 : 50-53, 2015.
22. 水上美樹 : 多職種協働現場における歯科衛生士の役割, 多職種協働現場 特別支援学校と歯科衛生士の役割, デンタルハイジーン, 35 : 177, 2015.
23. 菊谷 武 : 歯科の立場から一在宅における経口アプローチ, ヘルスケア・レストラン 別刷, 1 : 163-170, 2015.
24. 菊谷 武 : オーラルマネジメント最前線 高齢者の口腔ケアー認知症を含む, DM Ensemble, 14-16, 2015.
25. 菊谷 武 : 特集 : 知りたい！聞きたい！認知症 Q&A Q29. 認知症と摂食嚥下障害とは？, Monthly Book Medical Rehabilitation, 183 : 144-147, 2015.
26. 水上美樹 : 第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 嚥下食ハッピーランチ in 京王プラザ, デンタルハイジーン 別刷, 35 (5) : 544-545, 2015.
27. 町田麗子, 田村文誉 : “機能の発達をおさえて” 保護者に伝えたい 乳歯列完成期までのお口の悩みも, DHにおまかせ！, 歯科衛生士, 39 : 30-43, 2015.
28. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 3 胃がん手術後に胃瘻を造設したが在宅リハで除去できた, 医療と介護 Next, 1 (3) : 58-59, 2015.
29. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 4 食事観察環境把握は高齢者の摂食・嚥下支援に不可欠だ, 医療と介護 Next, 1 (4) : 66-68, 2015.
30. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 5 食べる能力に応じた食形態の統一基準を使いこなそう, 医療と介護 Next, 1 (5) : 52-53, 2015.
31. 菊谷 武 : 「食べる」を支える訪問歯科 6 「とろみ」の意義と濃さの特徴を理解して正しく使おう, 医療と介護 Next, 1 (6) : 50-51, 2015.

32. 菊谷 武：「食べる」を支える訪問歯科 7 “いろいろレストラン”で患者さんと家族に楽しい食事のひとつときを，医療と介護 Next, 2 (1) : 56-57, 2016.
33. 楊 秀慶，田村文誉：特集 外来で診る小児の摂食嚥下リハビリテーション 小児の摂食嚥下障害における歯科的問題，JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION, 臨床リハ, 24 (7) : 652-658, 2015.
34. 菊谷 武：特集 食べることは生きること～2025年問題を食から支える～ 地域で“食べる”を支えるということ，日本栄養士会雑誌, 58 (7) : 9-12, 2015.
35. 菊谷 武：レポート第 29 回日本老年学会総会 合同シンポジウム 4「超高齢社会におけるフレイルを考える」，MEICAMENT NEWS, 2201 : 20-21, 2015.
36. 田村文誉，古屋裕康，菊谷 武：酵素入りゲル化剤を用いた「調整つぶ粥」の有用性，Human Nutrition, 37 : 54-57, 2015.
37. 菊谷 武：～在宅での“食べる”を支える～在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア ①在宅で「食べる」を支えるということ，歯会展望, 126 (3) : 442-448, 2015.
38. 有友たかね：～在宅での“食べる”を支える～在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア ②「食べる」を支えるための口腔ケア～菌回収を意識した口腔ケアの実際・コツ～，歯会展望, 126 (3) : 449-457, 2015.
39. 鰐原賀子，菊谷 武：特集 高齢者の呼吸器感染症マネジメント 誤嚥性肺炎の予防，Medical ASAHI, 44 (9) : 19-20, 2015.
40. 菊谷 武：病態栄養 TOPICS® スマイルケア食の使い方—地域で“食べる”を支えるために—，BEQ NEWS, 1-2, 2015.
41. 菊谷 武：特集：新しい介護食品（スマイルケア食）の普及推進に向けて 嚥下調整食導入の必要性和スマイルケア食への期待，明日の食品産業, 24-28, 2015.
42. 菊谷 武：食べることは生きること 在宅介護に向けて，摂食嚥下障害のある場合の介護職と介助の実際（監修），健康増進のしおり, 2015.
43. 田村文誉：連載 これからの歯科医療提供体制のあり方を考える 第 4 回 小児に必要な在宅歯科医療，新聞 QUINT 2015.5, 5, 2015.
44. 田村文誉：Q&A 離乳食の進め方，DENTAL DIAMONDO, 11 : 122-123, 2015.
45. 菊谷 武：特集 高齢者医療での歯科に関する Minimum Skills 総説 2. 高齢者診療時の咀嚼・嚥下機能の配慮点，Geriatric Medicine<老年医学>, 53 (11) : 1143-1148, 2015.
46. 菊谷 武：9 章 高齢者歯科 03. 窒息事故と咀嚼機能，日常臨床のレベルアップ&ヒント 72 : 170-171, 2015.
47. 田村文誉，小坂美樹，横山雄士：特集 子どもの在宅診療 7. 子どもの在宅診療における訪問歯科，チャイルドヘルス, 18 (12) : 36-39, 2015.
48. 田村文誉：歯科診療における創意工夫 小児の食の問題と摂食嚥下障害，歯学, 103 : 42-45, 2015.
49. 菊谷 武，有友たかね：「食べる」を支えるための口腔ケア～菌回収を意識した口腔ケアの実際・コツ～，～在宅での“食べる”を支える～在宅患者への摂食嚥下支援と“菌回収”を意識した口腔ケア，歯界展望, 126 (3) : 449-457, 2015.
50. 菊谷 武：「胃瘻レストラン」，NHK ニュース関東甲信越, 2015年8月8日.
51. 菊谷 武：顔の〇〇が弱ると全身が衰える！身体を老けさせない秘密 SP, TV 朝日 たけ



しの健康エンターテインメント みんなの家族の医学, 2016年2月2日.

52. 菊谷 武:「どう活用する 新しい介護食」, NHK Eテレ, 2016年2月6日.

53. 菊谷 武:医療プロジェクト 思わずやりたくなる健康チェック, フジテレビ とくだね, 2016年3月1日.

## E. 翻訳

記載事項なし

## F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 橋本久美, 松木るりこ, 高島良代, 西脇恵子, 須釜慎子, 水上美樹, 菊谷 武:特別支援学校との連携—2年目の活動, 第41回日本コミュニケーション学会学術講演会予稿集, 41:93, 2015.
2. 古屋裕康, 佐川敬一朗, 元開早絵, 菊谷 武, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦:地域高齢者の追跡調査からみたサルコペニアと口腔機能との関連, 老年歯学, 30(2):105, 2015.
3. 古屋裕康, 佐川敬一朗, 元開早絵, 菊谷 武, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦:健康高齢者の舌の厚みに関連する因子の検討, 老年歯学, 30(2):109, 2015.
4. 高橋賢晃, 菊谷 武, 佐々木力丸, 新藤広基, 矢島悠里, 安藤亜奈美, 蛭谷剛文, 山口幸一, 田村文誉:“要介護高齢者の肺炎発症に及ぼす影響—摂食支援カンファレンス実施施設におけるコホート研究による検討—”, 老年歯学, 30(2):136-137, 2015.
5. 辰野 隆, 鈴木健太郎, 宮原隆雄, 須田牧夫, 岡澤仁志, 田村文誉, 菊谷 武:適切な食支援により長期の経口摂取が可能となった介護老人福祉施設入所者症例の検討, 老年歯学, 30(2):170-171, 2015.
6. 田中祐子, 有友たかね, 矢島悠里, 戸原雄, 田村文誉, 菊谷 武:病院との連携によって行う摂食嚥下障害者に対する支援, 老年歯学, 30(2):175-176, 2015.
7. 清水けふ子, 古賀登志子, 山口幸一, 蛭谷剛文, 佐々木力丸, 高橋賢晃:グループホームに勤務する介護職の口腔のケアに対する意識調査, 老年歯学, 30(2):195, 2015.
8. 田中康貴, 戸原 雄, 田村文誉, 菊谷 武:舌接触補助床の装着により口腔移送時間の短縮を認めた一例, 老年歯学, 30(2):202-203, 2015.
9. 関野 愉, 久野彰子, 内山恵理, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博:介護老人福祉施設入居者における現在歯数と全身状態との関連について, 老年歯科医学, 30(2):240-241, 2015.
10. 岡澤仁志, 戸原 雄, 高橋賢晃, 児玉実穂, 田村文誉, 菊谷 武:在宅療養高齢者の介護負担に関する因子の検討, 老年歯学, 30(2):245-246, 2015.
11. 元開早絵:頸椎前面に生じた異常骨棘を有する嚥下機能紹介患者に対して栄養指導及び間接訓練が有効であった1症例, 第26回日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 240, 2015.
12. 磯田友子:口腔癌術後の摂食嚥下障害と構音障害に対して補綴処置が有効であった1症例, 第26回日本老年歯科医学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 244, 2015.
13. 矢島悠里, 田村文誉, 濱田美影, 野沢与志津, 河合美佐子, 菊谷 武:地域健康高齢者における摂取食品の変化と関連因子の検討, 日本老年医学会雑誌, 52:80-81, 2015.
14. 高島良代, 西脇恵子, 町田麗子, 松木るりこ, 橋本久美:舌接触補助床(PAP)の継続使用に家族の協力が有効であった1症例, 第16回日本言語聴覚学会プログラム・抄録集,

- 12 (3) : 188-189, 2015.
15. 新藤広基, 古屋裕康, 田村文誉, 小原由紀, 平野浩彦, 菊谷 武 : 地域在住高齢者にみられるサルコペニアと口腔機能の関連, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 90, 2015.
16. 西澤加代子, 水上美樹, 田村文誉, 菊谷 武 : 低出生体重児の体格が摂食機能獲得の予後に及ぼす影響, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 145, 2015.
17. 田村文誉, 安藤亜奈美, 菊谷 武 : 十二指腸の通過障害が原因で反芻が誘発されていた知的障害児への摂食指導, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 179, 2015.
18. Mizukami M, Tamura F, Isoda T, Genkai S, Kikutani T. Eating instructions for infants with severe infantile type nemaline myopathy, 44<sup>th</sup> Annual convention International Association of Orofacial Myology, 2015.
19. Genkai S, Tamura F, Mizukami M, Kikutani T. Effects of eating training on tongue pressure in children with dysphagia, 44<sup>th</sup> Annual convention International Association of Orofacial Myology, 2015.
20. 佐川敬一郎, 鈴木 亮, 菊谷 武 : 急性期病院における摂食嚥下機能評価システムの構築および介入効果の検討, 障歯誌, 36 (3) : 327, 2015.
21. 磯田友子, 田村文誉, 高橋賢晃, 町田麗子, 保母妃美子, 元開早絵, 安藤亜奈美, 水上美樹, 西村美樹, 西澤加代子, 菊谷 武 : 小児摂食指導外来の実態調査—経管の離脱—, 障歯誌, 36 (3) : 352, 2015.
22. 前原朝子, 村田 碧, 丸本桜子, 荻田みさと, 有友たかね, 川本博也 : 歯科通院回数減少を目指した知的障害者施設職員の口腔清掃に関する取り組み, 障歯誌, 36 (3) : 508, 2015.
23. 町田麗子, 田村文誉, 児玉実穂, 高橋賢晃, 保母妃美子, 磯田友子, 元開早絵, 水上美樹, 菊谷 武 : 小児在宅歯科医療における重症心身障害児の摂食指導の効果, 障歯誌, 36 (3) : 528, 2015.
24. 高橋賢晃, 菊谷 武, 佐々木力丸, 田村文誉 : 要介護高齢者における食物の臼歯部移送能に及ぼす因子の検討, 第 29 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 49, 2015.
25. 古屋裕康, 菊谷 武 : 在宅胃瘻患者の経口摂取再開への取り組み, 第 4 回日本臨床倫理学会抄録集, 100, 2016.
26. 呉屋朝幸, 田中良典, 井上俊之, 藤澤節子, 菊谷 武, 佐野広美, 長島文夫 : 大都市近郊での地域連携 ; 東京多摩地域の在宅医療・緩和ケアカンファレンス活動報告, 日本医療マネジメント学会雑誌, 183, 2015.
27. 佐川敬一郎, 菊谷 武 : 嚥下調整食コードを用いた地域連携の取り組み, 日本医療マネジメント学会第 16 回東京支部学術集会, 55, 2016.
28. 菊谷 武 : 栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み, 日本補綴歯科学会誌別刷, 7 (2) : 102-105, 2015.
29. 菊谷 武, 吉田光由, 菅 武雄, 木村年秀, 田村文誉, 窪木拓男 : 歯の喪失ならびに口腔機能低下が栄養状態に及ぼす影響—アセスメント法の開発—, 日本歯科医学会会誌別刷, 34 : 59-63, 2015.

30. 村田比呂司, 志賀 博, 大久保力廣, 渋谷友美, 近藤尚知, 櫻井 薫, 田中順子, 松香芳三, 水口俊介, 鱒見進一, 大川周治, 西 恭宏, 越野 寿, 佐々木啓一, 赤川安正, 川良美佐雄, 菊谷 武, 吉田光由, 古谷野潔: 高齢者の栄養障害に義歯装着がもたらす効果と高齢義歯装着者への摂食・栄養指導のガイドラインに関するプロジェクト研究, 日本歯科医学会誌別刷, 34 : 54-58, 2015.
31. 吉田和正, 石垣佳希, 岡本秀平, 阪本まり, 川村浩樹, 山瀬 勝, 秋山仁志, 松村和洋, 曾布川裕介, 東郷尚美, 岩井 謙, 内藤 明, 中村美保: 日本歯科大学附属病院口腔アレルギー外来の現況について (第2報), 日本口腔科学会雑誌, 64 (2) : 179, 2015.
32. 木幡 雅, 石垣佳希, 神山通孝, 吉田和正, 北詰栄里, 阪本まり, 川村浩樹: 金属修復物の組成に関する蛍光 X 線分析装置を用いた迅速分析, 第7回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 32, 2015.
33. 曾布川裕介, 山瀬 勝, 秋山仁志, 東郷尚美, 岩井 謙, 中原由絵, 石垣佳希: 日本歯科大学附属病院における CAD / CAM ハイブリッドレジックラウンの臨床応用状況, 第7回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 33, 2015.
34. 川村浩樹, 中村美保, 内藤 明, 内田和雅, 五島順子, 松村和洋, 石垣佳希: 各種金属系およびレジック系歯科材料にアレルギーのある患者の1症例, 第7回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 34, 2015.
35. 石垣佳希, 川村浩樹, 吉田和正, 山瀬 勝, 秋山仁志, 五島順子, 内藤 明, 中村美保: 当院口腔アレルギー外来の診査・診断の概要について, 第18回日本歯科人間ドック学会・学術大会プログラム集, 32, 2015.
36. 城代英俊, 宮澤利明, 石垣佳希, 小笠原健文, 白川正順: インプラント手術における静脈内鎮静法の有用性, 日本顎顔面インプラント学会誌, 14 (3) : 224, 2015.
37. 喜瀬信一郎, 宮澤利明, 吉田和正, 石垣佳希, 藤井泰行, 近津大地, 白川正順: 多数歯欠損症例におけるインプラント治療の臨床的検討 (第1報), 日本先進インプラント学会誌, 6 (2) : 26, 2015.
38. 星山紘子, 内川喜盛, 波多野宏美, 岩崎てるみ, 大出リエ子, 白瀬敏臣: 幼児における口腔レンサ球菌と齲蝕との関連性, 小児歯誌, 53 (2) : 254, 2015.
39. 松崎祐樹, 楊 秀慶, 三井園子, 辻 裕子, 白瀬敏臣: マイクロスコープを併用した根管充填時期の検討 アペキシフィケーション歯に対して, 小児歯誌, 53 (2) : 261, 2015.
40. 新見嘉邦, 梅津糸由子, 芹澤みなみ, 浜地宏哉, 荻原栄和, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 附属病院小児歯科における過剰歯の臨床統計, 小児歯誌, 53 (2) : 273, 2015.
41. 亀岡 亮, 村松健司, 楊 秀慶, 鈴木淳子, 西村 歩, 白瀬敏臣, 内川喜盛: 本学小児歯科における全身麻酔下治療の予約変更理由に対する考察, 小児歯誌, 53 (2) : 327, 2015.
42. 児玉実穂, 梅津糸由子, 星山紘子, 新見嘉邦, 落合真美, 奈良輪智恵: 入所施設での介入により咀嚼運動を獲得した成人期自閉症の1症例, 障害歯誌, 36 (3) : 451, 2015.
43. 船田淳子, 梅津糸由子, 上田 豊, 岩崎てるみ, 田村昌平, 石渡利幸, 毛利 徹, 萩原大生, 佐藤和義, 横田祐司, 原 龍馬, 篠原 修, 湊 耕一: 当センター25年間の診療状況の調査, 障害歯誌, 36 (3) : 451, 2015.
44. Iwasaki T, Matsuzaki Y, Hatano H, Uchikawa Y, Sirase T, Umezu Y, Seto Y. Development of a multilingual illustrative tool with pictures for pediatric dentistry : A report for first stage of the Chiyoda-study, 日本歯科大学歯学会第2回ウィンターミーティング プログラム・抄録集,

5, 2015.

45. Uchikawa Y, Yoh H, Iwasaki T. Caries predictive ability for the salivary mutans streptococci level in preschool children, The 45<sup>th</sup> Annual meeting & exhibition of the AADR, 1584, 2016.

## G. 講演

### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 菊谷 武：要介護高齢者の食を守るために考える：補綴治療を始める前に考えること，公益社団法人日本補綴歯科学会第 124 回学術大会，臨床リレーセッション 2（専門医研修単位認定セミナー），埼玉県大宮市，2015 年 5 月 30 日。
2. 菊谷 武：「超高齢者社会におけるフレイルを考える」，第 29 回日本老年学会総会，合同シンポジウム，神奈川県横浜市，2015 年 6 月 13 日。
3. Michael Groher. Issues and Challenges in Managing Patients with Dementia and Dysphagia, エイジングと食への対応，高齢者歯科からの未来戦略，第 26 回日本老年歯科医学会学術大会，国際シンポジウム，パシフィコ横浜，2015 年 6 月 14 日。
4. 田村文誉：Providing Care for the Caregiver of Dysphagic Patients, エイジングと食への対応，高齢者歯科からの未来戦略，第 26 回日本老年歯科医学会学術大会，国際シンポジウム，パシフィコ横浜，2015 年 6 月 14 日。
5. 田村文誉：外部観察評価、食内容指導・栄養指導，日本障害者歯科学会 2015 年度第 1 回摂食嚥下研修会，研修会，日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック，2015 年 7 月 19 日。
6. 水上美樹：アンケートからみえた事，第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，パネルディスカッション 3 発達期の嚥下調整食の現状と展望，京都府京都市，2015 年 9 月 11 日。
7. 菊谷 武：地域で“食べる”を支えるということ—スマイルケア食をツールとして—，第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，ランチョンセミナー5，京都府京都市，2015 年 9 月 12 日。
8. 田村文誉：重症心身障害児の摂食嚥下の関すること，第 41 回重症心身障害学会学術集会，ランチョンセミナー1，東京都千代田区，2015 年 9 月 18 日。
9. 菊谷 武：「超高齢者社会においてインプラントは是か非か？」，第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会，シンポジウム 13，岡山県岡山市，2015 年 9 月 23 日。
10. Tamura F, Mizukami M, Kikutani T. Dentistry in Japan ~Dental treatment for dysphagia, 44<sup>th</sup> International Association for Orofacial Myology, 特別講演, Orlando, FL, 2015 年 10 月 2 日。
11. Tamura F. Oral rehabilitation and regional partnerships, 6<sup>th</sup> Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry and Commemoration of the 50<sup>th</sup> Anniversary of Hiroshima University Faculty of Dentistry, Oral Health Promotion and Functional Rehabilitation in Super-aged Society, 広島大学，2015 年 10 月 25 日。
12. 田村文誉：歯科衛生士バズセッションおよび歯科衛生士ミート・ザ・メンター，第 32 回日本障害者歯科学会総会及び学術大会，愛知県名古屋市，2015 年 11 月 8 日。
13. 有友たかね：地域包括ケアシステムにおける歯科衛生士の役割—多摩地区における活動を通じて—，第 32 回日本障害者歯科学会総会及び学術大会，教育講座Ⅲ，愛知県名古屋市，2015 年 11 月 8 日。

14. 高橋賢晃：在宅・施設における摂食嚥下リハビリテーション，口腔リハビリテーション学会，シンポジウム，徳島大学，2015年11月15日。
15. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ，第18回岐阜県嚥下障害研究会学術講演会，特別講演，岐阜県多治見市，2015年11月22日。
16. 菊谷 武：要介護者の食べることを支えるために歯科は何ができるのか，日本口腔インプラント学会 第35回近畿北陸支部学術大会，2015年12月13日。
17. 菊谷 武：超高齢化社会におけるインプラントは是か非か？高齢者の口腔機能はどう変化するのか？，日本口腔インプラント学会第35回関東・甲信越支部学術大会，シンポジウム1，東京都新宿区，2016年2月13日。

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 磯田友子：肢体不自由児の摂食指導，平成27年度東京都立八王子東特別支援学校新転任者研修会，東京都八王子東特別支援学校，八王子市，2015年4月7日。
2. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，第36回健康づくり提唱のつどい，東京都港区，2015年4月7日。
3. 菊谷 武：食べることは生きること，第5回健康長寿のための市民公開講座，埼玉県所沢市，2015年4月11日。
4. 菊谷 武：国立市歯科医師会学術講演会，東京都国立市，2015年4月15日。
5. 菊谷 武：「忘れてはならない口腔ケア」，第5回日本微生物学連盟フォーラム，東京都新宿区，2015年4月24日。
6. 菊谷 武：今始める歯科のための認知症講座—患者さんと家族のためにできること—，東京医科歯科大学歯科同窓会 第52期 Part II No.52 緊急特別講習会，東京都文京区，2015年4月26日。
7. 戸原 雄：明日から役立つ！摂食嚥下障害の評価と訓練の実際，学際セミナー，福岡県博多区（2015年5月17日），大阪市中央区（5月24日），東京都港区（5月31日），東京都港区（8月9日）。
8. 菊谷 武：国立市歯科医師会学術講演会，東京都国立市，2015年5月20日。
9. 菊谷 武：医療法人社団高輪会，日本歯科大学菊谷教授定例セミナー，東京都港区，2015年5月22日，6月29日，8月25日，9月25日，10月20日，12月4日，2016年2月9日，3月18日。
10. 菊谷 武：「在宅で食べるを支えるということ」，日本摂食・嚥下障害看護第9回大会 in 東京，東京都千代田区，2015年5月24日。
11. 有友たかね：口腔から健康アップ，平成27年度小金井市介護予防リーダー研修会，東京都小金井市，2015年5月26日。
12. 水上美樹：摂食嚥下障害に対する歯科衛生士の行うリハビリテーション間接訓練の理解と実際，北海道歯科衛生士会研修会，北海道札幌市，2015年5月31日。
13. 菊谷 武：ケースプレゼンテーションの進め方，評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都立心身障害者口腔保健センター，東京都新宿区，2015年6月3日。
14. 菊谷 武：「口腔ケアの勘所」，在宅ケアネット渋川，群馬県渋川市，2015年6月4日。
15. 田村文誉：食べる力を育てるために，特定非営利活動法人ひろがり，名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校，2015年6月7日。

16. 尾関麻衣子：高齢者の「口から食べる」を支える食事，西原町地域包括支援センター関係者 交流研修会，西原総合教育施設内会議室，2015年6月9日。
17. 水上美樹：食事をおいしく食べるために～口腔機能を知ろう～，東京都立小金井支援学校 歯科講演会，東京都小金井市，2015年6月9，11日。
18. 菊谷 武：消化の話—口腔・咽頭・上部消化器官系における基礎と臨床の接点③【地域で“食べる”を支えるということ】，平成27年度解剖学会関東支部懇話会，東京都千代田区，2015年6月13日。
19. 石垣佳希：二次救命処置，(一社)日本有病者歯科医療学会主催スキルアップセミナー，東京都港区，2015年6月14日。
20. 須田牧夫：口腔リハビリテーション—摂食機能障害への対応—，“日本訪問歯科協会 認定医講座”，東京都千代田区、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター，2015年6月21日。
21. 菊谷 武：高齢者の口腔機能管理と栄養指導（栄養マネジメント），第7回高齢者等歯科医学研修会，富山県富山市，2015年6月21日。
22. 磯田友子：肢体不自由児の摂食指導，平成27年度「摂食に関する研修会」，都立小平特別支援学校，東京都小平市，2015年6月23日。
23. 菊谷 武：介護支援専門員の課題（口腔ケアについて），平成27年度東京都介護支援専門員更新研修，東京都新宿区，2015年6月23日，7月6日，10月20日。
24. 石垣佳希：口腔扁平苔癬と金属アレルギー，東京都歯科医師会卒後研修，東京都千代田区，2015年6月25日。
25. 田村文誉：摂食嚥下機能の発達と障害，あけぼの研修会，山梨県立あけぼの医療福祉センター，2015年7月5日。
26. 水上美樹：各論 障害者の摂食・嚥下障害とその対応，神奈川歯科大学短期大学部講義，神奈川県横須賀市，2015年7月6日。
27. 須田牧夫：いつまでも口から食べるために，東京都介護支援専門員更新研修，東京都立川市，トヨタドライビングスクール東京（2015年7月2日），当許都立川市，トヨタドライビングスクール東京（7月9日），東京都新宿区，公益財団法人東京都福祉保健財団（7月13日），東京都文京区，東京都社会福祉保健医療センター（10月22日），東京都立川市，トヨタドライビングスクール東京（11月4日），東京都新宿区，公益財団法人東京都福祉保健財団（11月13日）。
28. 菊谷 武：『地域で食べるを支えるということ』，日本歯科医師会 平成27年度生涯研修セミナー，茨城県水戸市，2015年7月12日。
29. 田村文誉：障害のある方の摂食指導と医療ケアについて，東京都重症心身障害児（者）在宅医療ケア体制整備モデル事業第6回研修会，立川市医師会館，2015年7月14日。
30. 菊谷 武：『認知症の食べることの問題』，第13回日立三師会合同研究会，茨城県日立市，2015年7月17日。
31. 菊谷 武：食べることに問題がある方をどうサポートするか，多職種連携研修会，相馬歯科医師会地域連携研修会，福島県相馬市，2015年7月18日。
32. 石垣佳希：吸引シミュレータを用いた口腔内分泌物吸引手技の実技研修，(一社)日本有病者歯科医療学会・(一社)静岡県歯科医師会共催，(公社)日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー，静岡県静岡市，2015年7月18日。

33. 田村文誉：食べる機能の発達と障害について，栃木県栄養士会医療協議会総会・研修会，栃木県教育会館，2015年7月20日．
34. 田村文誉：摂食指導の基礎・基本，全校研修会，東京都立府中けやきの森学園，2015年7月24日．
35. 田中祐子，須田牧夫：口腔咽頭吸引の基礎知識，日本歯科大学東京短期大学歯科衛生士学科 第12回同窓会みなづき会研修会，千代田区，日本歯科大学東京短期大学，2015年7月26日．
36. 田村文誉：小児における口腔の形態と発達，日本歯科大学ポストグラデュエイトコース「だれにでもかわる口腔のしくみと臨床—口腔リハビリテーションの基礎入門—」，日本歯科大学，2015年7月26日．
37. 菊谷 武：「食べることに問題のある方をどうサポートするか」，日本歯科医師会平成27年度生涯研修セミナー，兵庫県神戸市，2015年7月26日．
38. 田村文誉：コース2 医学に関する講座1 ～重度障害児の口腔ケア（オーラルケア）について～，第9回看護師（特別支援学校）スキルアップ講習会，国立オリンピック記念青少年総合センター，2015年7月28日．
39. 田村文誉：ダウン症の子どもへの摂食指導，ダウン症への理解と障害発達をふまえた支援—出生前診断も含めて，東京ファッションタウンビル，2015年7月30日．
40. 元開早絵：平成27年度摂食指導研修会，都立多摩桜の丘学園教職員研修会，東京都多摩市，2015年7月31日．
41. 菊谷 武：地域で食べるを支えるということ，日本歯科医師会第66回中国地域医学大会平成27年度生涯研修セミナー，岡山県岡山市，2015年8月2日．
42. 田中祐子：卒業生からのメッセージ，日本歯科大学東京短期大学キャンパス見学会，日本歯科大学生命歯学部，2015年8月3日．
43. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ（第1回），船橋市 歯と口の健康に関する市民講演会，千葉県船橋市，2015年8月21日．
44. 須田牧夫：「口から食べる楽しみの支援には何が必要か？～経口維持管理加算への対応～」，リフレケアH 第3回口腔ケアセミナー in 千葉，千葉県千葉市，京葉銀行文化プラザ 櫻Ⅱ・Ⅲ，2015年8月23日．
45. 磯田友子：摂食指導の理論と障害種別指導法，平成27年度「発達や障害に応じた摂食指導の基礎と具体的な介助方法の実践講座」，都立小平特別支援学校，小平市，2015年8月26日．
46. 菊谷 武：専門医からの講評，東京都立川多摩保健所 平成27年度摂食嚥下機能支援事例検討会，東京都立川市，2015年9月3日．
47. 水上美樹：乳幼児の食べる機能の発達，社会福祉法人 新町東保育園職員研修，東京都羽村市，2015年9月4日．
48. 須田牧夫：認知症患者の摂食嚥下障害とリハビリテーション，日本歯科大学緊急フォーラム「歯科と認知症～歯科医師の認知症対応能力向上に向けて～」，千代田区，日本歯科大学生命歯学部，2015年9月6日．
49. 菊谷 武：口腔科学と摂食嚥下リハビリテーション，第58回NPO法人口腔科学学会中部地方部会，岐阜県，2015年9月6日．
50. 菊谷 武：「食べることに問題のある患者に歯科は何ができるか」，2015年度（公社）日本

- 口腔インプラント学会認定講習会，東京都，2015年9月6日。
51. 菊谷 武：「食の支援・摂食嚥下リハビリにおける栄養士の参加の意義」，公益社団法人船橋歯科医師会さざんか歯科学術講演会，千葉県船橋市，2015年9月7日。
  52. 須田牧夫：「摂食嚥下機能支援の基礎知識」「摂食嚥下機能向上に関わる多職種連携」，平成27年度 摂食嚥下機能支援基盤整備研修会，福生市，公立福生病院，2015年9月8日。
  53. 梅津糸由子，白瀬敏臣，内川喜盛：附属病院小児歯科における新人研修について，日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会・総会，東京，2015年9月13日。
  54. 西村 歩，梅津糸由子，岩崎てるみ，三井園子，三宅真帆，波多野宏美，白瀬敏臣，内川喜盛：本学附属病院小児歯科における新人担当患者についての臨床的統計，日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会・総会，東京，2015年9月13日。
  55. 宮山友紀，白瀬敏臣，梅津糸由子，楊 秀慶，村松健司，星山絃子，甲田彩理沙，内川喜盛：附属病院小児歯科における外傷を主訴とした初診患者の臨床統計，日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会・総会，東京，2015年9月13日。
  56. 菊谷 武：口腔リハビリテーションについて，コオ宇部市立医療センター西市民病院 NST オープンカンファレンス，兵庫県神戸市，2015年9月17日。
  57. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということー介護食“スマイルケア食”の活用を通じてー」，日本栄養士会生涯教育講座 多摩地区栄養士講座，東京都立川市，2015年9月18日。
  58. 田村文誉：子どもの摂食・嚥下の具体的なアセスメントの実際，日本健康・栄養システム学会 栄養ケア・マネジメント研修会，昭和女子大学，2015年9月23日。
  59. 須田牧夫：「摂食嚥下機能支援の評価・評価に基づく支援・再評価」「支援に関わる多職種の連携、事例紹介」，平成27年度摂食嚥下機能支援基盤整備研修会，あきる野市，あきる野ルピア産業情報研修室，2015年9月30日。
  60. 高島良代：医療機関における就学児の言語聴覚療法について，東京都公立学校 難聴・言語障害研究協議会 城西ブロック研究会，東京都小金井市，2015年10月6日。
  61. 菊谷 武：症例定時とディスカッション『認知症高齢者の各疾患への最適な対処法とは？』口腔ケアと嚥下困難，認知症サミット in 船橋，千葉県船橋市，2015年10月8日。
  62. 水上美樹：摂食・嚥下訓練 1. 摂食・嚥下障害に対する訓練計画立案、食指導 2. 各病態に対する訓練法とその選択，日本歯科衛生士会 認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，2015年10月10日～11日。
  63. 田村文誉：在宅療養指導（口腔機能管理）・摂食嚥下リハビリテーション「食事外部観察評価」，日本歯科衛生士会平成27年度認定歯科衛生士セミナー，日本歯科大学，2015年10月11日。
  64. 菊谷 武：病態別摂食嚥下障害（中途障害の摂食嚥下障害），平成27年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，2015年10月11日。
  65. 須田牧夫：在宅療養指導における口腔機能管理の症例検討，平成27年度認定歯科衛生士セミナー，東京都千代田区，日本歯科大学生命歯学部，2015年10月12日。
  66. 田村文誉：障害児者の摂食嚥下リハビリテーション（摂食指導），平成27年度全国重症心身障害児者施設職員研修会，大阪府大阪市，山西福祉記念会館，2015年10月14日。
  67. 須田牧夫：高齢者に必要な歯科治療～齶蝕予防から摂食嚥下まで～，日本歯科大学校友会 豊島支部研修会，東京都豊島区，豊島区歯科医師会館，2015年10月16日。



68. 菊谷 武：「地域で“食べる”を支えるということ」，中野区 介護サービス事業所研修，東京都中野区，2015年10月16日。
69. 須田牧夫：「口腔機能向上に必要な診査・診断・訓練手技とは」，横浜南仲通歯科医院研修会，横浜県横浜市，横浜市技能文化会館，2015年10月17日。
70. 菊谷 武：摂食・嚥下障害を有する高齢者の疾患のとらえ方と歯科治療について，平成27年度神奈川県摂食嚥下障害歯科医療担当者研修会，神奈川県横浜市，2015年10月18日。
71. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，岡山県岡山市，岡山大学歯学部，2015年10月18日。
72. 菊谷 武：「口腔ケアはねたきり防止への合い言葉」，平成27年度台東区歯科医師会主催区民向け講演会，2015年10月20日。
73. 梅津糸由子：障害者歯科治療時における行動障害とその対応について，足立区歯科医師会，東京都足立区，2015年10月21日。
74. 菊谷 武：「高齢者の栄養管理について」，3年生対象特別講義，東京家政学院大学，東京都千代田区，2015年10月22日。
75. 水上美樹：摂食嚥下リハビリテーションの考え方—摂食・嚥下の観察・評価と訓練および咽頭部吸引の必要性—，2015年度厚生労働省助成事業 予防・在宅歯科医療等対応教員養成講習会，東京都千代田区，2015年10月24日。
76. 石垣佳希：高齢者の日常診療時の偶発症について，公益社団法人東京都小平市歯科医師会 学術部・医療管理部合同講演会，東京都小平市，平成27年10月24日。
77. 菊谷 武：「摂食嚥下における多職種連携」，第9回いばらき歯科医療フォーラム，茨城県土浦市，2015年10月25日。
78. 須田牧夫：発達障害者、中途障害者に対する摂食指導・口腔管理について，平成27年度埼玉県歯科医師会口腔保健センター障害者歯科臨床研修会，さいたま市，彩の国すこやかプラザ，2015年10月29日。
79. 菊谷 武：「摂食・嚥下障害の評価」，東京都立心身障害者口腔保健センター 評価医養成研修（医師及び歯科医師対象），東京都新宿区，2015年11月1日。
80. 石垣佳希：金属アレルギー患者に対する当院の取り組み，第7回一般社団法人日本メタルフリー歯科学会学術大会，教育講演，東京都千代田区，2015年11月3日。
81. 田村文誉：子どもの食の問題を考える，岐阜県歯科医師会口腔保健指導者研修会，岐阜県岐阜市，じゅうろくプラザ，2015年11月5日。
82. 菊谷 武：「摂食嚥下入門編」，2015年11月度「歯科臨床研究会」，神奈川県横浜市，2015年11月5日。
83. 菊谷 武：特別講演『地域で“食べる”を支えるということ』，三重県NST研究会学術集会，三重県津市，2015年11月7日。
84. 有友たかね：歯科衛生士バズセッションおよびミート・ザ・メンター，第32回日本障害者歯科学会総会・学術大会，愛知県名古屋市，2015年11月8日。
85. 菊谷 武：これからの小金井市の地域医療について 歯科医師の取り組み，平成27年度『介護の日』シンポジウム，東京都小金井市，2015年11月9日。
86. 菊谷 武：「骨折リスク」，埼玉県北地区学術講習会，埼玉県越谷市，2015年11月11日。
87. 有友たかね：「口腔ケアの実技・研修」，口腔保健支援事業 第1回口腔ケア実技講習会，千葉県船橋市，2015年11月12日。

88. 須田牧夫：退院後の在宅療養患者への対応（軽症症例），第 15 回訪問歯科医学会，千代田区 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター，2015 年 11 月 15 日。
89. 田村文誉：子どもの食べる機能の発達を支援するために，印旛郡市歯科医師会平成 27 年度市民健康講演会，成田市文化芸術センター，2015 年 11 月 15 日。
90. 菊谷 武：日本歯科医師会平成 27 年度生涯研修セミナー，北海道札幌市，2015 年 11 月 15 日。
91. 有友たかね：「口腔リハビリテーションの実際」，平成 27 年度小平市家族介護教室，東京都小平市，2015 年 11 月 19 日。
92. 菊谷 武：歯と口の健康相談，府中市 摂食・嚥下専門相談，東京都府中市，2015 年 11 月 19 日。
93. 菊谷 武：地域で「食べる」を支えるということ～スマイルケア食をツールとして～，平成 27 年度摂食嚥下機能支援基盤整備・摂食嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2015 年 11 月 20 日。
94. 菊谷 武：「事例から学ぶ！食べる機能支援」～嚥下障害を見逃さない目を育てよう～，府中市摂食・嚥下機能支援研修会，東京都府中市，2015 年 11 月 20 日。
95. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療～マイナス 1 歳からの口腔管理～，静岡県沼津市，2015 年 11 月 20 日。
96. 菊谷 武：在宅での対応 多職種連携，第 11 回長野県摂食・嚥下リハビリテーション研究会，長野県塩尻市，2015 年 11 月 21 日。
97. 田村文誉：食べる機能を育てるために，社会福祉法人まつみ福祉会研修会，豊見城団地集会所，2015 年 11 月 22 日。
98. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ，第 18 回岐阜県嚥下障害研究会学術講演会，岐阜県多治見市，2015 年 11 月 22 日。
99. 須田牧夫：嚥下調整食分類について地域での活用方法，平成 27 年度西多摩保健医療圏摂食嚥下機能支援協議会，青梅市，東京都西多摩保健所，2015 年 11 月 26 日。
100. 田村文誉：知っておきたい 障害者（児）の摂食嚥下の介助，平成 27 年度障害者歯科相談事業研修会，武蔵野市役所，2015 年 11 月 26 日。
101. 菊谷 武：地域で“たべる”をささえるということ（第 2 回）一事例を通して一，船橋市歯と口の健康に関する市民講演会，千葉県船橋市，2015 年 11 月 27 日。
102. 菊谷 武：摂食嚥下機能の低下した高齢者に対して，どのように対処したらよいか？～地域支援体制の構築も含めて～，第 9 回鹿沼市市民公開講座，栃木県鹿沼市，2015 年 11 月 29 日。
103. 有友たかね：第 1 回「口腔衛生管理」～専門科の視点・技術を導入して～，斎藤病院院内研修会，東京都府中市，2015 年 11 月 30 日。
104. 水上美樹：どうしていますか？利用者の食事介助～安心安全に食べるために～，平成 27 年度障害者歯科保健研修会・施設連絡会，東京都稲城市，2015 年 11 月 30 日。
105. 菊谷 武：「どう活用する“スマイルケア食”」，新しい介護食品に関するシンポジウム，東京都千代田区，2015 年 12 月 1 日。
106. 田村文誉：摂食・嚥下障害児への支援，地域母子保健 5「地域栄養活動～妊産婦から子どもへ～」，社会福祉法人恩賜財団母子愛育会，2015 年 12 月 4 日。
107. 菊谷 武：「在宅生活を快適に送ることができる口腔ケア～ヘルパー職としてすべき事、

- してはいけない事～」，昭島市 スキルアップ研修，東京都昭島市，2015年12月5日。
108. 菊谷 武：新しい介護食品に関するシンポジウム「どう活用する“スマイルケア食”」，富山県富山市，2015年12月6日。
109. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，津山市総合福祉会館，2015年12月6日。
110. 菊谷 武：「地域で食べるを支えるということー急性期 病院から在宅までー」，平成27年度栄養サポートNSTセミナー，東京都東村山市，2015年12月11日。
111. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか，平成27年度日本歯科大学九州地区歯学研修会，福岡県福岡市，2015年12月12日。
112. 高橋賢晃：口腔ケア～いつまでも口から楽しく食べるために～，平成27年度口腔に関する講演会，高萩市総合福祉センター，2015年12月15日。
113. 尾関麻衣子：嚙む・飲み込むが困難な人の食事，小金井市介護職員現任研修，多摩クリニック，2015年12月18日。
114. 田村文誉：上手に食べるために，平成27年度学校栄養士研修会，前原暫定集会所，2015年12月18日。
115. 須田牧夫：「歯科と認知症」“歯科の役割と対策とは”，平成27年度北陸三県歯科医学学術講演会，富山県富山市，富山県歯科医師会館，2015年12月20日。
116. 菊谷 武：シリーズ！現場につながる口腔ケア研修会 求められています！あらゆる現場で活躍する歯科衛生士『チームで支える在宅ケア』，平成27年度福岡県歯科衛生士会口腔ケア研修会，福岡県福岡市，2015年12月20日。
117. 有友たかね：「介護支援専門員必須 見逃してはいけないお口のサイン」，ケアマネ交流会，東京都三鷹市，2015年12月24日。
118. 戸原雄：摂食嚥下機能療法の基本，青森県歯科衛生士会 三八支部，八戸歯科衛生士専門学校，2016年1月17日。
119. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？～超高齢者会の今、歯科病院に求められる診療の在り方～，ササキ株式会社津支店 Special 企画セミナー，三重県津市，2016年1月17日。
120. 田村文誉：口を育む！食を育む！，歯ミフェスタ・多摩2015，東京都多摩府中保健所，2016年1月21日。
121. 田村文誉：「口を育む！食を育む！」～施設職員とのハーモニー～，歯ミニフェスタ・多摩2015 歯と口の健康づくり 実践報告会，東京都府中市，2016年1月21日。
122. 菊谷 武：「摂食・嚥下障がいに対する評価・診断・対処法について」，熊本県歯科医師会在宅歯科医療推進事業研修会，2016年1月23～24日。
123. 有友たかね：「口腔ケアを多職種連携の合言葉に」，在宅歯科医療推進事業研修会，熊本県熊本市，2016年1月23日。
124. 有友たかね：「口腔ケア性誤嚥性肺炎といわれたいためのテクニック」，在宅歯科医療推進事業研修会，熊本県熊本市，2016年1月24日。
125. 菊谷 武：「低栄養サービス」，東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室小金井市民講座，東京都小金井市，2016年1月25日。
126. 菊谷 武：平成27年度広島県地域医療介護総合確保事業 広島市在宅歯科医療推進講習・研修会，広島県広島市，2016年1月26日。

127. 須田牧夫：第 17 回 NHO 栃木医療センター口腔ケア兼摂食・嚥下セミナー，栃木県栃木市 NHO 栃木医療センター，2016 年 1 月 28 日。
128. 有友たかね：「口腔ケアの実技・研修」，口腔保健支援事業 第 2 回口腔ケア実技講習会，千葉県船橋市，2016 年 1 月 28 日。
129. 菊谷 武：「高齢者の摂食嚥下と口腔ケアについて」，平成 27 年度さいたま市保健所・さいたま市保健所管内給食研究会合同研修会，埼玉県さいたま市，2016 年 1 月 29 日。
130. 菊谷 武：「認知症に対する歯科治療とは」，厚生労働省認可（公益）日本歯科先端技術研究所主催「高齢者の口腔機能管理セミナー：MCI サポート歯科医認定講習会」第 2 回，東京都新宿区，2016 年 1 月 31 日。
131. 菊谷 武：食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか？，第 25 回ライオン New Year セミナー，東京都千代田区，2016 年 1 月 31 日。
132. 菊谷 武：「口腔機能向上」，東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室 小金井市民講座，東京都小金井市，2016 年 2 月 1 日。
133. 菊谷 武：『臨床で役立つ摂食・嚥下～「食べる介護」がまるごとわかる～』，平成 27 年度 NST 外部講師勉強会，神奈川県秦野市，2016 年 2 月 2 日。
134. 菊谷 武：摂食嚥下機能支援事例検討会～チームアプローチにむけて～，平成 27 年度「摂食嚥下機能支援における事例検討会」，東京都福生市，2016 年 2 月 3 日。
135. 菊谷 武：～これからの高齢者歯科学と医療を考える～，長崎大学歯学部 高齢者歯科講演会，長崎県長崎市，2016 年 2 月 6 日。
136. 保母妃美子：医科主治医と連携し経管栄養を離脱した 1 症例，第 13 回多摩療育と栄養研究会，東京都小金井市，2016 年 2 月 6 日。
137. 児玉実穂：妊婦の口腔内環境変化と安心安全な歯科治療～マイナス 1 歳からの口腔管理～，医科・歯科連携に資する人材養成のための研修会，長崎県大村市，2016 年 2 月 6 日。
138. 菊谷 武：食支援でできることは・・・！～食べる機能を支えるためにそれぞれの立場で出来ることは～，平成 27 年度豊田市歯科口腔保健事業関係者研修会，愛知県豊田市，2016 年 2 月 10 日。
139. 菊谷 武：活動報告（事例発表）「在宅要介護者への食支援の実践、多職種で関わる意義とその効果」，厚生労働省老人保健健康増進等事業 在宅高齢者の口から食べる楽しみを支援するための研修会『口から食べたい』を地域で支援しよう！，東京都港区，2016 年 2 月 11 日。
140. 菊谷 武：口腔ケアに関して，口腔ケアに関しての研修，東京都西多摩郡，2016 年 2 月 16 日。
141. 田村文誉：重度障害児・者の摂食・嚥下について，職員研修，重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎，2016 年 2 月 18 日。
142. 菊谷 武：「地域で食べるを支えるということ一咀嚼機能、地域嚥下調整食連携を中心に」，第 22 回東京摂食嚥下研究会，東京都荒川区，2016 年 2 月 20 日。
143. 田村文誉：次世代の栄養政策 2 ほ乳機能と摂食機能について～口腔機能の発達の観点より～，山梨県栄養士会平成 27 年度生涯教育研修会，山梨学院短期大学，2016 年 2 月 20 日。
144. 田村文誉：要介護者のための家族ができる日常の口腔ケア，平成 27 年度小山歯科医師会市民公開講座，小山文化センター，2016 年 2 月 28 日。

145. 須田牧夫：在宅歯科医療の現状と今後の展開―開業医ができる取り組み―，朝霞地区歯科医師会研修会，埼玉県朝霞市，2016年2月28日。
146. 有友たかね：第2回「口腔衛生管理」～専門科の視点・技術を導入して～，斎藤病院院内研修会，東京都府中市，2016年3月3日。
147. 石垣佳希：気道と循環に関するアドバンスハンズオンセミナー，第30回（一社）日本有病者歯科医療学会総会・学術大会，東京都江戸川区，2016年3月6日。
148. 菊谷 武：特別講演「地域で“食べる”を支えるということ」，第33回静岡栄養代謝の集い，静岡県静岡市，2016年3月12日。
149. 菊谷 武：地域での口腔リハ・栄養活動について，福岡県歯科医師会 口腔機能回復支援講習会，福岡県福岡市，2016年3月13日。
150. 戸原 雄：ワークショップ「ミールラウンドを始めよう！」，第4回日本老年歯科医学会岡山支部セミナー，くらしき健康福祉プラザ，2016年3月13日。
151. 石垣佳希：吸引シミュレータを用いた口腔内分泌物吸引手技の実技研修，（一社）日本有病者歯科医療学会主催・（一社）神奈川県歯科医師会共催，（公社）日本歯科医師会・日本歯科医学会後援スキルアップセミナー，神奈川県横浜市，2016年3月20日。
152. 保母妃美子：摂食指導の理論と指導法，発達や障害に応じた摂食指導の基礎と具体的な介助方法の実践講座，東京都国分寺市，2016年3月29日。

## ● 言語聴覚士室 Speech and Language Service

### 1. 所属構成員等

講 師 西脇 恵子  
医 療 職 員 高島 良代, 橋本 久美, 窪 舞

### 2. 研究テーマ

- 1) コミュニケーション障害患者のリハビリテーション Speech and language therapy in communication disorders.
- 2) 高次脳機能障害患者の社会復帰支援 Social problem for person with traumatic brain injury and their significant others.
- 3) 構音障害患者の舌運動の疲労 Speech-related tongue fatigue in patients with speech sound disorders.
- 4) 言語障害のきょうだいに対する支援 Sibling support.
- 5) 自閉症を伴うダウン症候群児のコミュニケーション障害 Communication disorder in children with Autism and Down syndrome.
- 6) 自閉症児の感情表出 Facial expression in Autism.
- 7) 特別支援教育における言語聴覚士の役割 The role of speech therapist in special needs education.

### 3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

### 4. 学位取得者

記載事項なし

### 5. 主催学会等

記載事項なし

### 6. 国際交流状況

- 1) アメリカ・レッドランズ大学のマイケル グローは一教授による摂食嚥下障害コースの受講及び研究打ち合わせ. 重度ご縁症例についてのプレゼンテーションと討論. 2015年8月3日～7日.

### 7. 外部・学内研究費

- 1) 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) (継続), 平成 25～27 年度, 構音障害のリハビリテーションにおける舌の筋疲労の様相と改善についての研究, 西脇 恵子 (代表), 1,029,807 円.

## 8. 研究業績

### A. 著書

1. 西脇恵子（分担執筆）：機能訓練の基本的な考え方について教えてください，34-35，鴨井久一，菊谷 武（監修），他職種協働チーム先制医療での口腔ケア FAQ50，一世出版，発行地，東京，ISBN：978-4870781801.

### B. 原著

記載事項なし

### C. 総説・解説

1. 西脇恵子：文献・情報の検索と管理の仕方，ディサースリア臨床研究，5（1）：20-23，2015.

### D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

### E. 翻訳

記載事項なし

### F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 高島良代，西脇恵子，町田玲子，松木るりこ，橋本久美：舌接触補助床（PAP）の継続使用に家族の協力が有効であった1症例，第16回日本言語聴覚学会プログラム・抄録集，12（3）：188-189，2015.
2. Nishiwaki K, Takashima K, Hashimoto K, Kubo M. Recovery Process of Speech-Related Fatigue in Patients with Oral Cancer, 9<sup>th</sup> Asia Pacific Conference of Speech, Language and Hearing, 168, 2015.

### G. 講演

#### (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 西脇恵子：コミュニケーションの支援技術，第1回東京都総合高次脳機能障害研究会，教育講演，東京都，2015年8月8日.

#### (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 橋本久美，松木るりこ，高島良代，西脇恵子，須釜慎子，水上美樹，菊谷 武：特別支援学校との連携—2年目の活動，第41回日本コミュニケーション学会学術講演会口演，2015年5月17日.
2. 西脇恵子：子育てをしていくうえで大切なこと～就学に向けて～，言葉の相談室穂肥は向け講演会，千葉県船橋市ことばの相談室，2015年6月9日.
3. 西脇恵子：ことばの発達，日本歯科大学こども摂食嚥下研究会，2015年7月15日.
4. 高島良代：医療機関における就学児の言語聴覚療法について，東京都公立学校難聴・言語障害研究協議会城西ブロック研究会，東京都小金井市，2015年10月6日.
5. 西脇恵子：高次脳機能障害のあるきょうだいへの支援，きょうだい支援の会全体研修会，

きゅりあん, 2016年11月1日.

6. 西脇恵子: コミュニケーション支援の技術, 職員研修会, 原宿リハビリテーション病院, 2015年11月5日.
7. 西脇恵子: 失語症のある人への対応 中級編, 江戸川区介護教室, タワーホール船堀, 2015年12月11日.
8. 西脇恵子: 言語聴覚士の社会的活動～スペシャルオリンピックスへのかかわりを通して, 上智大学科学フォーラム, 上智大学, 2015年12月21日.
9. 西脇恵子: 地域包括ケアにおける言語聴覚士の役割, 東京都地域リハビリテーション専門人材育成研修, 東京都福祉財団, 2015年1月31日.
10. 西脇恵子: 高次脳機能障害者の長期にわたる支援, 高次脳機能障害のある若者の会ハイリハ東京15周年記念講演会, 東京都墨田区, 2016年3月5日.
11. 西脇恵子: 地域包括ケアにおける自助・共助について, 東京都言語聴覚士会地域包括ケア研修会, 首都医校, 2016年3月12日.